

A G A R O O T

A C A D E M Y

合格者の最短ルート

合格

令和6年合格者

体験記



入門総合カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 行政書士試験

令和6年 行政書士試験合格

初学者からの一発合格

成相 友介さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：6か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

大学では機械工学を勉強し卒業後はエンジニアとして働いている完全に理系一筋の人生を歩んできたが、40台後半になって文系の人たちがどのような世界を見ているのか知りたくなった。自分の人生の視野をもっと広げようと思った。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

合格率が非常に高いこと。資格試験は何度でも挑戦できるとは言え、40代後半ということもあり、なるべく早く合格を掴み取りたい気持ちがあった。他社の講座よりも割高ではあったが、ここでケチって2年、3年、と受験を繰り返すことのほうが失うもの大きいと考えた。

合格体験記・学習上の工夫

宅建に合格し、その勢いでアガルートに申し込み。正直舞い上がっていました。ところがあまりの勉強範囲の広さに頓挫し、半年ほど勉強をやめてしまいました。5月末頃にせめて記念受験をしようと勉強を再開、8月頃に一度市販の模試を自宅で受けてみたところ、記述を甘く採点して140点でした。だめだこりゃ、と思いながらも過去問を回しながら何度か模試を解いていると、6回目に（これも記述をかなり甘く採点してですが）185点を取ることができました。このときに、頭の中に「あれ、もしかして6回に1回は受かる確率があるのかも？」という考えがよぎりました。無理やりポジティブ思考なのですが、であれば記念受験とはいえ、これを5回に1回は受かる、そして4回に1回、そして3回に1回は受かる、のように確率を上げていけば案外可能性があるのでは、と思いました。こ

の考え方が功を奏し、いきおい勉強のモチベーションが上がり、ぐんぐん記憶に定着するようになっていきました。ただ一点損をしたわけではないのですが、1か月前に欲が出て商法、会社法に手を出してしまいました。というのも模試で当てずっぽうで選んだ選択肢が結構当たるので、わりと向いているのかな？と思ったからなのですが、本番試験ではなんと全問不正解でした。落ちたら今年も挑戦するつもりだったので試験終了後からもう一度ちゃんと商法、会社法を勉強していましたが、やはり2か月はかけたほうがいいボリュームでした。直前期はやってないことに手を出さず、行政法を中心に勉強することをおすすめします。

総合講義のご感想・ご利用方法

学習の初動は大きく失敗しました。一個動画を見ては自分なりにまとめてメモするなどしていたところ、膨大な動画の数の前にまったく進捗が感じられず、過去問を始めるタイミングを逃し、せっかく1年前に申し込んだのに半年近く勉強をやめてしまいました。

半年ほどたってから、せっかくまとまったお金を使って申し込んだのだから、せめて記念受験でもいいから受けようと思い勉強を再開しました。

そこからは、インプットは1.5倍の音声で歩いているとき等もすべて聞いていました。気づいたのですが、このほうが自分の力で状況をイメージするため、記憶に残りやすいです。豊村先生は絵も字も上手で見ているとスッと頭に入るような気持ちになるのですが、実はそのせいであとに残らないというデメリットもありました（豊村先生ごめんなさい）。

また、同時進行でアウトプットの過去問に入りました。民法の中でも総則が終わったら総則の過去問、物権が終わったら物権の過去問、のように細かくアウトプットのターンを増やしていきました。私の場合は結局のところアウトプットしなければ記憶に残らないことがわかりました。インプットが無駄なわけではなく、インプットはガイダンスのような気持ちであまり繰り返さずサクッと聞いて、アウトプットを繰り返すことで記憶に焼き付けるのが向いていました。どうしても記憶に定着しない箇所があれば、その部分だけ動画を見直す、のようなインプットをおすすめしたいです（特に憲法がそうでした）。

まとめると、インプットは1.5倍速の音声で1回。そこからはひたすら過去問。模試は市販のものを3冊購入して家で時間を測って解きました。一冊3回分なので計9回分ですが、実力を試すと言うよりも、プロが予想する模試を9回分やるのは価値があると思いました。実際、そのまま出題された問題もありました。予備校が実施する模試を1回受けるよりも安いし、最後の追い込みで一番効果が感じられました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

豊村先生の癒やしの講義と、林先生のクールな解説のバランスがとてもいいです。インプットは正直相当量の情報がありますが、過去問を見ることによってそのどの部分にスポットを当てるべきかが浮き彫りになってきます。過去問を解くことによって頭の中で散らかっていた情報がきれいに収納されていきます。インプットとアウトプットの組み合わせで初めて情報が自分のものになります。アガルトの過去問は過去10年ぶんですが、こ

れを解いて解説動画を一通り見れば、市販の問題集を見たときに何を言っているのかわからないということはないと思いますのでそこをスタートラインにするのが良いと思います。私はあまり時間がなかったので民法、行政法、憲法のための過去問を解いて動画を見ました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

はじめて記述式を見たときは、一体何を書けばいいのかわからず、真っ白になりました。ただしそれはマークシートと記述式は全く別物ということを知り、思考方法や答えの導き方さえわかればいいのだ、ということを書述過去問解説動画で理解しました。まず問題を見て確実に書くべきキーワードを抽出、それから問いに対する端的な文章の作成、最後に文字数調整。この段取りを身に着けてしまえば、問題を見たときに「これは20点ねらえるな」とか「これは部分点ねらいだな」など、なんとなくですが得点圏が見えてきます。逆に問われている論点が全くわからずキーワードが一つも浮かばない場合はさっさと次の問題へ進んだほうが良いと思いました。市販の模試を解いているときですが、飛ばして進んでいるうちに、あ！あれか！と気づくことが結構ありました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私は夜お酒を飲むときにYouTubeの動画をよく見るのですが、試験期間中は逐条ローラーインプット講座を見ていました。正直言って酔っ払っているので頭にはあまり入ってこないのですが、皆が勉強している中でお酒を飲みながらYouTube動画を見ているという罪悪感から逃れるというか、メンタルを安定させるという意味では意味がありました。また、私はかなりアウトプットに重心をおいた勉強をしていたため、インプットはこのくらい浅めでも十分だという開き直りもありました。受験生の中にはまじめに条文を読み込んでいる人もいると思うのですが、私には全く不向きでした。そういう方には、移動中や食事中、あるいは私のように晩酌しながらくらいがちょうどいいのではないかと思います。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解はわりと得意な方だ、と思ってこの講座を受けて膝から崩れ落ちた人は結構いるのではないかと思います。嘘みたいですが文章の内容が理解できない、解答の選択肢の違いがわからない……。私はこの講座を受けて大いに焦りました。ただ、この講座を全て通してやった結果、「これ以上難しい問題は絶対に出ない」という確信を持つことができました。つまり、この講座をやりきった私が解けないような文章理解問題が出たとしたら、めっちゃくちゃに試験が荒れるぞ、ぐらいに思えるようになりました。いくら年々難化が進んでいる文章理解とは言え、一つでも落としてはならない基礎知識の生命線となるカテゴリーです。知恵熱を出しても講座をやりきれば、文章理解を落とすことは100%無いと言えるでしょう。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

行政書士試験の後も他の法律試験を考えている人にとっては、他資格択一80はその様子見というか、肌感覚を見るうえで役に立つかもしれません。正直に言ってしまうと、私はこちらの講座はわりと飛ばし飛ばしで見ることから決めて、実際そのように利用しました。というのも、やはり行政書士試験は、行政書士試験の過去問出題傾向を知るのが最優先だと思ったからです。だからちょっとした「付録」のような位置づけで見事にしていました。なので逐条ローラーインプット講座もそうだったのですが、夜お酒を飲みながらYouTubeの動画代わりにみる、という利用の仕方でした。肩の力を抜いてちょっとした気分転換に見るくらいの位置づけがよいような気がします。

模擬試験のご感想・ご利用方法

私は市販の模試を3冊、計9回分の模試を受けたのですが、アガルートの模擬試験は一番最後に受けたこともありいい点数が取れ、その自信をもって本番に挑みました。やはり市販テキストの字面の解説よりは豊村先生の解説は頭に入ってきますね。アガルートの模試で合格点に届いた私が実際に本番で合格できたので、基準にしてもいいのかもしれない。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

試験期間中は音楽を聞くのをやめてすべて豊村先生の講義を1.5倍速で聞いていたのですが、豊村先生の講義は耳心地が良く、試験日が近づくに連れ、もうすぐ豊村先生の声を聞く必要がなくなるのか、と寂しさを感じるほどになっていました。結果的には通ったかどうか不安だったので試験終了後も聞き続けていましたが。合格した今、豊村先生の講義の音声を聞く必要はなくなったのですが、いつかお会いしてお話したいという気持ちになっています。おそらく講義を受けた人の中の大多数がそんな気持ちになっているのではないかと、色んな意味で豊村先生は大変だなと思います。行政書士試験は難しいですが、それを何も難しいことは言っていないよ、と繰り返す先生の語り口は初学者にはとても助けになりました。

令和6年 行政書士試験合格

悩む箇所は直前に見返せるよう表にまとめて整理

三宅 ゆかりさん

30代 家事手伝い

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

実家に戻ったタイミングで自身に費やすことができる時間ができたので、その時間を学びに充てようと思いました。人生100年時代、学べるうちは学びたいと考えています。

行政書士に決めたのは、宅建からのステップアップと、乏しかった自身の行政知識を修得するためです。もともと民法にも関心があり、より深く学びたいとも思っていました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

飽き性なところがある私が、予備校選びで最重要視していたのは講師の先生と自身との相性（長時間に及ぶ講義をいかに苦にならずに聴き続けることができるか）でした。予備校をリサーチする中で、「カリスマ講師ランキング」に豊村先生のお名前をお見受けし、いくつかポイント講義等をYouTubeで拝見したところ、熱血系の講義を求めている自身にぴったりだと思いました。

また、アガルートのテキストの網羅率の高さにも魅力を感じたため、お世話になることに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

・行政法

行政三兄弟（行政手続法・行政不服審査法・行政事件訴訟法の事を勝手にこのように呼んでいました）においては、比較学習と条文のガチガチの読み込み、行訴法の訴訟要件（ビッ

グ3)の判例をまとめることで、怖いもの無し状態までもっていくことができました。模試でも行政法は満点取れたこともあり、本試験でも1週間違いで留めることができました。

比較学習を意識し始めたのは模試がきっかけでした。もともと条文を意識しながら学習していたものの、模試で各法律内(行手法の聴聞手続きと行審法の審査過程の比較等)または各法律間の比較(行政不服審査法と行政事件訴訟法の執行停止の比較等)を問われた時に、即答できなかったことで詰めが甘いと感じました。そのため、模試の復習時に普段問題を解いていて比較で良く悩んでしまう点なども抽出し、簡易的ではありますが違いが一目でわかるような表を作り、定期的に目を通すようにしました。

条文は具体的なイメージを頭に浮かべるようにし、なるべく記憶をスリム化することを心掛けました。特に行審法の審査過程において活用しましたが、これも豊村先生による「審査過程の図を目につく場所に掲示しておく」というアドバイスあってのことでした。行政法においては、その他は総論の判例を直前期に流し見していました。直前期にざっと目を通せるような資料をまとめておくことは、普段から意識的に行っていると後で慌てることも少ないかと思います。

・民法

理解学習と暗記のスリム化を意識しながら学習しました。宅建で少し触れていたので入りやすかったのですが、学習内容の厚みが全然違いました。宅建の時は暗記で多くをカバーしていましたが、行政書士は範囲も広いのでとても暗記だけでは網羅できないと思い、理解することを意識しました。

例えば総論の意思表示の分野では、よく頭の中に天秤を思い浮かべていました。表意者vs相手方もしくは第三者において、保護されるべきはどちらなのかを考える場合、相手方もしくは第三者に「善意」なのか「無過失」まで要するのか、暗記のみに頼ると混在しがちな論点でしたが、バランスを考えることで暗記不要で自信をもって解答できるようになりました。債権の条文は文字列だけ読んでいてもなかなか頭に入らず、特に多数当事者の債権債務や、保証人の通知義務の分野は何度も読み返しました。

しかし時間をかけて読み、その時は理解してすっきりしてもまた時間の経過と共にあやふやになり、再確認の際に準用も多い該当箇所の複数の条文を読み返すことはとても時間のロスだと感じるようになり、表にまとめ整理しました。一度表を作っておいたことで、またあやふやになったときに一目で思い出すことができ、その分タイムパフォーマンスを確保することができるようになりました。

・憲法

憲法の学習で意識したことは判例と統治の条文の読み込みです。豊村先生もよくおっしゃっていましたが、判例問題は事案と結論だけではなく判断枠組みや過程を理解する必要があります、事案と結論の暗記では太刀打ちできないことを試験を受けて実感しました。

・過去問

2周目以降は、肢別の一問ごとに類似論点や関連知識も頭の中で思い起こすようにしていました。あの場合はどうだったかな？ 似たような論点あったけれど何だったかな？ 等と。

思い起こすまでに時間を要したり、少しでもあやふやだったらすぐにテキスト・六法で確認し、自身の消化度（次また思い起こせそうか、それともまた危ういか）により、必要に応じて少し大きめの単語カードに書き、すぐに見返することができるあんちょこを作りました。そのため、2周目でも問題集を進めることに時間を要しましたがここでカードを作成し始めたことで理解度も上がり、且つ記述対策にもなったと感じています。

私はアガルトの過去問集以外はこれといった記述対策はしていません。もちろん当初は他問題集も検討しましたが、あれよあれよという間に第1回目の模試当日になってしまい、そのまま受験することとなったものの記述式問題の3問とも論点がわかり、なんとなく書いてしまったのです。その後もほとんどの模試において記述は40点オーバーが取れており、記述の他問題集に新たに手をつけるなら、その時間を条文学習に充てようと思いました。

カードには、苦手な論点の他に豊村先生が良くおっしゃっていた「J→T」「T→J」を意識しながら、重要そうだなと思った「J」の内のワードを空欄にしたりして、口で説明できるようになることを心掛けました。重要なワードの暗記と「J→T」「T→J」の想起を訓練することで、本当に記述対策になっていることを実感しました。

・隙間時間の活用

机の前に座っていない時でも常に学びに触れることを意識しました。具体的には、YouTubeの豊村先生の憲法の統治の条文一気読みを聞きながら朝食を作り、運転中に憲法の講義の判例部分を中心に聞き、買い物のレジ待ちにアプリの1問1答をやり、入浴中に時事問題のYouTubeを見て、直前期は寝る前にニュース検定の講義を流し聞きしていました。

これをルーティン化することで、特に憲法の判例の判断枠組みが染みついたと感じました。苦手な判例の1つであった「GPS捜査を違法とした最高裁判例」は、何度も繰り返し聞いていたので模試で出題された時に瞬殺で解答することができたことが記憶に新しいです。隙間時間は侮れないです。

総合講義のご感想・ご利用方法

とにかく豊村先生のメリハリのある講義が自身にとっても合っていました。分野が変わるごとに仕切り直しのように改めて声を張って講義してくださる先生を見ると、「自分も頑張ろう」という気持ちが湧いてきました。時には、こんなに一生懸命しゃべり続けて喉痛めないかな？ と心配になるほどでしたが尽力くださり本当に感謝しています。

時折、思わずくすつと笑ってしまうような冗談等もあり交えて講義してくださるので難

しい分野もリラックスしながら視聴することができました。個人的には、「戸別訪問と表現の自由の判例」での「キンコンキンコン！」がツボに入ってしまった、おかげさまで合理的関連性の基準を採っている判例として忘れられない判例となりました。

直前期は多肢選択で空欄になりそうなワードなどを意識しながら憲法の判例を読んでいましたが、大事なワードは豊村先生も強調＆重複しておっしゃってくださるのでとても良く頭に残り、模試や本試験を解いていて豊村先生のお声が天の声のように聞こえてくることがあり、何度も助けていただきました。

ライブ視聴ではないのですが、度々「せーの！」とおっしゃって解答をこちらに問いかけてくださる講義のやり方もとても良かったです。即答できないときは即座に一時停止をして自身の中で解答を出してから続きを視聴するようにしていました。

講義のチャプターも細かめに区切ってくださっているので、2周目以降は視聴したい苦手分野の講義だけをピックアップしやすかったです。また、豊村先生がさらっとテキストに追記される内容も2周目以降にテキストに目を通した際に、より理解を深めることに繋がっていました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

短答過去問題集は、該当の単元の講義視聴後に取り掛かるようにしていました。わからなかった問題については、問題集にあらかじめ掲載されている解説やテキスト、六法を確認し、それで理解ができれば次へ進めていました。

そのため、解説講義を全問視聴することはありませんでしたが、解説講義では関連知識や図等を用いて説明くださり、視聴した際には印象付けられ、記憶にも残りやすかったため時間との兼ね合いで全問視聴するか否かを葛藤した時期もありました。

解説講義を視聴しても尚、消化しきれないような問題についてはKIKERUKUNを使って質問させていただいていました。初学者なのでずれた質問を多くしていたと思いますが、毎回丁寧に回答くださりとても助けられました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述式過去問題集には6月頃から取り掛かりました。毎日最低でも民法2問、行政法1問を解くようにしていました。頭では理解しているつもりでも言葉で表すことができなかった論点については、解説講義を聞き、重要なワードをテーマと結びつけて記憶することを意識しました。意識付け強化のためにカードにも書き止め、定期的に見返しました。

記述式問題は、条文知識や関連知識をも正確に消化できていないと論点整理がスムーズにいかないことを感じたため、解説講義も全て視聴し、同時にあやふやな関連知識を六法やテキストで確認しながら学習を進めていました。当問題集に取り掛かり始めたころは、字数オーバーによる調整の程度（どこを削ることができて、どこを残すべきか等）も自身では判断できなかったため、この点についても解説講義で確認できたことで確信をもって解答できるようになりました。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

講座を申し込んだ当初は、「フル」ではなく「ライト」を選択し受講していました。

申込当初は試験についてリサーチ不足だったのですが、学習を進めていくうちに条文学習の大切さをひしひしと感ずるようになり、当講座の評判も目にしていたので自身には「逐条ローラインプット」の講義が必要だと思い、学習途中（昨年3月末頃）で「ライト」から「フル」への講座の変更を申し出ました。この頃にはメイン科目の学習が2周目に入る頃だったので、復習がてら苦手な分野から視聴を始めました。

結果的には、テキストがビリビリに崩壊するまで何度も何度も読み込み、補修しながら大いに活用させていただきました。

民法においては具体例を交え、かみ砕いて講義してくださるのでイメージが沸きやすく理解が深まり、字面だけでは到底消化しきれなかった条文も怖くなりました。チャプターの終わりにお話くださる雑談等はカチカチになった頭のクールダウンにもなり、時には励ましのメッセージもくださったので折れかけた心までをもケアしていただき感謝しています。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

長年に渡る現代文の指導経験をお持ちである田島先生ならではの、まさに文章を読み解くといったアプローチは、これまでただただ字面を読み進めていた私にとって目からうろこの学習方法でした。アガルートのホームページの講座紹介でうたわれている「確実に3問正解になる勉強方法」という文言に惹かれてワクワクしながら視聴し始めたことを覚えています。

私にとって、足切り回避のために本試験で文章理解問題は全問正解必須だったので達成することができ感謝しています。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

司法試験や司法書士など超難関資格の問題が並んでおり、とても自身の手には負えないだろうと思いつつ取り掛かりましたが、気が付いたらとても関心をもって取り組んでいる自分がいました。

同じ民法の單元でも、行政書士試験とは異なる問いかけの仕方の問題が作成されていたりするため、様々な聞かれ方に対応する良い訓練になり、また細かな論点を問われることもあるので初見の条文を知る良い機会にもなり、理解が深まっていくのを実感しました。同時に他資格に関心をもつきっかけにもなりました。

「直前ヤマ当てフェス」の商法他資格問題は本試験でドンピシャで的中したので隣殺で解答することができ、商法の学習が手薄だった私にとってはとても貴重な学習でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模試は難しいという噂を耳にしていたので、8月半ば頃に気合いを入れて取り組んだことを覚えています。解答肢以外の肢を全て切りきれなかった問題が複数あり、

その点で解きづらさを感じました。ただそれは、私の知識がまだまだ曖昧な点があったり、初見の条文知識問題等もあったためです。私のメイン講師であった豊村先生が問題作成に携わっていらっしゃるということで、「愚問はない!」と確信できたので全問解説講義を視聴しました。

私は本試験までに全11回ほど（アガルトを含む）模試を受けましたが、その中で全問かつ全肢の解説をしてくださるものは唯一アガルトのみでした。解説の中では関連する判例も紹介くださいましたが、「これ面白いでしょう!」と、いきいきしながら説明される豊村先生に釣られて、私もとてもワクワクする気持ちを持って視聴した「判例変更により、土地区画整理事業における事業計画決定において処分性を認めた判例」はその時から今もずっと頭に残っています。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

オンラインライブクラスには人数制限に引っ掛かり残念ながら入ることができなかったのですが、ゼミの講義中の先生からのゼミ生への問いかけに自身でも解答したかったのですが、解答に詰まった時に講義動画を一時停止することができるよう、ライブではなく後日視聴して利用していました。

ゼミで配布されるレジュメにはテキストに掲載されていないような判例や問題なども載せてくださっているため、理解が深まっていくことを感じていました。また、明瞭簡潔にまとめてくださっているので、苦手分野については付箋を付け、直前期にもざっと見返しました。実際、レジュメに載せてくださっていた判例が本試験の記述式問題で出たのでゼミを受講して間違いなかったと確信しました。

特に、補講の憲法の講義は直前期に2倍速で何度も何度も隙間時間に視聴しました。要点を簡潔にまとめてくださり、重要ワードを繰り返し強調して講義くださる講義は、何度視聴したかわからない程活用させていただきました。おかげさまで本試験で憲法は満点を取ることができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

もう耳にタコができるほどお聞きになられているかと思いますが、豊村先生、本当にどうもありがとうございます。飽き性な私が通学でなく通信で学びを続けられたのは、先生のメリハリのある熱血授業が、私にとっても合っていたからだと思います。いつでも楽しく、ワクワクするような講義をしてくださったこと、感謝しています。

私は、先生には講義の間だけではなく、模試を受けている時や本試験を受けている時にも助けていただけていました。試験中に先生の講義のお声が頭の中に聞こえてきて、それが解答にシンクロする瞬間をたくさん感じていました。きっとそれは大事なワードを重複し、強調して講義してくださっていたこそのことであると思っています。感謝しております

す。

本試験では、ゼミのレジュメに載せてくださっていたおかげさまで、記述で出題された12チャンネル事件の問題にも怯むことなく対応することができました。また、会社法は設立しか学習していなかった私にとっては撃沈でしたが、直前ヤマ当てフェスの他資格問題に掲載してくださっていた商法の匿名組合の問題の1肢がドンピシャで出たので、その1問は瞬殺で解答することができました。

受講を始めたばかりの頃、行政書士試験に合格して先生に面白Tシャツをプレゼントすることもひとつの目標として掲げていたので、今回先生にお会いできる機会がないことはとても残念に思います。

私は三重県にいますので、本試験の時もブラックサンダーを配る先生にお会いすることができず、なんだか先生が実在しない架空の神様のように思えてしまいます。いつかどこかで先生をお見掛けするようなことがあれば、その時は（空気を読んだ上で）お声がけさせていただきたく思っています。

先生にとって私は2024年度の受講生の1人にすぎませんが、私にとって先生は一生忘れられない程の尊敬する先生になりました。これからたくさんのお会いを経験して、先生のように自身のメンターとなるような方々ともっともっと関わっていけるよう、私もまた頑張ります。先生の講義の音声はダウンロード済みなので、これからも学びに向き合う時には是非とも聞かせていただきます。今後、行政書士試験に挑む方に会ったら、豊村先生についていけば間違いない、と強くお勧めしたいです。

ですが、どうかご自愛ください。長時間に及ぶ頻繁な収録、一所懸命な講義、きつとその分体にかかる負担も大きいと思います。私はただただ先生のお身体が心配です。お忙しい中、長文の駄文にお目通しをいただきありがとうございます。ございました。

最後にもう一度だけ、豊村先生、本当に本当にどうもありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

合格は、正しい学習方法を教えてくれた先生方のおかげ

湯田 佳織さん

40代 主夫/主婦

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：2回目

行政書士試験を目指した理由・契機

社労士事務所の事務員をしている時に、私の担当事業所に建設業や外国人就労をしている企業が多く、行政書士の資格を取ることで、もっと幅広く支援できるのではないかと、資格があれば事業主からももっと信用を得られるのではないかと思います、行政書士の資格を取るため行政書士試験合格を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は、2回目リベンジ組です。1年目は試験の直前である8月半ばころから、別の予備校の短期集中講座を受講しました。もちろん、当時は仕事もしながら、夫は単身赴任のため、育児はワンオペ状態で、隙間時間に講義を見ていましたが、短期集中のため、最重要部分のみの講義で、過去問を始めたのも、条文を見るのも11月になって2日くらいがやっとでした。

もちろん、1年目は156点で不合格でした。

その後、私は基礎から学び直さないととても合格は難しいと考え、予備校を決める際、授業内容やテキストの充実性、授業の進め方、先生との相性を体験で比較したところ、アガルートが最も私が合格するには合うと感じたことから、アガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私が2回目にして、合格できたのは、次の点を改善したことが大きいと思っています。

1. 約1年をかけて基礎から学び直すという意識で、ジグザグ方式により、講義でインプットした後、過去問でアウトプット、さらにその過去問に出てきた条文は都度確認しチェックをするとともにどの部分をひっかけてきたのか確認することで、テキストと問題集、六法を常に一元化することを一周目は徹底しました。

1周目は時間と労力が掛かりましたが、2周目以降は、ここはこういうところ（主語を変えてくる、行手法とごっちゃになりやすいところ）をひっかけてくるのか、とか、この条文は出題頻度が大きいということが分かるようになりました。

2. 過去問を何回以上解くということに囚われない。過去問を解くのは、傾向を掴むのには大変有効だと思います。1年目は1回解くかぐらいだったので、過去問の重要性は分かりますが、過去問を何度も解いて正答肢が何番だったということを記憶してしまい、理解して解けると勘違いしてしまう可能性もあることから、重要ランクは3回ほど、Cランクは1回くらいにして、一元化した六法などをその分見たりしていました。

3. 民法は特に苦手意識がありましたが、先生方がよく仰っていた要件・効果、事例とそれが何のときに出てくるかを常に意識するよう心掛けました。記述で動産売買の先取特権が出てきたのも、そのお陰かと思います。（一般債権に優先して〜でなく、差押えと書いてしまいましたが……）民法は、要件・効果や事例を意識すること、図を描くことで、少しずつ解けるようになり、試験直前には、すごく苦手という意識は無くすことができました。

4. 法律は独特な言い回しで、私1人では理解できないものも、逐条ローラーインプット講座を受講することにより、その条文が何を規定したものなのか分かり、行政法も民法も理解が深まりました。

闇雲に暗記ではなく、何故そのような規定になっているのかを理解することで、自然と「あー、これ法定義務になんてしたら行政は大変だから、努力義務だな」と努力義務等を問う類出問題も暗記だけでなく背景から解けるようになりました。

5. 疑問に思ったことは、質問して曖昧にしないよう努めました。質問すると、早い時は午前中質問しておく、その日仕事終え夕方確認時、既に回答されていて、モヤモヤせず取り組めるため、こんなこと聞くのはバカだと思われるかなど気にせず、質問していました。

6. 春から夏にかけて、モチベーションが下がってきたとき、模試を取り入れたり、豊村先生のゼミを見て、自分がどの程度答えられるか緊張状態にわざとしたりしていました。モチベーションが下がるときがあると思うので、個人差も大きいと思いますが、私は新たな目標設定しないとダラけてしまうため、市販の模試をやってみたり、豊村先生のゼミで、テキストを見ないでどのくらい先生の問いに答えられるか、オンラインゼミ生はどのくらいの仕上がりになっているのかを確認して、モチベーションを上げるように心掛けました。

7. 8月末からは別の予備校の模試パックとアガルートの模試をベースに、2週間に1回模試を取り組み、自分の苦手なところの炙り出しをしては、テキストを確認し、付箋に書ける量にその分野を自分なりにまとめることで、その分野の特に重要箇所を自分なりに

記憶から引き出すことをして、記憶の定着化を図っていました。

総合講義のご感想・ご利用方法

憲法・民法・行政法は試験までに3周はしたいと思い、憲法はいつまで、民法はいつまで、行政法はいつまで1周目講義を聞き終え、2周目以降はどのように進めていくかというざっくりとした計画をまずは立てました。

総合講義をまず1回目はしっかりメモも取りながら受け、ある程度区切りの良いところで、ジグザグ方式のためアウトプットを取り入れながら、進めていきました。

2周目以降はテキストを見てもイマイチ分からない時だけ、1.7倍速～2倍速で講義を聞いていました。

講義では、豊村先生が本当にポイントになるところはその旨伝えた上で、時々面白い事例等も教えてくださり、要件・効果を意識しながら進めていくことで、理解を深めることができました。

会社法は、憲法、民法、行政法に重きを置きたいと考えていたことから、設立、機関、株式に範囲を絞って、そこはしっかり解けるようにしました。

豊村先生が講義中に記述で出る可能性のあるところを教えてくださいだったので、記述マークの付箋を貼り、シャドーイングして、隙間時間などに付箋の貼られたところを読んだり、シャドーイングしたところを隠して書けるか確認していました。

とにかく、豊村先生が教えてくださった方法（ジグザグ方式、要件・効果や事案を意識する）で取り組みました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

短答過去問は、ジグザグ方式である程度インプット終えたら、区切りの良いところで問題を解く、解答解説を読んでも、不安が残る問題があれば、解説講座を1.5～1.7倍速で見っていました。

5つの選択肢全てどこが違うのか答えられる、解答とも内容が合っている時は、解説講座はとばしていました。

過去問に出てきた条文は、その都度六法で確認し、チェックを入れることで頻出条文が一目瞭然となり、出題時、どこを変えてくるのかもある程度分かるようになりました。

最初の1回目は、1つ1つ選択肢のどこが違うかをチェックしながら解き、2回目以降は、解くというよりは、読むに近い感じで、この選択肢はここが違うと答えながら進めました。

林先生が、もうこの問題は解かなくて良いと話された問題は、その一度だけ解くようにして、とばしていました。

問題ごとに青（解説も完璧）、黄（あやふやな選択肢有り）、赤（大事な問題だけど選択肢のどこが違うかを理解できていない）など色分けして、青になったら、その問題はもう解かなくて良いと考え、赤をメインで青にするようなやり方をしていました。

林先生の時々出る毒舌が個人的には好きでした。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

まず、自分で問題を解いてみることから始め、1問解いたら、対応する問題部分の講義を見て、どのようにその解答を導き出すかを確認していました。

記述はそろそろ過去問の焼き直しが出てもおかしくはないと聞いていましたが、民法は意義や条文を聞くもの以外は丸暗記ではなく、どのような事例だとどのようなことができるのかを意識して解くようにしていました。

暗記で答えなくてはならない記述以外は、先生がどのように導き出すのかをしっかりと解説してくださるので、講座では解法を学ぶよう心掛けていました。

その都度、解説を聞きながら、テキストや六法の問題該当箇所に戻り、復習する際は、条文ならその前後も含めて読み、テキストでは今回ここを聞かれたけど、似た事例でもこういう時はこっちを使うのかなど、幅を持たせて復習するように努めていました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

最初の受験では、行政三法を試験会場に行くまでの車の中で流し読みするしかやらず、もちろんボロボロの結果となりました。

私は元々警察官だったため、法律に触れる機会はあったものの、刑法と違って民法のその独特な言い回しが苦手で、読んでもすぐ内容が把握できませんでした。それもあって、民法はとにかく苦手意識を持っていたのですが、逐条ローラーインプット講座を受講することで、田島先生が1つ1つどの条文が試験上重要か教えてくださるとともに、噛み砕いた説明をしてくださるので、条文が何を言いたいのかガスツと理解できるようになりました。条文に苦手意識が無くなることで、民法への苦手意識もどんどん解消されていきました。条文ベースで理解できたので、問題も解けるようになり、とてもありがたい授業でした。

田島先生のここからは雑談だから、とばしたい人はとばしてねという心遣いの後始まる先生のお話、私はモチベーションを高めるのに何度も繰り返し聞いていました。

どんなにモチベーション保たなくちゃと意識していても、落ちてしまう時があるので、そんな時に、田島先生が講義とは違う語り口で話す先生の想いが、先生と同年代の私には特に響くものがあり、たまに泣きながら聞いていました。その後、すごくスッキリして、よし頑張るぞという気持ちになり、勉強取り組むことができました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

行政書士試験の文章理解は、比較的簡単と言われ3問中3問正解するよう言われているため、プレッシャーに感じていました。そもそも基礎知識が苦手で、足切りが怖いという思いは常にありました。

私は文章理解対策は、比較的早くから始め、1日1問は解くとしていました。並び替えて間違えることが多く、田島先生の文章理解における小手先だけでなく、最初は時間がかかって良いから、じっくりと解くようにしようというアドバイスをもとに、慣れるまでは、じっくり時間をかけて、解説講座も1つ1つしっかり受けていました。直前期は模試

中心にしたことから、時間配分も考えて解きましたが、苦手なら最初は1日1問でも良いので、時間をかけてじっくり解いてみるのが良いかと思います。

『他資格択一80』解説講座のご感想・ご利用方法

『他資格択一80』は、直前期である模試と模試の間の期間に、模試などで似た問題があれば目を通し、重要と思われる部分の問題を解いて解説講座を確認する程度でした。

育児がワンオペで対応するのにかなり大変だったこともあり、とにかく基本をしっかり押さえることを重点課題とし、あまり手を広げて基礎もガタついてはいけなかったと考えていたので、他資格問題については、私の中で重要度は低く設定していました。

メリハリをつけて、模試や過去問で頻出テーマについては、「解く」のではなく「読む」ということにして、頻出と思われるテーマの中でも解説を見ても分からないときに、講義を1.7倍速で聞くようにしていました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模擬試験は解説が1問1問しっかりと動画で確認できるため、選択肢の中で完璧に分かったものは講義をとばし、クエスチョンマークを付けた問題や選択肢は、解説動画でしっかり確認し、テキスト等に戻ったり、六法確認をしました。

他の予備校の模試パックも申し込んでいたため、夏以降直前期は模試をベースとした勉強をしていました。1問1問、どこが違うかなどをチェックしながら解き、曖昧なものには後から解説やテキスト等で確認できるように、？マークなどを付けていました。模試で出た記述問題はコピーして、記述対策ノートに貼り付け、隙間時間でノートを見ながら、声に出して読んだり、書いたりを繰り返していました。

模試では、点数が気になり、一喜一憂してしまうものですが、苦手な科目や部分があったのだからオッケーだと考え気持ちを引きずらないようにすることも心掛けていました。

また、アガルートの模試以外も受けることで、行政法はどの部分がやはり多く問われるということを把握するのに役立ちました。さらに、時間配分を徹底して確認し、どの分野から順番に解くことで自分は流れを掴めるかを確認していました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

私はオンラインではなく、通信でしたが、豊村先生が質問することに私なりの答えを発しながら受講していました。

ゼミの皆さんが皆さんすぐスッと答えられていて、焦ることもありましたが、ゼミを受けることで、その予習とゼミ、復習とポイントとなる部分を3回繰り返せるため、短期間に反復復習ができ、記憶の定着化にもとても良かったです。

先生の質問は、ポイントとなるところが分かるだけでなく、頭の中の記憶を手繰り寄せて呼び覚ますことができて、良い刺激となっていました。また、質問の答えに繋がるヒン

トも出してくださるため、周辺知識も呼び覚まされました。

ゼミでは、総合講座よりも詳しく解説されているところもあり、より深く学習することができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今回合格できたのは、正しい学習方法を教えてくださった先生方のお陰だと思っています。

おそらく、私の場合、独学では勉強方法も分からず、闇雲に色々なテキストを読んだり、過去問の意味を考えず、過去問の丸暗記に走ったり、子どものこともあり、モチベーションを保てなかったと思います。

支えて行政書士試験合格への道を標していただき、本当にありがとうございます！

今後、行政書士として職務を遂行するにあたり、これまで以上に勉強を続けていかなく
てはならないと思いますが、負けずに頑張っていきたいと思います。

豊村先生、田島先生、林先生、アガルートスタッフの皆さん、心より感謝申し上げます。

令和6年 行政書士試験合格

いかに日常に自然に勉強を組み込むか

和田 愛子さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：2 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

政治に興味があり、今後政治にかかわる可能性を考えた際に、単に有権者と接点を持ち意見を届ける以外に、社会全般の規範作りには法律の知識が必要不可欠であると考え受験を決めました。また、私自身は父がサラリーマンの家庭で育ち、私自身も会社員のキャリアが長かったのですが、多様化する働き方の観点から、私の2人の子どもに会社員以外の働き方があることを自ら示す可能性も持ちたいという思いもあります。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

勉強環境はオンラインのみを考えていたため、その環境下で、私のやる気を後押ししてくれるような講師を探していたところ豊村先生のユーモアのセンスと講義の面白さ、私のような初学者にもわかりやすい点に惹かれました。

合格体験記・学習上の工夫

私には子ども2人がいますが、子どもを祖父母などに預かってもらう環境がなく、フルタイムで仕事をしている兼ね合いから、勉強に専念できる時間が相対的に少ないことが最初からわかっていました。一方、6年前に子どもの人数は違うものの、同じような環境で別資格（TOEIC）で納得いく結果を出せたことがあるので、そのころを思い出しいかに日常に自然に勉強を組み込み、当たり前になるような環境整備をすることが課題でした。そもそも無理かもしれないという思いもありましたが、豊村先生が「子育てをしている女性も合格をした実績がある」「そこに対して後ろ向きな気持ちを持つことは一切ないです」「ただし時間のやりくりは徹底しないと」最終的には「時間がいないからこそ、情熱が伴え

はいくらでも工夫できる」と信じることに決め、隙間時間に「講義を聞いた一度目は理解度が低いのが当たり前」という先生の言葉を信じて、「わからない自分を責めることはせずにまずは講義と問題集を一周する」と決めて日々コツコツと取り組みました。

具体的には、家族の同意を得て、仕事が休みの日は早朝から昼までマクドナルドや図書館で勉強ができるよう環境整備をしました。また職場にも行政書士試験を受験する旨を宣言したところ、幸い応援をしていただき、昼休みは個室で食事を摂りながら講義を聞き問題を解きました。わからないながらも豊村先生の講義に触れる事が大事だと考え、朝4時に起きたら当日の音声を1.5倍速で聞きながら30分間ルーティンの家事をし、4時半から6時までは朝4時に聞き流しした部分を教科書を開きながら通常で聞いて勉強をし、朝の勉強を終えた後は家事や通勤時に豊村先生の講義を聞きながら、わからなくてもいいからディクテーションして頭に叩き込むことを徹底しました。通勤時間も買い物をしているときもずっとディクテーション、夜は家事時間はディクテーションでした。言語は母国語の日本語ではありますが耳にしたことがない概念や単語ばかりだったので、私がTOEICを通じて英語を勉強し身に着けた方法を採用し、続けることができたのが私にはあったのかもしれません。子供たちの寝かしつけを終えてからは朝勉強と昼に勉強した内容の復習をし、同じ箇所の問題を解きました。夜はどうしても集中力が落ちるため、わからない問題は教科書を見ながら解いて、解説を音読しながら自分の理解力が足りているかチェックをするという形で毎日進めていきました。寝かしつけも片耳イヤホンをつけて豊村先生の声を聞いていました。人生でここまで育児も家事も片手間でやっつけ仕事だったのは初めてかもしれません。

総合講義のご感想・ご利用方法

とても分かりやすかったです。教科書を読むだけの通り一辺倒の講義ではなく、講義のはじめに毎回必ず「頑張ってください！」とあの手この手で励まされるのでどんなに眠くてもチャプターを途中で閉じることなく気合を入れて講義に臨めました。励ましてくれることでメリハリがあり、講義のチャプターを開くたびに「先生が次に着用するTシャツはどう私を笑わせてくれるんだろう」「次の講義で先生の髪色はどう変化するのだろう」など外見からも飽きを作らない先生の工夫が感じられました。講義内容もさることながら豊村先生の全般的なキャラクターが私を惹きつけました。

前述のとおりオンラインで受講する私たちが飽きることがないよう、ビジュアルも含めて様々な工夫で臨場感をもった講義がとても新鮮でした。そして難しいなどか苦手意識を感じる單元の際は必ず「ここからちょっと難しくなるけれど一度で理解しようとしなくていいからね、絶対わかるからね、大丈夫！」と必ず励ましてくださるので、豊村先生を信じてついていけば必ず理解度が深まるはず、わからなくてもいいからまずは躓かず聞き進めよう、と初学者の不安を常に払拭してくれるパワーに引っ張られるような形で毎回講義に参加することができました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

林先生は豊村先生とは違った個性で、もちろん丁寧に解説いただいたことには変わりないのですが、アイロニーやウィットの利いた解説を小話的に織り込まれてくるのが面白く、問題に躓いたときにも、先生の話の面白さに注目するという別の観点から視聴をすすめることで耳で理解をすることが出来ることも多くあり、興味深く利用することが出来ました。私は講義を聞いてもすぐに記憶から消えてしまうので、短答過去問集の単元ごとに講義を聞く範囲を区切り、問題を解くルーティンを繰り返していました。理解できた問題は解説を二倍速にし、躓いた部分があれば何度も聞きながら該当箇所をテキストで探し当てるような方法を取っていました。理解度が進むにつれて教科書の内容が頭に浮かんできたことにとっても驚きました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述過去問解説講座は、出題者が何を意図するのかを最初に紐解いてから解説して下さるのがとても勉強になりました。視野が狭くなるとどうしても主観的になりますが、客観的な目線を忘れずに問題に取り組めたことが大きかったです。講義を見なくてもテキストを読み進めるなかで理解がすすんだことも助けになりました。

私の時間配分不足から記述式の対策は半分程度しか手が回らなかったのですが、取り掛かるタイミングは過去問をそれなりに解けるようになった段階だったのでスムーズに取り組めたと思います。講義を聞き始めたばかりの頃は自分自身で記述を解く力などないと思っていたので、3問中1問のみではありましたが配点を取れたことが分かったときはとても嬉しかったです。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

民法と行政法の全ての講義を2週間き終わった段階で逐条ローラーインプット講座に取り掛かりはじめました。ボリュームがあることもわかっていたのでパスしようと思った時期もありましたが、聞き始めると、豊村先生に教わってからわかった気になっていた知識が実は理解が浅かったりそもそもの理解ができていなかったり、抜けていることがあるなど、別観点からチェックをし知識不足を補うことが出来たため時間がないなかではありましたが受講をして本当に良かったと思いました。

田島先生は条文読みはもちろんのこと、豊村先生や林先生の講義などで扱った重要な判例なども取り上げてくれ、手を変え品を変えではないですが、何度も復習ができました。豊村先生は多くは語らない語呂合わせなども教えてもらえて、復習にぴったりだと思いました。

テキストが届く時期がもう少し早ければ市販の六法ではなく、テキストを使って勉強をしたかったです。サイズや文字の大きさなどとても良かったです。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

私は1度目の試験でも文章理解は満点だったのと豊村ゼミで取り組んでいたためほとん

ど活用しませんでした。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

民法行政法ともに短答過去問解説講座では知識の肉付けができない部分をこの問題集で補うという方法で、講義2周と短答過去問解説講座を4周したあとから取り組み始めました。『他資格択一80』を解いてわからない点はテキストを振り返ってと、自分自身に知識は講義と短答過去問集を解いてもまだこの程度なのかと打ちのめされることもしばしばありましたが、講義も1周目がわからなかったのが徐々に理解が進むのと同じように、負けじと問題を解き進めていくことによって知識の肉付けがされていることが正答率でも肌感覚でも実感することができ、途中からとても楽しくなってきました。講義や短答過去問解説講座、逐条ローラーなどと合わさって点だけだったものがどんどんつながっていくのが興味深かったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルトの模擬試験が届いたころは子どもがそれぞれ異なる時期に長い期間発熱をし勉強や受験そのものを諦めかけていたころでした。しばらくは棚の端に追いやっていたものの、ダメでもいいからと問題を解いてみたら合格点には到底及ばずもっと自信を無くしましたし焦りもあり、このまま諦めようとも思いましたが、1日経たないうちにだんだんと悔しくなってきた、悔いがないようにと最後の追い込みをかけることができました。模試が低い点数だったからこそ、やってやると闘志を燃やすきっかけにもなりました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

受講をして本当に良かったと思います。変な話かもしれませんが「目の前で豊村先生が同じ時間を共有して一緒に勉強をしている」という場が定期的にあることで自ずと気が引き締まりますし、アガルトで行政書士試験に合格すると決めたからにはとことん豊村先生を好きになって、最大限先生のお力をお借りしようと思っていたので定員前に申し込みができ本当に良かったです。またゼミ生の皆さんのレベルが高かったのも私の刺激になりました。おそらくゼミ生の中で一番理解度に時間がかかる生徒だったと思いますが先生のスタンスとして「しっかり予習したなら観点がずれていても軌道修正を図れるよう導いてくれる」心配りをしていただいていたのが見えたので、いい意味で間違えることを恐れずにゼミに参加できましたし「ゼミ生になんとかついでいかなければ!」と毎回ゼミを終えた頃に程よい疲れと共にモチベーションを保つことが出来たのもとても良かったです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生、本当にお世話になりました。

フルタイムで子育てをしながら合格できるなんて半信半疑でしたが先生がゼミで私を取

り残さなかったこと、勉強への環境整備がうまく整わず、諦めかけても玄関や手帳に貼ってある豊村先生の顔を見ては、初心を忘れることなく頑張らなければいつも勇気づけてくださいました。行政書士試験終了の翌日に国会議員秘書の面接を受け採用が決まり、今は国会議員秘書として働きながら行政書士登録の日程を首を長くしながら毎日を過ごしています。夢に向かって一步一步進めているのは間違いなく勉強を頑張った日々があるからこそで、豊村先生が自信を喪失しすべてを失っていた私を持ち上げてくださったからです。チャンスが巡ってくるかはわかりませんが行政書士として議員秘書として働きながらいつか願う場所にたどり着けるよう努力を続けていきたいと思います。末永く見守ってくださるとうれしいです。

令和6年 行政書士試験合格

会社のお昼休憩も活用し、毎日学習を続けた

木村 龍生さん

20代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：7か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

今までは大学の学部や仕事は法律とは関係のない分野でしたが、元々法律に興味があったこと、資格を取って法律の道に進みたいと思ったことが理由でした。友人と資格の話になり、これを機に思い切って勉強してみようと思い、受験に至りました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

仕事が忙しくなり独学では難しいと感じ、講座受講を検討しました。様々なところから資料請求し、動画視聴をしてみたところ、アガルートの動画が分かりやすいと思い、受講に至りました。豊村先生のインパクトある講義やYouTubeの動画が決め手になりました。

合格体験記・学習上の工夫

行政書士試験に合格できた要因として3点挙げられます。1点目はほぼ毎日勉強することです。体調不良や仕事の忙しさがあると毎日勉強するというのは意外と難しいものだと実感しました。ただ、無理をしない程度に、例えば3問だけ過去問を解くなど5分でも10分でも良いから毎日続けることは重要だと考えます。ただし、その意識を持っていても毎日勉強するのは難しいです。そのため、月1日程度は勉強しない日を作るのも1つの手段だと思います。2点目はモチベーションの維持です。これは簡単そうに思えて、一番難しいところかもしれません。もちろん上がる時もあれば下がる時もあるのですが、その上下幅をいかに抑えるかが大事だと思いました。1点目の毎日勉強するというのも1つの手段

ですし、モチベーションが下がりそうな時は1日休むのも1つの手段です。模試の結果などは上下しやすいと思いますが、その他にも日常生活や仕事もかなり影響を与えます。モチベーションが下がっているのに無理をして勉強をしたり、体調不良時に頑張ったりなどはせず、モチベーションを一定に保つことが重要だと思いました。3点目はお昼時間の活用です。私は仕事のお昼休憩はほぼ毎日勉強していました。皆でご飯に行く時は勉強しない時もありました。30分だけ勉強する時もありました。合格体験記を見ても隙間時間の活用というのはよく拝見していましたが、私は通勤時間や入浴時間は勉強していませんでした。理由としては仕事前は好きな音楽を聴きたいし、入浴時間はリラックスする時間にしたかったからです。その分お昼休憩に勉強を頑張っていました。仕事が多忙で帰宅したら寝るだけの時もありました。模試は思うような点数が取れず悩むこともありました。その中でアガルートの先生方がよく仰っている、諦めないということが自分に響き、学習を続けられました。学習時間は目安よりもかなり少なかったと思います。それでも試験の案内開始の時間まで復習したことが合格へ繋がったと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

1つあたりの講義が最長で40分ほどだったので1つだけ観ようと思ってお昼休憩に学習したり、講義と六法を使ってじっくり勉強したりと自分に合った勉強やその日の気分に合わせて勉強ができました。講義は必要なところはじっくりと重要度が低いところはあっさりとしりとりのある講義でした。私は学習時間があまり取れなかったこともあり、1回目から倍速再生で受講していました。倍速でも聞きやすく、メモを取るときは一時停止して書き写すので頭に残りやすかったです。本来であれば2回、3回と繰り返し講義を聞くのが力になっていくのだと思うのですが、1回でも集中して学習すれば2倍速でも頭の片隅に残るものが多いです。私が総合講義で活用していた方法は、テキスト講義はじっくり机に向かって学習する、記述式の講義やニュース検定は洗濯物を干したり、料理をしながら聴くというものです。書き込むものも多いテキスト講義はやはり机に向かっての方が力が付きました。しかし、一般知識対策は聴くだけでも十分効果があり、隙間時間の活用という面では総合講義全体を通して活用しやすいものでした。全てを見ることは私にはできませんでしたが、全てを見ることを目標とするのではなく、重要点を効率よく確保していくかが重要であり、アガルートの総合講義は効率の良さを実感するものでした。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

正直に申し上げますと、私は短答過去問解説講座については観られていないところが多かったです。ただ、苦手なところや自分で考えても理解がしにくいところはじっくりと観ました。文字だけでは理解し難い部分も解説があると分かりやすかったです。また、問題全体を通してではなく、設問毎に見ることもしていました。(例えば設問3だけ見るなど)自分が分かりにくい部分を見るだけでも効果は大きく、実際の試験中も講義の声を思い出して解けた問題がありました。短答過去問解説講座は他の講座と比較してコンパクトな解説が多いですが、その中に重要部分が詰まっていて、設問のどの部分が重要なのか、条文

や判例の解説など、過去問を通して実際の試験で使える知識を教えてください。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述過去問解説講座は全て問題を解いてから講座を見始めました。見始めたのは直前期でした。この講座は隙間時間での活用が多かったです。1度問題を解いているので思い出しながら、具体的に頭の中で考察しながら解説を聞いていました。時々自分で苦手なところは一時停止して問題を見返しながら見ていました。運転中や洗濯物を干しながら、料理をしながらなどの隙間時間に一番聞いていた講座です。まずどのような解答をするのかという型を整え、その後具体的に構想していく流れはこの講座で覚え、本試験でも活用できました。板書が詳しくあり、根拠法令や判例なども詳しく解説があるので過去問の枠を超えた学習ができます。時間があればよりじっくり机に向かって取り組みたい講座でした。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

逐条ローラーインプット講座を見始めたのは10月からだったと思います。テキスト講義を全て見終えてからの受講でした。赤と青のマーカーで隠しながら自分の教材を作り上げることができるのが一番の魅力でした。講義の中でも先生が仰っていましたが、準用の部分を逐一戻って振り返って自分のものにすることが重要だと感じました。こちらは聞くよりも机にしっかりと向かって取り組む方が良いと思います。条文の解説を受ける、分からないところはテキストに戻って振り返る、過去問の該当部分を解いてみるといったようにローテーションさせながら活用しました。正直もう少し早くこの講義を聞きたくったと思いました。この講義の後からは法令が具体的なものとなり、自分のものとなった法令が多くなりました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解は大学院修了時に受験した公務員試験対策や得意分野でもあったため、分かりにくいところを中心に学習しました。こちらも記述式と同様に解いてから理解がしにくいところだけを聞くというように活用しました。得意分野なことと3問しかないこと（落とせない問題ではありますが）を考慮し、時間をあまりかけずに効率良く対策をしました。どのように答えを導き出すのかという具体的な方法を教えてもらったので、本試験でも3問しっかりと点数を取れました。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

民法は幅広い知識と応用力が必要で、過去問だけだと対応できないものもあるかと思います。そこでこの『他資格択一80』解説講座は行政書士過去問では対応できない部分にも触れていて良かったです。民法を一通り終えてから、この講座を見たことでより深い知識になりました。他資格択一も1週目を解き終わってから不明な部分だけ受講するようにしました。その後2週目を解くと理解が難しかったところで正解できました。それでも間違ったところは苦手なところとして付箋を貼っておき、4～5回解いて講座を見てという流れで定着させました。まずは基本テキストの民法で基礎知識を押さえてからの『他資格択一

80』解説講座をやることで民法の理解度の深まりが違うと感じます。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験だからと力みすぎず、8月には1回目を解きました。正直、点数は芳しくありませんでしたが、まだ3か月あるとポジティブに考え復習に徹しました。模擬試験は完璧に近くなってから解きたいという気持ちを抑えて取り組みました。また、時間も13時から行おうとするとなかなか時間が合わなかったので時間も気にせず行いました。最終的には3回解いて、六法を隣において復習をしっかり行いました。模擬試験は本試験を意識しすぎずに回数を重ねるように意識しました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

豊村先生の講義は、話の強弱もありながらインパクトもあって頭に入りやすかったです。大事な部分と重要度が低い部分をしっかりとわけて教えてもらえたので合格のための知識がついたと思います。また、話す時に分かりやすい例を出してくれるので硬い覚え方ではなく、柔らかく覚えることができました。「この時はこう」とただの暗記ではない覚え方を教えてくれるので、私のような法律初心者でも取っ付きやすく、覚えやすかったです。豊村先生の講義を聞く時は必ず六法を隣に置くようにしてすぐに見られるようにしました。豊村先生の講義、基本テキスト、六法はそれぞれでも役立ちますが、ローテーションと復習をすることでより理解度が深まると感じました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

まず初めに豊村先生をはじめ、アガルートの先生方には大変お世話になりました。先生方の講義やYouTube、励まし、応援などが支えになって合格できました。時間もなく焦ってしまうこともありましたが、模試も合格点を取れることは殆ど無かったです。それでも諦めたことは一度も無かったです。どこかで厳しいかとも思いつつも試験直前まで見直していました。試験中はわからなくてもじっくり考えていたら講義の言葉が思い浮かんで、正解できた問題がありました。その問題が不正解なら不合格だったかもしれません。最後のひと押しをしていただきました。本当にありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

毎日講義に触れ、法律用語に慣れるところから

藺部 和宏さん

50代 自営業

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス / 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

土地家屋調査士事務所を開業して27年目であり、父親が公務員退職後に行政書士事務所を10年前に当事務所に開業したことで、以前より資格の必要性を感じていたため、前年に測量士試験をアガルートで受講して合格することができ勉強癖がついたことから目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

測量士の試験を前年に受けた時に、中山先生からアガルートには行政書士のカリスマ講師である豊村先生がいるとの話を聞いて、サンプル動画等を見て豊村先生の授業は楽しんで勉強ができそうと感じて受講することを決めました。

合格体験記・学習上の工夫

学習方法としては、ロケットスタート組として前年の7月中旬から本試験まで約1年4か月あることから、総合講義を民法、行政法、憲法、商法の講義を何回も聴き（聞き流す感じ）で何度も繰り返し聞くことで、とにかく毎日少しでもいいので講義にふれるように心がけました。仕事が多忙であったことから、イヤホンでとにかく講義をきいて、言葉が難しい（特に民法）法律用語の内容把握を後まわしにして、とにかく法律用語を聞いたことがある状態に持って行くことも心がけていました。春くらいまでは、それまでに視聴できるようになったものを、何度も繰り返して聞いて、短答過去問を何度も解いていました。

春すぎから他社の1問1答を繰り返すことと、判例の豊村先生の講義を視聴したり、ゼミも視聴型を申し込んで何度も視聴したりしていました。6月に講義が終了してからは、他社の模試を10回以上うけて、自分の理解度の確認に努めていました。8月頃から記述対策を中心に、模試のA、Bランク問題（正答率の高い問題）で間違えたところの復習をすることに時間を割きました。学習上の工夫としては、AWESOMEコンサルティングにて豊村先生の仰ったことを時間の許す限り自分なりに実践していったことでした。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義の感想はとにかくボリュームが多く内容が充実しておりました。1回目は豊村先生の指摘される箇所に線を引いたり、マーキングをしたり、書きうつしたりと書くことに一生懸命であった記憶があります。2回目からは1.5倍速にして聞き流していました。何度聞き直したかははっきり覚えていませんが、ロケットスタートということもあり、4.5回は聞いたかもしれません（最後2倍速のときもあり、聞き流すこともあり）。総合講義はとにかく基本なので何度も聞いていると、前もこれを聞いたことがあるな、とかになり、少しずつ頭に入っていく感じでした。それ以外に具体的したことのひとつとして六法をちゃんと確認することが大事との教えでしたので、テキストと六法と問題集が相互リンクするように時間を非常に割いてリンク付けした感じがあります。但しこの作業を行ったことで非常に知識の整理ができ、これは前見たとか、六法に書いてあることがこのようにテキストで説明してくれているのかとか、問題集はこのように問うてくるのかとか理解することができ、わからない部分（覚えにくい部分）を把握することができたことから、その部分を何度か視聴するなどして、知識の定着化をはかりました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

短答過去問解説講座は、総合講義の受講と並行して視聴していました。知識がない状態からも視聴していましたので、最初は問題の説明に対して全く触れない部分と、念入りに説明をしていただける部分があるなと感じました。又総合講義と同様に良い意味で聞き流していました。学習がすすむにつれて、説明のメリハリに理由があることがわかってきました。林先生の講義の念入りに説明していただける部分はわかりにくいところをわかりやすく説明してくれていることで非常に理解の定着に役にたちまし。解説をしないところには、2度と出題がないと考える問題などが含まれていることから、こういう出題が行政書士試験ではされることを学ぶことができ、いかに基本的な事項は確実にとおさないようにしなければいけないかを感じました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述過去問講座につきましては、出題の傾向を把握するために講義を視聴しました。一つずつ丁寧に問題に対する考え方を学ぶことができました。記述の過去問としては同じ問題は出題されないとのことでしたので、アガルートの予想問題集と他社の予想問題集を中心に試験の2か月ほど前から40字を実際書く訓練を行いました。事案とテーマを意識して

何度も回していくうちにキーワードが身についた感じがありました。答練では10点～45点の間でしたが、本試験では38点とまあまあの得点をいただくことができました。又記述の勉強を通じて、択一の曖昧な知識の整理もできた感じがあり、残り2か月での記述追込みで本当に焦りましたが、いい意味で択一の勉強にもなりました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

逐条ローラーインプットに関しましては、膨大な講義時間でしたが、ひとつ、ひとつ条文を見ていくという、この講義がなければ民法の条文をここまで読むことはなかったと思います。何度も総合講義を視聴した後から、逐条ローラーインプットを受講したので知識の定着において大変役に立ちました。田島先生の講義は一生懸命伝えようとの、熱量がすごくて大変楽しい講義でした。行政法につきましては、総合講義の視点からは違う角度で考えることができるようになったことと、義務と努力義務のすみわけ等細かい知識整理をするのに大変役に立ちました。条文に目を通すことにより、総合講義のテキストはわかりやすく、順序立てて説明されていることが理解できたことにより、自分知識の定着にも役に立ちました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解に関しては学生の頃からあまり得意ではなく、又行政書士試験においては絶対落としたくない問題との講師からの説明で、憂鬱な気持ちで講義の視聴に入りました。しかし、田島先生の講義はさすが国語の先生だけあって、わかりやすく、時間をかけての講義であったため、考える基本を自分の中に構築することができました。人生で初めて？文章理解を勉強しましたが、とても、おもしろく講義を受けることができました。最終的には本試験にて3問正解することができました。

『他資格択一80』解説講座のご感想・ご利用方法

『他資格択一80』の講義は民法の復習になりました。又過去問が少ない分の穴を埋める問題として司法試験、司法書士試験、公務員等試験等の問題ってこともあり、個人的にはワクワクして取り組むことができました。民法はとにかく1肢1肢の問いの状況を把握するのに図示したりして状況を把握することだけでも大変であり、状況が把握できた後に、知識において正誤を判断しなければならず大変な労力がいりますが、講師の説明により、状況理解が早まり、くり返し確認できたことが力となりました。但し答練が始まってからは答練の見直しに時間がかかり、なかなか講義を聴く時間を割くことができなかったことから、答練が始まるまでにもう少し講義を回せたらよかったと感じております。

模擬試験のご感想・ご利用方法

他社で10回、アガルート1回と11回の模試を受けました。アガルートに関してはちょうど11回の真ん中くらいで受けてみました。アガルートの模試の解説は他校と比べて非常に長く、丁寧な説明でした。模試期間中は次から次へと模試を受けていましたので、アガルートの模試見直しにはあまり時間を割くことができませんでした。

結局、解説講義の視聴は1回のみとなりましたが、間違えた箇所の復習、記述の復習が本試験ではとても役に立ちました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

豊村ゼミに関しましては、リアルタイムでの視聴ではなく、後に鑑賞するスタイルで視聴していました。豊村先生が本当に大雑把に大切な内容だけを皆に質問をして進んでいくタイプでした。ゼミは民法と行政法のメインしていただけることから復習のアイテムでもあり、尚且つ、重要なところだけに時間をかけてやっていただけることから、リアルタイムゼミ生ではありませんが大変重要ポイントが頭に残りました。最後の2回くらいは一気に憲法の講義をすることや、文章理解の考え方など大事な箇所を一気に押さえていただいたことから、この動画もいい意味で何回も聞き流していました。

試験直前の総復習には、このゼミの動画はとてもよいツールとなっていました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

7月の中旬からロケットスタート組で約1年4か月の受験期間でした。

豊村先生の話がおもしろくて、勉強というよりは先生の話聞くのが趣味のような感覚で続けてこられたのが合格の要因であります。

記述38点、基礎知識44点、択一134点、合計216点で合格することができました。本当に有り難うございました。

令和6年 行政書士試験合格

一発合格を目指せる質の高い講義

小椋 洸英さん

20代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

妻が一足先にアガルートにて土地家屋調査士講座を申し込んでおり、将来妻が独立した際、土地家屋調査士と親和性があり、働きながらも1年で取れる資格を探していたところ行政書士が当てはまったため行政書士試験合格を目指し始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

妻が既に受講していたため他資格ではありますがテキストやマイページのUI等が予め確認でき、直感的に操作できそうなUIやフルカラーで理解しやすそうなテキストになっていたので初学者の私でも問題なく進められそうと感じたため。また1年で確実に合格する予定だったので、返金制度も魅力的でした。

合格体験記・学習上の工夫

今まで何か一つのことに継続して取り組んだことが無かったので、まずは勉強を習慣化することから始めました。勉強を習慣化するために好きだったお酒も控えて毎日22時には寝るようにし、朝6時に起きて勉強をしていました。8時の始業（在宅勤務）までに少なくとも1時間は確保し、後は昼休憩と勤務終了後の時間を勉強に充て、毎日最低3時間は勉強時間を確保するようにしておりました。またアプリを使い勉強時間の管理をしておりました。

ある程度早めのペースで学習を進めていたため、特にこれといった工夫はせず、豊村先生がおっしゃった通りテキストと過去問のジグザグ方式で勉強を進めました。テキストと過去問を2周ずつ実施した後はひたすら過去問、肢別、市販模試をベースに学習を進めて、

間違えたところはテキストに戻る学習を取り入れておりました。習慣化してからは勉強が嫌と感じる日はありませんでしたが、どうしてもやる気が出ない日もあるのでそんな日はYouTubeで憲法のアニメで判例解説などをエンタメとしてだらだら閲覧しておりました。YouTube視聴も趣味でしたが判例等をみることでアルゴリズムに行政書士受験生と判断され、いつ開いても行政書士関連の動画ばかり出てくるようになり、いい意味で逃げられなくされました。

総合講義のご感想・ご利用方法

私は法律の「ホ」の字も知らない状態からのスタートでしたが、初学者にも分かりやすい講義及びテキストとなっており、スムーズに学習を進めることができました。

テキストに関しては、基本的な試験範囲はもちろんカバーされておりましたし、判例に関してもすべての科目で有名判例は解説や判旨とともに一通り記載されており、プラスアルファで講師の解説もあり非常に参考になりました。記載がない判例についても、テキストの余白を使って自分でメモを取ることができるため、学習の進行に合わせて自分なりの補足を加えることができました。また、テキストの紙質も良く、裏写りしにくい点が非常に気に入りました。豊村講師の動画講義に関しては、どの科目も退屈せず非常に引き込まれる内容でした。講師はまるでこちらに話しかけてくれるようなシーンが多々あり、まるで1対1の講義を受けているような気分になるほどでした。豊村講師は経験が豊富で、受験生がつまづきやすいトピックについてもよく理解しており、その点を重点的に解説してくれるため非常に安定感がありました。講義の進行もテンポ良く、飽きることなく学習を続けることができました。

また、オンラインで視聴できるため、自分のペースで学習を進められますし、仕事や家庭の都合に合わせて場所や時間問わず効率的に勉強できました。

総じて、アガルート行政書士講座の総合講義は、質の高い教育を提供しており、一発合格を目指す受験生にとって非常に有益な講座だと感じました。これから受講を検討している方には、自信を持っておすすめできる内容です。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

豊村講師のアドバイス通りジグザグ方式で学習をしていたため、ある程度テキストが進んだ後にテキストで学習した範囲の過去問を解き、短答過去問解説講座を視聴という方法で進めておりました。

過去問集に関しては年ごとではなく、ジャンルごとに並んでいるため、学習が進めやすかったです。また、冊子のサイズはテキストよりも小さく、電車の中でも開きやすい持ち運べるサイズなので、出かける際はカバンに忍ばせておりました。

林先生の解説も非常に面白く、この問題は落としたらダメ、この問題は二度と見なくていい、といった具合にはっきりと示してくださる点が良かったです。また、時折見せる野球ネタやラジオネタ、その他ぼやきも個人的には好きでした。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述問題は本番で過去問と同じ内容は出ないと個人的に予想していたため、記述過去問解説講座に関しては1周のみ、かつ問題は自分では解かずして解説講義を視聴する形で進めました。

各トピックの解答を覚えるというやり方ではなく、解答を導くための思考や、キーワードで得点を拾う方法をこの講義から学びました。

当講座受講後からは、試験委員が何を聞いていて、何を書かせたいのか、問題中で困っている人は何ができたか嬉しいのか、救われるのかを意識し始めてから記述問題がスラスラと書けるようになったと思います。

試験勉強全体を通して特にこれといった記述に特化した対策はしていなかったのですが、本番で得点源と出来たのはこの講座を受講し、答えを導く思考を養ったからだと思っています。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私の場合、総合講義は豊村講師の講座を受講していたため、この講座では総合講義とは異なる田島講師が担当されていました。彼は過去1度悔しい思いをされており、初学者の気持ちが分かる講師なのでまた違った良さがありましたし、異なる視点から学ぶことで、法律の解釈や条文の理解がより多面的に進んだと感じています。この講座を受講したことは、条文読解力を固めるうえで非常に有益でした。

ボリュームの関係で当講座全てを学習することはできませんでしたが、勉強を進める中でどうしても理解できない条文があった際は必ずこちらの講座をまず開くようにしておりました。

今まで法律を読んだことの無い初学者にとって、自力で条文を解説するという行為は非常にストレスかとは思いますが、田島講師の解説であれば誰もが理解できるはずです。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解問題は必ず満点を取って基礎知識の得点源とするのが定石とされていますが、国語があまり得意でない私にとってそれは難しいものでした。

しかし、現代文の講師もされているプロフェッショナルの田島講師が担当するこの講座受講後からは、ある程度自信を持って取り組むことができました。こちらにも記述講座と同じく、解答を導くまでの思考力を養うために利用し、本番では無事に満点を取ることができました。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

問われる範囲自体はもちろん同じ法律がベースなので同じですが、他資格の問題ということで、行政書士試験で問われそうなポイントとは違ったり、そもそも問題文が見たことのない長さだったり、新鮮味がありました。

メインの学習としてはやはり行政書士試験の過去問がベースにはなってきますが、過去

の行政書士試験を見ても分かる通り突然対話式の問題が出たりすることもあるため、そういったイレギュラーな問題に対峙した際でも落ち着いて向き合えるようにするという意味でも有益な講座かと思います。私の場合は過去問学習がマンネリ化してきたタイミングで”味変”的にこの講座を受講し、気分を変えておりました。

当講座を通して、未知の問題でも冷静に対処できる力がついたと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験に関しては他校の7回通学パックや、市販の模試を何冊も購入していたため、アガルートの模擬試験に関しては結局直前に1度だけ実施しただけとなりましたが、他校と比べ難易度はやや高いと感じました。

解く順番や時間配分など、模試を何度もやって自分に合う方法を見つけることは非常に大事だと考えており、私の場合何度も模擬試験を実施したことで本番でもいつもの順番、時間配分で進めることができました。

令和6年 行政書士試験合格

このテキストをやり切る人こそが合格できる

後藤 遼太さん

30代 自営業

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在、集客と求人に関する事業を営む個人事業主です。お客様と日々話をする中で、補助金業務や各種許認可業務、遺言相続に関する業務などを行えると、よりお力添えできるが増えると感じたため、チャレンジしました。

現在の事業と連携して行政書士を行うことで、売上拡大、さらなる事業展開の一手としたかったためです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私が予備校を選ぶ際に重視したのは以下の点です。

- ・費用ができる限りかからない予備校
- ・ついていきたくなる講師がいること
- ・テキストの詳しさと分かりやすさ

大手予備校の料金などを見て、その金額を払う余裕は無いなと思ってしまい、できる限り費用がかからない予備校をまずは探していました。必然的に通信予備校を選択することになり、その中で出会ったのがアガルートです。予備校代に数十万円かける余裕がなく、できる限り安くてコスパのいいところ……という視点で探している中、出会ったのが「アガルートの全額返金」のサービスでした。私は、これを見つけた時にすぐに講座の体験を申し込んでいました。

実際にサンプル動画・サンプルテキストを用いて授業を受け始めたのですが、豊村先生の講義は口調も柔らかく、ふざけすぎたりくだけすぎたりというわけではなく、本当にちょ

うどよく楽しめる講義、というのが第一印象でした。分かりやすい具体例、テキストに「＜＞」など記号や線を引くことで、重要なところと重要でないところの緩急をつける進め方などが本当に良かったです。

その他にもYouTubeに上がっている豊村先生の経歴に関するインタビュー動画なども見た上で、この先生についていけば間違いのない！と改めて思い、講座の申し込みをしました。

合格体験記・学習上の工夫

・量で押し切る／学習時間の記録を取らない

アガルートの講座、豊村先生についていけば十分合格につながると信じていたので、勉強の工夫についてはAWESOMEコンサルティングの話や、ガイダンスの話を基本的に参考にしており、これで学習の質を担保できたと考えています。

その上で、学習の量については自分が工夫をして確保しないといけないと思いました。

そこではじめは学習時間の記録をとっていましたが、その記録された学習時間に満足してしまうようになったのです。そこで、あえて学習時間の記録を取ることなく、自分が確保できる最大限の学習時間を確保しようと決意しました。

それからは、移動時間・家事をする時・頭を使わない作業をする時は基本的に講義音源を聴くことによる耳勉強をするようにしました。また、私は自営業なので自分の仕事の時間を柔軟に変更できます。そこで、1日の初めに勉強、ある程度の学習を進めたら仕事を行い、時間が余ったらさらに勉強、という形で勉強メインの生活に切り替えました。

勉強のために家事・作業・仕事全ての効率化を図るように生活を変えていきました。最終的には、妻や友人から「本当によく勉強してるよね」と少し引かれてしまうほど勉強メインの生活をしていました。

・小さな疑問点で立ち止まらない

行政書士の学習は本当に幅が広いので、小さな疑問点の一つひとつ解消しようとしていくとキリがないと思いました。そのため、疑問点が生まれたときはとりあえず置いておくか、KIKERUKUNを活用してすぐに質問をするようにしました。とりあえず置いておいた疑問点については付箋を貼っておき、2周目3周目で注意深く改めて講義を聞くようにすると、ほとんどの内容で解消できるようになりました。

総合講義のご感想・ご利用方法

合格に必要な十分な量が詰まっているテキスト・講義だと思います。

アガルートのテキストが最初に一気に届いた時には「これをやり切るといいのか！！」とやる気がみなぎったのを今でも覚えています。人によってはこのテキストの厚さを厚いと感じる人もいるかもしれませんが、受験を終えた今となっては、このテキストを何度も

やり切る人こそが合格できるんだと心の底から思っています。

むしろこのテキストをもとにしながら、自分なりに工夫をして書き込みやコピー、まとめをすることで知識が自分の血肉となっていきましたので、この講義・テキストはあらゆる学習の基本となるものです。

憲法・民法・行政法については、総合講義を合計3周受けました。初回は1倍～1.25倍速、2回目～3回目は1.5倍～2倍速で受講をしています。またその他にも「今週は賃貸借を極める！」と決めたときは賃貸借の分野のみをひたすら耳勉強であらゆるタイミングで聞くようにし、その分野を複数回繰り返し聞くことで知識と理解の定着を行うようにしました。これにより、出題可能性の高い分野や苦手分野を徹底的に潰していくことができたと思っています。

また、総合講義のテキストには逐一表でまとめているポイントがありますので、そのポイントの中でも自分の覚えたい箇所だけをいくつかコピーして、直前期には持ち歩いて覚えられるようにしていました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

・初回の使い方

総合講義のインプットを一定範囲で区切り、その一区切りが終了したら知識確認を兼ねて該当箇所の担当過去問解説講座を解く、といういわゆるジグザグ学習を徹底しました。そして初回でわからない点や難しかった点は極力無視してそのまま進むようにしました。

・2回目以降の使い方

総合講義2周目の際も同じようにジグザグ学習をするようにしました。しかし2回目では、自分がその問題に対して「完全に理解して解けた→○」「自信がない解き方だけど合っていた→△」「間違っていた→×」を特に意識してチェックするようにしました。また、△や×の問題において、分かっていない肢については細い付箋を肢毎に貼るようにして、自分の課題となる問題を可視化するようにしました。

・3回目以降の使い方

復習をした分野ごとに解き直すという使い方だけでなく、「今日1日で民法の10年分の問題を解き直す!」「今日と明日の2日で行政法の10年分の問題を解き直す!」などのような課題を課して、一気に演習するということも行いました。これにより、広い分野を常にメンテナンスしていかないといけない行政書士試験において、触れない分野をなくす効果もあったと思っています。もちろん弱点箇所の炙り出しにも役立ちました。

・担当の林先生について

実は最初の段階では「淡々と進めていく先生だな」という印象が強かったのですが、授業を受けていくと「行政書士試験をとっても深く分析していて、確かな研究と知識に裏打ちされた講義をされる先生だ!」と心の底から思うようになりました。林先生の丁寧な解説

と、重要な問題とそうでない問題の整理などが本当に役立ったと思っています。ありがとうございました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述過去問解説講座は、7月ごろに初めて受講しました。そのころは基本的なインプットは終わっているつもりだったのですが、記述過去問対策講座を受けることで、自分のインプットがまだまだだと思い知らされました。

講座の活用方法は、7月スタートで約3週間かけて問題の演習→解説の受講→総合講義の該当箇所の復習 というサイクルで行いました。

この記述過去問解説講座を受けることで、基本的な記述問題の答案構成の方法は学ぶことができ、そのうえでどのような観点でインプットを改めてしていかなければいけないかを感覚的に知ることができたと思います。

林先生も授業の中でおっしゃっていたのですが、あくまでも記述の過去問は解答を覚えたりするものではなく、答案構成のトレーニング、記述の問題の問われ方を知るものとして捉え、参考資料として活用するのが学習の肝だと思います。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

2024年1月から2月ごろに活用しました。

これまでは六法を引きながらテキストを読む・講義を受けることがメインだったのですが、この講座をきっかけに「条文を読みながらテキストを確認する」という逆転学習を自ら取り入れるようになりました。

この講座を受けることで、改めて法律学習において「条文」が最も中心にあり、その上に解釈論や判例があるのだということを再認識するようになったのです。

はじめはこれまでの認識や学習方法への慣れがあることで、逐条ローラインプット講座への苦手意識があったのですが、学習を進めるにつれて大切に気付かされ、後半はあれよあれよというスピードで学習を進めていったのを今でも覚えています。この講座の経験をもとに、逐条学習を積極的に自らの中に取り入れたのは、本当に良かったです。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

もともと文章理解は得意分野だったので、一回通して講義を受けながら演習するというのを夏頃に行いました。この講義を受けながら演習をすることで「文章理解は得意だ」という意識が確信に繋がったので、この講座と模試などを除いて特別な学習は行いませんでした。文章理解が苦手な方にとっては、このテキストが届いた段階から早めに着手して、苦手意識を早々に払拭するのがおすすめです。その後は市販模試・予備校模試などを活用して演習量を確保すれば、十分な対策になると思います。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

民法の過去問10年分を2～3周ほど演習したうえで、夏頃から活用し始めました。特に、過去問10年分では取り上げられていない分野や直近の改正分野などを中心に取り上げてい

るため、民法の演習を補完としてはとても良かったです。

講座の解説は豊村先生が担当しており、問題演習→解説を聞く→総合講義のテキストで見直す この流れをすることで不明点が残ることはありませんでした。

しかしながら、総合講義のテキストの中でも細かい部分や、改正箇所細かい箇所を聞いてくる問題まで含まれていたのも、「こんなこと知らなかった!」というものも結構ありました。そのため、他資格択一80についても、自宅に届き次第早めに着手して、復習のできる期間を十分確保するのをおすすめします。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は10月の直前期に活用しました。アガルートの模試以外には、他社の模試パック（計7回）と、市販模試（3回分）を使用しています。9月の直前期までには、他社の7回分を終えており、その時期まではその模試の復習と定常的な学習をするので精一杯でした。10月の中頃に満を持して取り組んで最終調整用に活用しました。受験を終えた今感じるのは、全体的なバランスとして本試験並みに調整されている模試だと思いました。

また、豊村先生による全問解説はとても丁寧で、直前期に間違えた箇所、迷った箇所の復習にぴったりでした。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生は「合格後は私のことを忘れてください」とおっしゃるのですが、この1年間家族や友人と比べても、誰よりも豊村先生の声を講座を通して聞いてきました。この合格の後押しを一番してくださったのは豊村先生なので、そんな悲しいことは言わないでください！ 豊村先生のことを心に留めながら、新しい未来に向かって引き続き頑張っていきます！

令和6年 行政書士試験合格

「耳勉」「TOKERUKUN」活用で仕事と両立

三浦 大輔さん

50代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

将来的に独立をして在留外国人を対象とした事業の開業をしたいと考えております。そのために現在必要な資格の取得やスキルの習得を進めています。そのひとつとして、行政書士資格が必要でしたので取得を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

仕事をしながら学習を進めるため、決まった時間にスクールへ通うのは難しいと考え、初めから自分の都合に合わせて学習を進めることのできるWeb講座の受講を検討していました。いくつかの講座を比較する中で、行政書士試験講座の評価をまとめたサイトがあり、そこでアガルートの講座が高評価だったことに加え、以前アガルートの別の資格試験講座を受講して合格できた実績もあったため、受講することを決めました。

合格体験記・学習上の工夫

2023年12月から学習を開始し、学習の順番は民法→行政法→憲法→商法→一般知識で行いました。民法は講義視聴→過去問演習を交互に行うジグザグ方式で進めましたが、行政法は難易度が高く、理解が追いつかなかったため、いったん講義視聴に集中しインプットに専念する方法へ変更しました。憲法と商法では再びジグザグ方式に戻し、学習済みの科目も復習日程を組んで繰り返し学ぶことで記憶の定着に努めました。民法～商法の1周目が終了したのは5月末で、一般知識の学習は6月から開始しました。

仕事と両立するため、移動時間を活用した耳勉を多用しました。通勤までの時間と帰宅までの時間はイヤホンで講義の音声データやYouTubeの行政法の法令音読動画、アガルートの憲法判例暗記アプリ“耳勉”を活用し、インプットに努めました。昼休みには講義の聴取や過去問“TOKERUKUN”を利用し、効率的な学習を心掛けました。また、YouTubeの判例解説動画を活用し判例の理解を深めました。自宅では過去問演習を中心にアウトプットを行い、繰り返し学習することで記憶の定着を図りました。分からない点が出てきた際は、教科書や六法（紙とe-Gov）、インターネットを活用し、すぐに調べて理解することを徹底しました。

模試は8月からアガルートの模試を含め計5回受験し、弱点を洗い出し、その箇所の再学習を行うことで弱点克服に努めました。特に記述式が苦手で、そのために模試では毎回合格ラインぎりぎりの状態でしたので、記述対策の書籍を別途購入し、毎日学習しました。

本試験当日は、それまで健康管理に努めて1年間一切病気知らずであったにもかかわらず風邪をひいてしまい、万全の状態ではありませんでした（当日夜はベッドの中で解答速報を聞くはめになりました）。しかし、豊村先生の「しがみついて」という言葉を胸に試験を乗り切り、結果として記述の得点は低かったものの、択一のみで合格ラインに到達することができました。

アガルートの教材を使い、1年間しっかり学習すれば確実に合格できると感じました。そのためには、

- ・限られた時間を有効に使う工夫をすること
- ・繰り返し学習し、記憶の定着を図ること
- ・分からないことを放置せず、すぐに調べて理解することが大切です。

総合講義のご感想・ご利用方法

講義は何度も繰り返し視聴・聴取しました。初回は自宅のテレビでテキストを見ながら視聴し、その後は主に外出中に音声データを1.5倍速で繰り返し聴きました。Web講座の利点は、何度も視聴・聴取できる点にあるかと思います。理解が不十分な部分については読み返し、再視聴をすることで理解度を深めることができました。豊村先生の講義は初学者にも分かりやすく、ユーモアを交えたメリハリのある内容でしたので、法律の知識のない私でも、楽しく集中して学習することができました。また、各講義の長さも長すぎず、短すぎずちょうどよいと感じました。

テキストは法令の各科目、一般知識まで揃っており、適度に図解や表があり、カラー表示もバランスが良く、非常に読みやすかったです。他社の講座は未受講ですので比較することはできませんが、本試験で出た内容でテキストに記載されていない内容はなく、必要な知識は全て網羅されていたのと感じました。また、初めに講義の受け方のガイダンスがあり、ラインの引き方の説明があったので、それに従いラインを引いたり、加筆したことで、テキスト中のポイント部分が明確になり、2週目以降の学習がスムーズになりました。

した。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問講座については、詳細な解説動画があったおかげで、各問題のポイントを理解しやすかったです。また、問題の重要度がランク分けされており、出題の可能性が低いCランクの問題についても、「このような問題もあるが、復習は不要」といった解説があったので、本番でも戸惑うことはありませんでした。

紙のテキストでの学習に加えて、“TOKERUKUN”でも学習することができましたので、これを活用することで、外出中の時間を無駄にせず学習できました。このおかげで電車内や外出先で何かを待っている時間などの隙間時間を使って問題を解き、解説を読み、それでも分からない点は解説動画を視聴することで、効率的に学習を進めることができました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述式問題は最後まで苦手でした。問われていることや解答の方向性は理解できても、使わなければならない言葉や、条文上の正確な記載をすることができず苦戦しました。記述過去問解説講座では、答案を作成する際の考え方や記載すべき内容、方法、文字数の調整方法などステップを追って丁寧に解説していただきました。あくまで過去問ですので、本試験で同じ内容が出ることはありませんので、別途市販の記述の予想問題集を購入して、ここで学習した内容を踏まえて対策を行いました。ただ、記述式の講座を始めたのが8月と遅かったため、十分な対策ができなかったことが今回の試験での唯一の後悔です（結果として択一のみで合格点に到達はできたのですが、本試験当日まで記述試験への不安は拭えませんでした）。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

条文講座は性質上単調になりがちなものと思いますが、実際に受講してみると全くそんなことはありませんでした。テキストは当然ですが条文が並んでいるだけなのですが、田島先生の講義では必要な箇所については別途レジュメを準備して図解で解説いただきました。また、条文中で関連する箇所では条文を戻ったり、進んだりして一文一文を丁寧に説明してくださったので、大変分かりやすく学習を進めることができました。総合講義で学習した内容を条文で確認することで、理解を深めることができました。また、講義の内容そのものも良かったのですが、たまに入る自身のご経験などを踏まえた雑談は、熱い思いが伝わってくる回もあり、試験に向けてのモチベーション維持につながりました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解対策講座は一連の講座の中で最後に学習を始めた講座でした。始めたのは8月に入ってからだったと思います。幸い文章読解については、もともと得意だったということもあり、模試でも安定した得点を取れていました。ただ、これまでは何となく正解が分かるというだけであったものが、この講座を受講し、解法テクニックを学んだことで、より自信を持って本試験にのぞむことができました。おかげさまで本試験では3問全問正解

することができました。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

民法の短答過去問集は量が少ないので、この講座があったのは助かりました。問題を解いてみて、他資格の民法問題は行政書士試験の民法問題より難しいと感じました。そもそも私にとって民法は最も苦手な科目でした。模試でもなかなか民法の点数が取れませんでしたので、試験直前では民法学習に多くの時間を割きました。この過去問と解説講義は基本的には自宅での学習で使いました。最終盤に学習を始めたため2～3周程度しか回せませんでした。『他資格択一80』の講座を通じて多くの民法の問題に触れることができたことと、豊村先生の丁寧な解説講義のおかげで、弱点部分を補い、理解度を高めることができたことで本試験での民法の得点アップにつなげることができたと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試は理解度を測るためのツールとして、8月から他スクールの模試を4回受験し、弱点を特定して復習を行っていました。アガルートの模試は本試験前の最終確認に使用していましたので、10月末に受けました。結果、合格ラインに達する得点を取れたことは本試験での自信につながりました。間違えた問題は他の模試の際と同様に最終仕上げの復習として活用しました。難易度的には他スクールの模試と同程度だったかなと思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生、田島先生、林先生1年間大変お世話になりました。講座の内容も素晴らしいものでしたが、先生方それぞれ異なったテイストではありますが、熱い思いで試験に向けての講義を行っていただいたおかげで、初学者の私でも合格を勝ち取ることができました。今はただただ感謝の言葉しかありません。ありがとうございました！

令和6年 行政書士試験合格

模試で足切り……記述と条文対策の大切さに気がついた

田部 智史さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在IT業界で働いており、それなりに充実はしているのですが定年退職後の仕事を考慮し、今から士業の資格を取ろうと考えました。

行政書士として独立している同じ年の友人や会社の先輩がいたことと、大学で法学を専攻していたこともあり働きながらも取れる資格だと判断したため受験を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

資格講座のおすすめサイト等を複数検索してアガルートともう1社のトライアル講座を受けました。

比較した結果、アガルートの方がボリュームが多く学習しがいがあるということと何より豊村講師の講義がとても面白く感じたのでアガルートで学習しようと決めました。

合格体験記・学習上の工夫

2023年11月から講座選定をはじめ、実際に学習を開始したのは11月末くらいからでした。

まずは全ての教科を2周ずつ満遍なく実行することを目標に取り組み、平日は通勤時間の往復（2時間）+自宅で1-2時間の学習、週末は5時間程度を目標に行いました。1周目をまわす→過去問集を解く（読む）→2周目をまわす→過去問集を解くを1クールとしてやってみました为正解率は50%程度でした。

試験合格が6割だったためインプットとアウトプットをこなせばよいかとこれを3

クール（6周）繰り返して学習しました。6周目が終わったところで過去問の正解率は70-75%で「まあこれなら受かるかなあ」と少し余裕を持っていたのですが大間違いでした。記述対策と条文対策を全くやっておらず、過去問での正解率でしたので、実際そのことに気がついたのは9月初旬でした（行政書士試験は過去問そのまま出ない……）。初めて外部模試を受けて見事に足切りを受け記述と条文対策の大切さに気がつき、そこから再度エンジンをかけ直しました。

幸いアガルートには田島講師の逐条ローラーインプット講座もあったため大急ぎで4周まわし、何とか初見の問題にも食らいついていく位の基礎力がつきましたが、記述がどうしても難しかったです。焦りながらも11月直前期は会社も休暇を取って最後までインプットとアウトプットを繰り返して試験に臨みました。

総合講義のご感想・ご利用方法

私は大学で4年間法学を学んでいたので所謂法律独特の言い回しや判例等はすんなり読めた方だとは思いますが、豊村講師の講義は初めて法学に触れる方でもすんなりと入れる内容だったと思います。私も20年間法律というものには触れていませんでしたし、ほぼ初心者であると考えたと学ぶことに関しては楽しく学べたというのが率直な感想です。

行政書士試験の肝である民法、行政法は内容也非常に濃く実務をするにあたってもアガルートのテキストはよくまとまっているので活用したいなと思っています。学生の頃はテキスト+判例六法を使っていたのですが、アガルートのテキストは2つのうち試験に必要な判例をピックアップした上で講師による解説があったため非常に分かりやすく学習できました。

憲法、商法、基礎法学もそこまでボリュームはなかったですが試験で出る範囲はきちんとカバーできていたため択一試験をすんなりこなせるレベルにはなれたと思います。特に憲法・商法についてはきっちりテキストをやっていれば範囲漏れがないという所で結果論ですがこの講座を受けていてよかったなと思います。

基礎法学は元々好きではない範囲だったので捨てていたのですが、それでも合格に必要な最低ランクの正解数は取れたのでよかったと感じています。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問テキストについてはスキマ時間に問題を解いて頭に入れるのに丁度よいサイズ感でしたので出張時でも必ず持ち歩いていました。結果、こちらのテキストが一番ボロボロになったかもしれません。

過去問についてはまずテキストを読み、解説を読んでそこで納得できたら講座の解説は飛ばして学習していたのですが、腹落ちしない問題や何度も間違える問題に関しては講座をじっくり見て問題の本筋を整理するために利用しました。

民法、行政法についてはかなりの問題数があったので市販の問題集を解く必要もないなと思いました。実際1冊だけ他社のものを解いてみましたが、アガルートのものだけで十分という結論に至ったのでこちらのテキスト中心の学習をしていました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述対策については最後までうまくできなかったのですが、こちらのテキストを何度も解いて最低限のような観点で記述試験に臨めばよいのかを理解することができました。

問題集と答えのみですと「ここはこういう観点で記述及び表現をしないと得点にならない」という部分が見えてこないのですが、アガルートのテキストはこの部分をとても丁寧に記述してあったためある程度の解き方の道筋のようなものを学習することができました。

問いから引き出す条文及び判例、記述解答において記載しておかなければならないキーワード（得点になるキーワード）を整理して部分点を狙いに行ける可能性を得ることができました。講座の解説もこのあたりをしっかりと説明してくださっていたのでよかったですと感じました。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

最後の追い込みで一番効果があったのがこの逐条ローラインプット講座だったと感じています。重要条文を再度解説付きで学習することで条文の整理もつきましたし、総合講座で学習した内容の上塗りや整理をすることができました。文毎にポイントを整理しなおすことで試験時の判断スピードがあがったように感じました。講師の田島講師も豊村講師とは一味違う解説や、所々にある面白話も親しみがあり楽しみながら学習できました。

一応六法は購入して条文にラインを入れたりしたのですが、試験直前期にはこの逐条ローラインプット講座の条文学習にシフトしてポイントだけを詰め込むようにしました。特に行政法の準用部分や行政手続法、行政訴訟法、行政不服審査法の3つの違いについてこのテキストと講座でうまく整理できたと思います。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解については得意不得意が分かれる分野でもあり、私の場合はなんとなくその辺りのツボは分かっていたのであまりこの講座を重点的に学習はしませんでした。試験対策のために利用させて頂きました。

改めて文章を読み、解答を早く出すためのテクニックが詰め込まれているような講座でしたので得意でない方でもこのテクニックを学べば時間をかけずに解答にたどり着けるのではないかと感じました。行政書士試験は問題文が長い問題もあり、そこで神経を削られることもあるので事前に学習しておいて損はないと思います。

『他資格択一 80』解説講座のご感想・ご利用方法

私の場合は基本がきちんとカバーできていなかったため正直なところ、他資格試験まで手を広げる余裕がありませんでしたが、現状の知識でどこまで他資格、特に司法書士試験や司法試験等の問題が解けるのかを推し量るという意味で本講座は有用であったと思います。

学習後半に「本当にこれで受かるのか」というメンタル状況になった際に本講座を受けたのですが、上位試験の問題が解けた時には素直に嬉しかったですし、今までの学習で他

資格の試験も解けるようになっていたので自信になりました。当然上位資格の場合はより深い突っ込み所や難しいひっかけもありましたので難しいと感じましたが、一度目を通しておくことで行政書士試験の難易度はそこまで高くないんだ、と思い込ませることができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模擬試験を受ける前に他社の模擬試験を受験しました。結果自分がまだまだだと感じたのでアガルートの試験は直前にまわして最後の仕上げという形で受験しました。本試験1週間前に行いましたが私が受験した他社の試験よりも難易度が高かったので追い込みのモチベーションになったと感じています（正直心も折れかけましたが……）。

最後に模試を受け、焦り、足掻くことができたので模試は受けておいてよかったなと感じています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

1年間、ある程度スパンを決めて自分がサボることも前提にスケジュールを組みましたが、やはり1年というのは長く1人では合格は難しかったと思います。豊村講師、田島講師の講座がわかりやすく楽しみながら学習できたこと、家族の協力があつての合格だったと感じています。

また「合格したら全額返金」の制度も私としては非常にモチベーションとなりました。「落ちたら返金」制度もありますが前向きに資格取得と向き合うためにもこの制度は私には合っていたのではないかと感じています。

有難うございました!!

令和6年 行政書士試験合格

講師のアドバイス通りの方法で学習

小川 千尋さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 入門総合カリキュラム / フル / 豊村クラス

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：1 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

子育てがひと段落し、もう少し自分のために法律の勉強を深めたいと思い調べていく中で、行政書士試験を知りました。現職で特許事務をしています、法律を調べながらお客様のために書類を作っていくところが現職に似ているのでキャリアアップとして良さそうと思い、勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

ネットで予備校を検索した際に、豊村先生の評判が良いことを知りました。YouTubeなどで先生が話されているところを拝見し、豊村先生の授業なら続けられそうだと思います。また、合格特典がついていたので合格したら返金してもらえるのはお得だと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

平日は早朝と夜、休日も起きる時間は変えずに、早朝、昼間、夜に勉強しました。

基本的には豊村先生がアドバイスされた通りに、講義を聞く→テキストの復習→過去問のジグザグ方式で勉強していました。ロケットスタートだったので、年内に1周することとGWまでに2周することを目標としており、そのスケジュールにそって勉強を進められたと思います。

わからないところはテキストを読み返したり講義を聞き直したりしましたが、それでもよくわからない場合は判例をネットで検索して他の予備校や個人の方のHPやYouTubeも参考にしました。豊村先生がおっしゃるようにより深入りしすぎないように気をつけ

ました。

それから、暗記については、直前に慌てるよりは少しずつ早めに始めようと思い、単語カードに覚えたい内容を記入して電車の中でみたり、家の中では、壁に付箋やメモ帳を貼って常に目に入るようにしました。早く始めても結局は何度も忘れてしまうので、最終的にはやはり直前の詰め込みが必要でしたが、時間をかけてじっくり身につけていくという意味ではよかったと思います。夏頃からは散歩をしているときも講義の音声を聞きながら耳勉強もして空いている時間は常に勉強するようにしました。

総合講義のご感想・ご利用方法

仕事で特許法に少し触れたことがあるとはいえ、行政書士試験の試験科目の内容は初めて勉強するものでしたので、豊村先生が「難しそうに見えるけど簡単だよ」「わかるから大丈夫だよ」と励ましながらか講義をしてくださったのは心強かったです。冗談や寸劇も楽しく、笑いながら視聴していました。豊村先生のアドバイス通り、年内に1周し、GWまでに2周しました。1周目では、ある程度ブロックごとに講義を一通り聞く→自分でテキストを読む→過去問を解く→全然分からないので解けないまま過去問講座を聞くという流れでした。多少わからないことがあっても先にすすんでいいという先生のアドバイスにしたがって、ざっと進めることを心がけました。どこが大事なのかも全然わからなかったもので、先生が、「記述マーク」「ここは暗記」とおっしゃった箇所と、一覧表が掲載されているページには色別に付箋をはりながら視聴していきました。聞く順番としては、民法→行政法→憲法→商法会社法の順番で、終わったものから2周目に入っていました。

2周目では、講義を1からすべて聞くということはずせず、テキストを読みながら、1回目の視聴で自分で付箋をつけた箇所を復習、過去問を解いてみてわからないところは講義をもう一度聞くという流れをとりました。

短答過去問解説講座のご感想・ご利用方法

最初はまったく過去問が解けなかったので、過去問に答えを記入してテキストのように使用していきました。総合講義を聞く→過去問を解く→解説講座を聞くという流れで、林先生の講座の内容を過去問に記入していきました。内容はもちろんですが、「これは後回しでいい」等のアドバイスで、問題に対する力の入れ具合を教えていただきました。だんだん問題に慣れてきたところで、アガルートの問題集には答えを書き忘れてしまっていたので、新しい過去問の問題集を購入し、そちらをメインで問題を解いてみて、わからなければ再度講義を視聴するというふうに活用していました。過去問の答えだけおぼえて満足しないように注意して、理屈や根拠を自分で説明できるように心がけました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述対策は5月頃からスタートしました。最初何から手をつけたらいいのかわからない状態でした。それから、ちょっと難しそうで怖いなという気持ちがありました。最初のガイダンスで、林先生が「みんな同じなんだから、これから学べばいい」とおっしゃって

て、少し安心したのを覚えています。勉強の流れとしては、記述の過去問をまずは自分で解こうとする→さっぱりわからないので答えをみる→テキストを読み直す→記述過去問解説講座を視聴するという流れでした。講義の中では、順序立てて説明していただけるのでとてもわかりやすかったです。答えを導き出すまでの思考の流れをどう持っていったらいいかという点を教えていただけたので、模試や本番でも生かせたと思います。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

逐条ローラーインプット講座の勉強は4月末頃からスタートしました。量が多くて大変でしたが、頑張った甲斐があって、条文がとても身近に感じられるようになりました。

他の六法も使用していたのですが、講義を視聴した後は、こちらのテキストを六法代わりにしてマーカーを引いたりメモを書いたりしていました（地方自治法の記載されていない部分だけ他の六法で確認していました）。

田島先生のレジメは大変わかりやすく、暗記に使えると思ったレジメは壁に貼って覚えるようにしました。また、ゴロ合わせも楽しみながら暗記に利用させていただきました。講義を聞き終えたあとはテキストをつかって条文のシャドーイングを行いました。時間を確保してこの講座を活用できたのは大変よかったと思います。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

足切りを突破するためには、3問正解が絶対ということで、講義を聞きつつ最初の問題を解いてみたのですが、すぐ分かるという感じではなかったので、私はちゃんと文章理解の勉強をしようと決めました。講義、テキストを勉強したあとに、過去問と公務員試験の問題を解きました。

相反する文章を異なる色で印をつけながら読み解いていくスタイルは大変わかりやすく、模試や本番でもマーカーを持参して同じように色をつけながら読み解くようにしました。

『他資格択一80』解説講座のご感想・ご利用方法

民法は過去問だけではたりないということだったので、他資格択一80の問題集も過去問と同じように付箋をつけながら何度も解きました。6月頃から勉強を開始しましたが、問題集に記載されている解説が充実していたのであまり講義自体は聞かなくても納得できることが多かったです。六法やテキストに立ち返りながら勉強し、解説を読んでもどうしても分からない時に講義を視聴するようにしました。私は豊村先生の教えに従って進めたので、他の資格の問題集に手を伸ばしたくなることはなかったのですが、この『他資格択一80』の問題もかなり難しい充実していると思うので、この問題集を徹底的にやれば、他の問題集を購入する必要はないかなと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルトの模試は記述の部分点を書いてくれているのがわかりやすくよかったです。自宅で時間を測って解きました。

アガルトの模試の他に他社の7回バックを受けました。行政法がずっと目標点が取れ

ず苦戦しました。9月末の模試に向けて勉強する際には、他の科目は今回の模試で点数が伸びなくてもいいから、この2週間で、行政法を徹底的にやろうときめて集中的に勉強したところ、満点をとれたので自信につながりました。また、8月末の模試では、時間が足りずパニックになったので、残りの模試の中で時間配分をどうしていくかいろいろ試すようにしました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生、林先生、田島先生、わかりやすく質の高い授業を本当にありがとうございました。

最初はたくさんのテキストをみて、こんなに勉強できるんだろうか……と思いましたが、1年3か月の間、飽きることなく、前進することができました。先生方の授業、楽しかったです。ありがとうございました。

中上級総合カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 行政書士試験

令和6年 行政書士試験合格

優秀なゼミの仲間と共に学ぶ環境は非常に有益

ナ ヒョンジョンさん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

私が初めて日本に留学した際、ビザの申請手続きの複雑さを実感し、日本と韓国の間では在留資格やビザ申請に関する法的相談が必要となる場面が多いことから、行政書士として両国の架け橋になりたいという思いが芽生えると同時に、言語の壁に悩む外国人をサポートし、安心して生活できる環境を整えることにも大きな魅力を感じたからです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

1年目は独学で122点、2年目は他社の通信講座を受講して168点と伸びたものの不合格となり、より効率的な学習法を模索していたところ、インプット・アウトプットの両面が充実したアガルートの中上級コースに出会いました。特に豊村先生のサンプル講義を拝聴した際、外国人の私でも理解しやすく、先生の熱意ある授業なら苦手科目も楽しく学べると感じ、試験範囲が広い中で効率的に学習を進めるには効果的な指導が必要だと考え、受講を決意しました。

合格体験記・学習上の工夫

本試験の翌日にはアガルートの講座を申し込み、すぐに学習を開始しました。

前年度、他の予備校の通信講座を受講した際、テキストに書き込みをせず、ただ講義を聞いてその単元の過去問を解く方法で1周。2周目からは問題集を中心に解くことに重点を置き、アウトプットばかりに集中しましたが、間違えた問題については解答を見て理解

するだけで終わり、テキストや六法に戻って確認することはありませんでした。そのため、理解が不完全なまま次に進んでしまい、知識が定着しなかったことが結果的に大きな失敗要因だと感じています。

今年は効率よく学習を進めるためには計画的なスケジュール管理が欠かせないと強く感じ、平日は通勤前に1～2時間、帰宅後に2時間程度、休日は9～10時間の勉強時間を確保。

学習の進め方としては、YouTubeの「ロケットスタート」のスケジュールを参考にし、5月までにジグザグ方式で2周を目標に立て、計画的に学習。

6月から8月は、アウトプット中心に進め、問題集や過去問を解きながら、わからない部分はその都度テキストや六法に戻る学習をしましたが、個人的には一番つらい時期でした。成績が思うように伸びず、問題集で間違った問題は何回解いても同じように間違えてしまい、自分の力が足りないのではないかと感じる事が多く、不安が募りました。毎回同じようなミスをしてしまう自分に焦りを感じ、「今年も落ちたらどうしよう」と自信をなくす瞬間もあり、この時期は進捗が感じられず、精神的に辛かったですが、その中でも焦らずにコツコツと学習を続けることが大切だと自分に言い聞かせました。

9月から試験直前は、テキストと問題集をバランスよく学習し、「覚えた部分は消し、未習得の部分だけを残す」という方法を取り入れました。テキストを何度も読み返ししながら、修正テープで覚えた部分を消し、残すべき部分だけに集中して学ぶ方法で、本当に重要な知識に絞って復習でき、最終的に効率的な学習ができたと感じています。

試験直前は、最後に残った箇所を自分の弱点と捉え、重点的に見直しました。

総合講義のご感想・ご利用方法

豊村先生の講義はとても分かりやすく、難しい法律用語や概念もシンプルに説明していただけたので、外国人の私でもスムーズに理解できました。講義を重ねるうちに、最初は難しいと感じていた法学の勉強がどんどん面白くなり、次々と新しいチャプターを聴きたくなるほど楽しく学べるようになり、勉強が「苦」から「楽」へと変わり、モチベーションもぐんと上がりました。

学習の進め方としては、「民法→行政法→憲法→会社法→基礎知識」の順に受講。特に「民法・行政法・憲法」は、集中して学べる時間帯に、机に向かって講義を聴き、何も気を散らすことなく、じっくりと内容を理解しようと心がけました。

一方、「会社法・基礎知識」は、通勤時間や家事をしているときに耳で学習。通勤中にはスマホで講義を流しながら、会社法の設立や株式の種類、基礎知識を暗記。限られた時間を有効に活用できる点が、忙しい日常生活の中で学習をうまく進める助けとなり、時間が限られているからこそ耳で学ぶことで、効率よく知識を深められると実感しました。

各科目に合わせて学習スタイルを使い分け、メリハリをつけることで、効率的に知識を定着させることができました。特に民法や行政法などの比重が高い科目は集中して学習し、会社法や基礎知識は隙間時間を有効活用することで、全体的にバランスよく学習を進める

ことができたと感じています。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

中上級コースには短答過去問集の解説講義は付いていませんでしたが、過去問の解説自体が条文・判例・解釈について非常に詳細で、理解を深めながら学習を進めることができました。

豊村先生が推奨していた通り、過去問集を「読み物」として活用し、「なぜこの答えになるのか？」を条文や判例と結びつけて考えることで、知識が定着。また、問題のキーワードに引っ掛けがあることを意識し、出題パターンを把握。

短答過去問集はコンパクトで持ち運びやすいため、電車内や仕事のスキマ時間に効率よく学習でき、無駄なく知識を積み重ねることができました。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

記述は私にとって最も苦手な科目で、最初は漢字すらうまく書けない状態だったため、早めに対策を始めることが重要だと感じました。そのため、5月から毎日30分ほど記述過去問集を使って学習を続けました。近年の記述式問題は過去問の焼き直しが多いため、記述過去問集は非常に実践的で役立ちました。中上級コースに解説講義があれば、もっと理解が深まったかもしれませんが、それでも手探りで進めながら少しずつ実力をつけていけたと感じています。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

「総まとめ択一1000肢」を使って学習していると、時々「他資格セレクト問題集」と似たような問題に出会うことができました。もし「他資格セレクト問題集」が含まれていないコースであれば、さらに効率よく応用力が身につくのではないかと思います。おそらく、「他資格セレクト問題集」から特に重要な問題が選ばれているのだらうと感じ、そのような問題に触れることで、学習効果が高まると考えました。

私は、隙間時間や寝前の時間を活用して、手軽に解ける問題を繰り返し解くようにしていて、通勤中や食事の合間にサッと問題を解いたり、寝る前に数問だけ集中して解くことで、眠る前に脳がリラックスし、記憶が整理されやすかったです。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

記述式は最初から40字で解答を書くことが難しかったため、3ステップに分けて段階的に「書く」練習を行いました。

1 STEP：まず、豊村先生が「AWESOMEコンサルティング」で強調されている「事案J」とテーマT」がずれていないかを確認するトレーニングをし、問題の趣旨を正しく捉えることを意識する。

2 STEP：問題を読んだ後、すぐに答案を書くのではなく、まずはキーワードだけを書き出し、要点を整理する練習を行う。

3 STEP：最後に、実際に40字で解答をまとめるトレーニングを行い、正確かつ簡潔に

記述できるようにする。

1 ステップ目の段階で事案とテーマのズレがあった場合は、すぐにテキストや六法に戻り、関連知識を復習。このプロセスを繰り返すことで、徐々に記述への苦手意識が少なくなり、自信を持てるようになったと思います。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

前年度の行政書士試験では、条文学習をほとんど行わず、問題演習の際も解説を読むだけで済ませてしまったため、条文知識の重要性を実感し、今年は逐条ローラーインプット講座を繰り返し利用しました。

この講座は講義時間が長いため、条文一つ一つを丁寧に解説していただけるので、単に暗記するのではなく、条文の意味をしっかりと理解しながら学習でき、結果的に条文と要点が結びつき、知識がより深く定着できたと思います。

特に、行政手続法と行政不服審査法の条文についてはよく混同していたのですが、逐条ローラーインプット講座を受けることで、それぞれの違いを理解できるようになり、条文学習への苦手意識が薄れ、条文の理解が深まったと感じています。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

本試験や模試では、文章理解の問題でいつも1～2問しか正解できず、どう対策すればいいのか悩んでいたため、毎日2問ずつ文章理解の問題を解くことを習慣にすることに決めました。文章理解対策講座では、「接続詞や指示語の見極め方」などを学び、文章全体を読まなくても問題を解くコツがつかめ、正解を選ぶためのポイントや選択肢の分析方法を具体的に教えてもらったおかげで、外国人の私でも答えの根拠を見つけられるようになり、試験本番では3問正解できたと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試は、諸法令の予想問題を集めながら、自分に合った解き順や時間配分を調整したいと思い、5月から市販模試を2週間に1回取り入れました。具体的には、予備校の模試を14回、市販模試を9回、合計23回受験。

アガルートの模試を8月に受けた際には、合格点には届いたものの、一般知識で足切りされて落ち込んだこともありました。

また、前年度他予備校模試で出題された記述問題が本試験にそのまま出題された経験があったため、直前期には23回分の模試の記述問題を徹底的に復習。しかし、今年の本試験では一問も中せず、ショックを受けました。この経験を通じて、記述対策はヤマを張るのではなく、豊村先生が常々おっしゃっているように、日頃から事案とテーマの理解を深めることがいかに重要かを改めて実感しました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

ゼミを受ける前は、「先生の質問にきちんと答えられるか」「自分の日本語が聞きづらかったらどうしよう」「授業に迷惑をかけたらどうしよう」と不安でいっぱいでした。しかし、今年必ず合格するという強い気持ちでゼミの受講を決意。初回のゼミでは緊張して頭が真っ白になりましたが、豊村先生はとても優しく、理解が深まるように丁寧に指導くださいました。

また、文章理解や多肢選択の問題を解く際に、先生や他の受講生の解き方と自分の解き方を比較することで、新たなアプローチを学ぶきっかけになり、非常に勉強になりました。こうした比較を通じて、自分に合った解き方を見つけるヒントを得ることができ、それが実際の試験でも大いに役立ちました。

一方で、ゼミのグループLINEで他のゼミ生が「今日は欠席します」と書き込むのを見るたびに、正直「私も休もうかな……」という気持ちがよぎることがあり、特に予習が十分にできていない日は、その誘惑が一層強かったです。しかし、実際にゼミに参加してみると、先生の質問に答えられるかどうか以上に、「自分がどこを理解できていないのか」を明確にすることが何よりも大切だと気づきました。質問に答えられなかったときは悔しさを感じましたが、それがむしろ自分の弱点を把握し、克服するための貴重な機会になったのです。そして、毎回のゼミが終わるたびに「やっぱり参加してよかった」と実感していました。

優秀なゼミの仲間と共に学ぶ環境は非常に有益で、互いに刺激し合いながらモチベーションを高めることができました。もしゼミを受けていなければ、ここまで成長できなかったかもしれません。豊村先生とゼミの仲間のおかげで合格を実現できたことに、心から感謝しています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

行政書士試験を受けると決めた当初、日本語で法律を学ぶことに大きな不安を感じ、「無謀なのではないか」と思っていました。豊村先生の熱意あふれる講義のおかげで、最後まで諦めることなく学習を続けることができ、心から感謝しています。ゼミで先生からいただいた励ましの言葉やモチベーションを高めるアドバイスは、学習意欲を維持する大きな支えとなりました。

合格インタビューで豊村先生に直接お会いすることを夢にして、それが日々の学習のモチベーションとなっていました。今年はZOOMでのインタビュー形式となり、少し残念に感じています。

豊村クラスとゼミを選んだことは間違いなく最高の選択でした。本当にありがとうございました！

令和6年 行政書士試験合格

合格のために最適な学習・生活習慣を整える

新開 冬悟さん

30代 無職

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：9か月

行政書士試験の受験回数：2回目

行政書士試験を目指した理由・契機

【理由】社労士を目指していて、自身に受験資格が無かったため、社労士の受験資格に該当する資格の中で最も親和性があり取得したいと思ったのが行政書士だったためです。

【契機】続けていた仕事が体力的に難しくなったため。事務職への転職を思い立ち、その一環として資格取得を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

1年目は他社の講座を受講していましたが、勉強期間3か月。1000時間で不合格。点数は158点。次を最後の挑戦だと自分に言い聞かせて後悔のないように自分に合う最高の環境で挑もうと考えました。

悩みに悩んだ結果、合格実績、教材のボリューム等を他校とも比較してアガルートを選びました。

合格体験記・学習上の工夫

・学習の質を高めるためにやったこと

スマートフォンを触らない。睡眠はレム睡眠の周期に合わせて6時間もしくは7時間半を確保。勉強前にカフェインを摂取。ポモドーロ学習法で20分集中10分休憩で散漫にならないように勉強を進めました（主に問題演習時）

・学習の量を増やすために行ったこと

合計勉強時間2000時間

8月以降は1日14時間

朝2時に起きて午前中に6割、午後に4割消化するスケジュール。

集中力が切れてきたらサブ科目に切りかえて気持ちをリセット、勉強の疲れをサブ科目の学習に切り替えることで癒す。ある程度リラックスできたらメインにまた戻す。

食事は1日2回。調理時間短縮のために冷凍弁当を活用。血糖値が上がりすぎて眠気を引き起こさないために食後にスクワット。

食事中はAWESOMEコンサルティングや講義動画や行政書士関係のYouTube動画を視聴。寝る時や移動中は耳勉強で政経社やIT用語を聞き流す。翌日入浴時にタブレットで該当の映像を視聴することで記憶の定着化をはかりました。8月以降はゲーム機、テレビのリモコンを友人に預かってもらい、なるべく試験勉強以外の情報をシャットアウト。自分を勉強サイボーグに。

・記述対策

豊村先生がよく言われている事案とテーマの【テーマ】を把握するため記述問題集のページの表題に書いてある【テーマ】を全て付箋で隠し、事案を読んでテーマを当てる練習。次のステップではそのテーマについての知識を条文やテキストで再度学習。要件効果、キーワードが書けるように繰り返していく。

豊村先生が講義で丸記述マークをつけた箇所を元に自分で考えてオリジナルの事案を作成。暗記アプリというものを使いオープンチャットのアガルート生にネット上で共有。

・メンタル、モチベーション維持

- ・メンタル（我慢強さ）

慣れるまでキツくても長時間勉強するトレーニングをする。最終的には8月以降毎日14時間勉強できるまでになりました。

- ・メンタル（ポジティブ思考）

プライベートや模試で結果が思わしくなかった等勉強効率が下がる要因が起こった時、逆にそれを推進力に変えて勉強を加速させていく。受験期間全体をマクロで捉えて一つ一つをポジティブに捉えることで結果、大きな差が生まれると思いました。

- ・LINEのオープンチャットでアガルート生のためのグループを利用し、情報の共有やお互いを高めあえる仲間と一丸となって勉強を継続することができました。

総合講義のご感想・ご利用方法

とてもボリュームがあり網羅的で助かりました。1年目は他校で学習していましたが、かなりの分量をスキップして重要論点のみしか学習しなかったのも、基礎を固めるために一から全ての動画を視聴しました。

講義自体も1チャプターが大体10分から20分。長くても30分程度なので集中して視聴す

ことができました。ですがテキストへの書き込みがかなり多くて1周目はとても時間がかかりました。今思うと理解している部分は書き込み必要無かったなと反省しています。

判例についてかなりのボリュームがテキストに記載されていて、一つ一つ判旨の流れやポイント、規範や当てはめなどとても分かりやすく、時にはエンターテイメント的に講義をしてくれたおかげでとても記憶に残りやすかったですし楽しかったです。

豊村先生の崩しすぎず丁度いいあんばいで法律を噛み砕いて教えてくれるやり方は本当に助かりました。あまり噛み砕かれすぎると本試験で少し固く出題された時に困ったりすることが以前あったためです。

2周目以降は2倍速で分からない箇所を何度も何度も聞く度に新しい発見がありどの科目でも豊村先生の分かりやすい講義がとても為になりました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

過去問題集は行政法以外は1周程度しかしませんでした。行政法に関しては6周はしたと思います。メインで使ったアウトプット教材は他資格試験セレクト問題集です。ボリュームが凄くて最初の1周を終わらせるのにとっても苦勞しましたが、解説講義が分かりやすかったのが大変良かったです。民法の他資格試験セレクト問題集に関しては都度条文をチェックして2周目以降はその周辺や、例えば先取特権なら先取特権全て（出ないと思ったところは除く）条文チェックしていったので最初は膨大な時間がかかりましたが、最後には条文知識が身についたことで択一のみならず記述の得点が爆伸びしたのでかなり力になりました。一方会社法に関しては他資格と行政書士試験の難易度が違いすぎてあまり有用ではないと感じたので会社法に関してはテキストベースで勉強を進めました。

他資格試験セレクト問題集は10周はやったと思います。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

民法は例年過去問から1問出題されるので5周は回したと思います。

行政法は3周程度やりました。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

これは過去問と他資格試験セレクト問題集のあしがばらばらに、なって記載されている教材ですね。一応民法と行政法に関しては2周程度やったのですが、他資格試験セレクト問題集の肢をひとつひとつ検討していく勉強方法だったので、個人的にそちらで事足りると考えた結果そこまで活用しませんでした。ただ念のため民法、行政法だけやりました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

とても良かったです。山あてとしては使用しませんでした（そもそも山を張ることがあまり良くないと考えていたので）各問題の事案を読んでテーマの把握する、練習にかなり使えましたし、解説講義ではプラスアルファで同テーマの中で更に深い知識のインプットをさせてくれました。

テーマが把握できるようになってきたら、その該当箇所のテキストや条文に戻って周辺

知識をインプットし、キーワードを覚えていって、自分の中で積み上げてきた知識を使って45文字の中で解答を組み立てるという思考訓練をしました。3周くらい回したと思います。豊村先生が講義の中でおっしゃっていた記述の問題を演習する時にも、択一と同様、テキストに戻ってインプットを繰り返していくという作業が記述でも択一でも得点アップに繋がっていき、どうやって取り組めば良いか分からなかった記述の勉強方法をやっと理解することができました。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

この逐条ローラインプット講座はまさに目から鱗でした。テキストを読むのと同じ感覚で、条文読んでいくという。何を書いているのかが分からない条文でも田島先生が分かりやすく噛み砕いて教えてくれる。条文学習の重要性を本当の意味で実感できる神講座だと思いました。地方自治法などは、過去問などの度に条文をひくことがあまり効果的では無いという感覚だったので。範囲が広すぎる中から田島先生がここは試験に出るだろうという箇所を抜粋して、その中でもランク付けしてくれたのがプロに任せられる安心感がありました。正直言って行政法と民法についてはこの逐条ローラーのテキストを六法代わりにする方が効率が良いまでであると感じています。工夫点としては準用マークを分かりやすくするためにダイソーでカラーの丸シールを買ってきてそれを貼りシールに文字を書くことで視覚化しやすくしていました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解に関してはスタートする時点で個人差のある科目だと感じていて、文章理解が苦手な人には本当に初歩の初歩から王道の方法でどうやって解いていくかをかなり詳しく教えてくれる講義だと思いました。特にグルーピングや反復、対比などの文章を読み込むテクニックというのは少し難しかったですが、これを学んでから模試で少し難しい問題が出ても解けるようになりました。この講座をしっかりと最後まで理解すれば予備試験レベルの問題でも解けるのではと思います。ただ、現状本試験では簡単な問題しか出てきていないので多少オーバースペックな講座かなとは思いますが、自分はやってよかったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は前年に他社の講座を受講していた時にも受けているんですが、本当に難しくて前年は110点くらいしか取れませんでした。自分は他社で9回模擬試験を受けましたが、正直アガルトの模擬試験が一番難しいと感じました。令和6年度は到着後即取り掛かり200点を記録しましたが、残念ながら基礎知識で1問足りず足切りでした。文章理解が特に難しい印象です。全問不正解でした。ですが本試験より難しい模試がありません中アガルトの難易度の高い模試は存在意義があると思います。とても良かったです。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

豊村ゼミは通信で利用させてもらったんですが、復習にとっても役立ちました。それと講義を視聴している時はとても臨場感があり、通信ながらドキドキハラハラしながら声を出して答弁していました。直前のまとめとしてもすごく利用しやすく2倍速で直前にも視聴しました。正直こんなに良いなら定員になる前に申し込んでおけばよかったと後悔しています。ゼミで良かったのはゼミ生だけしか貰えないレジュメですね。特に憲法の直近の違憲判例や最新の判例などはゼミでしか学べませんでしたし、Googleの記事削除事件は実際に本試験にも出たのでゼミを取っておいて本当に良かったなと思います。あと受講生と豊村先生とのかけあいに自分も参加しているような気分になれて学生時代を少し思い出せて楽しく勉強させてもらいました。

令和6年 行政書士試験合格

アガルートの講座であやふやな部分を隙間埋め

鈴木 新一さん

50代 会社役員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

医師の開業のコンサルティング会社を経営しており、社労士事務所も開設しています。ダブルライセンスによりさらにビジネスの幅を広げると考えたのと、自身のブランディング強化として取得を目指しました。宅建取得時に民法をかじったのもアドバンテージと考えました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

一年目は他予備校の講座とYouTubeでの講義とテキストを購入して勉強し、2年目は再購入としましたが、得点が伸びませんでした。次はどうしようと考えていたのですが、YouTubeで豊村先生の動画も併せて観ており、テンポの良い講義内容とわかりやすい解説が印象的で、3年目はアガルートにかけてみようと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

合格体験記は、中上級カリキュラムを受講した合格者の声を参考にしましたが、数的にはあまり読まなかったです。その時間があれば勉強時間として費やしたいと思っていました。また、YouTubeでの合格者インタビューは毎回欠かさず視聴して、自分が合格した時のイメージを重ねてモチベーションアップを試みました。これは大いにエネルギーをもたらしたと思います。

学習上の工夫としては、朝起きたら必ず机の前に座り問題を解くことを必須とし、月間

カレンダーに講義の項目と解いた問題数を毎日記入することで習慣化、車移動、シャワー時にも講義をながら聴くことにしていました。電車での移動の際には、スマホアプリで過去問を解くことをしていました。

勉強のスタイルとしては、講義→肢別過去問→他資格問題の流れとして問題になるべく多く触れることを試みました。一年目二年目と六法は購入していませんでしたが、やはり条文読みも大事だと思い、当初はポケット六法を購入しましたが、旅行の時に持ち出しビーチで素読した程度。行政六法は問題を解き違和感があった際には必ず立ち返り読み、マーカーで色分け、特にただし書きの部分はオレンジでポイント付けしながら読みあさっていました。

総合講義のご感想・ご利用方法

講義の内容的にはとてもわかりやすい内容でした。去年、一昨日で多少なりとも知識は入ってはいましたが、うろ覚えな部分が多く初学者のつもりで全講義を三周回しました。12月にテキストが届きましたが一周目は1.2倍速で3月には一周目は終わり、2周目は1.5倍速で6月には終わってハイペースだったと思います。3周目は8月9月に最終回として全講義の視聴、以後は問題を解いて？と思った際に部分的に視聴する感じです。特に1周目は連続ドラマを観るような感覚で、夜中まで尽きることなくユニットをこなしていたと思います。ある意味、楽しく勉強ができました。

政治経済はAランクのみ、情報通信についてはひととおり講義を視聴、以降はジムでのトレーニング中など耳学的な感じです。講義での指示通りにマーカーを引くのとはリンクは欠かさずで、記述で出そうなところは付箋を貼り、それ以外はあまり書き込みはしなかったと思います。

テキストは常に机の脇に備えることで、別な科目でアレ？と思ったときはいつでも読み返しする態勢にしていました。

また、横断的に覚えることや苦手な部分などは別にノートに書き写したり、テキストの必要部分をコピーしてノートに貼るなどしていました。試験直前はこのノートを読み返し、試験会場はこのノートと記述対策用ノートだけ持ち込みました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

アガルトの短答過去問集は使わなかったです。他社の肢別問題集と過去問集をやることで代替としました。肢別過去問は毎年新しいものを購入。昨年間違えていた肢は付箋がそのままだったので、転記することでうろ覚え部分を可視化。講義を聴いたあとにまずは肢別を解き他資格問題と取り組みました。肢別だけで4～5周はまわしたと思いますし、過去2年分を合わせると10周近くまわした感があります。過去問集については2周です。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

記述の過去問は、ペラペラペラッと軽く見た程度でまったくやらなかったです。過去に出題したものは再出題されない傾向があると聞いていたので必要ないかなと思いました。

ただ、過去にどの項目が出たのかは他で一覧表的なものが公開されていたので参考にはしていました。過去問を振り返るより予想問題を解くことで記述の解き方を習得することを最優先と考えることにしました。可処分時間が限られる中、結果良かったと思っています。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

とにかく、ボリュームにはビックリしました。こんなに分厚いの終わるのかと（笑）他資格問題ということもあったのと、同じような問題も散見していたので、これだけだと不安な感じもあったので肢別過去問集も併行して取り入れました。講義を聴いて肢別をやり知識の上積み、他資格問題を解くことでさらに上積みし学習知を保ち記憶の向上に繋がったと思います。透明見出しの付箋を色別で使いわけました。一周目はまったくわからない問い、覚えておくべき問い、勘違いしていた問いなど区別して肢ごとに色別に貼りました。さらに2周目は同じ問題を間違えた箇所を違う色で貼る、できた肢は付箋は外さず3周目にやっと外すことにし、最終的に苦手箇所が見える化しました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

アガルートの総まとめ記述80問攻略講座は9月頃に取りかかったと思います。まずは自分なりにノートに問いを書いてみることにし、解説講義を聴きました。何のことを言っているのかを想起しますが何も思い浮かばないこともありました。なにより少なくともキーワードだけは書けるように心がけました。過去2回試験は記述対策はほとんどしてなかったのですが、今回は9月には記述対策と事前に考えていました。解いた解答は、記述対策ノートに転記しキーワードに下線することで何度も見返してキーワードから連想する言い回しをあわせて覚えるよう心掛けていました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

逐条ローラーインプット講座ですが、総合講義と問題集のジグザクを一周したあとに取り組みましたが、結局全講義を学習することはできなかったと思います。後半期はややふやな箇所、確認した箇所に絞って何度も聞いたこともありました。逐条ローラーインプット講義では総合講義でちぐはぐだった条文の流れを理解することができ、全体的な構造が見えてきたとも思います。正直、逐条ローラーインプット講座は消化不良だったので大丈夫？かとも不安でしたが、ポケット六法の素読と都度の行政六法に立ち返る勉強法をしていたこともあり、ややふやな部分を隙間埋めすることができたのだと感じます。ちなみに速度は2倍速です。六法自体、なかなかとっつきにくいので講座としてあることでこなさないと、という半強制的な感覚があり助かったと思います。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解については3問は必ず取るという心持ちでいました。公務員試験の問題集も購入し1日1問のペースで解いていきましたが、国語力が乏しいのか思うように正解にたどり着けず不安でした。解説講義はほとんど視聴しませんでした。解き方のテクニックについては大変役に立ったと思います。また正解したらそのまま、間違えた問題については

解答説明をサッと見るだけにとどめ、とにかく問題の数をこなすことで問題自体に慣れることに徹しました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、市販のものを3回分×3冊、他資格学校も含め15回分をこなしました。7月頃から一週間に一回のペースでおこなったと思います。180点前後で推移できていたので、模擬試験をペースメーカーとして苦手な部分の底上げに注力し総体的な点数アップを目標としていました。直前期には再度問題を見直すことで記憶の定着と積み上げができたと思っています。やり方としては市販の模擬試験については、時間については気にすることなくカフェでリラックスしながら取り組み、提出する模擬試験については図書館で本試験と同じ時間帯で本番同様に取り組んでいました。

模擬試験を通じて、解く順番のシミュレーションも試みました。ちなみに、まず記述問題をさらっと解いてみる。ついで一般常識、行政法、民法、多肢選択、憲法、記述とする順番を重ねることで、試験当日もシミュレーション通り安定した気持ちで余裕を持って挑むことができたと思います。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

ゼミについてですが、受講自体はオンラインでしたので初めのころは机に向かって視聴していました。一回の講義が長いと感じはじめて取りかかるモチベーションが落ちてきたことを覚えています。ですので、テキストをそばに置いておかなくても聞いただけとして、シャワーを浴びている時に速度をあげて聴いていた感じです。聞いている中で、あれ？と思ったことは再度テキストに戻ったり、講師からゼミ生の方々への質問に対して自分が覚えているかどうかの確認をすることで自分の記憶の再確認をしました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

本当にありがとうございました。豊村先生を信じて、アガルート教材を信じて、そして自分を信じることで結果だったと思います。

社労士、宅建、FP 2級、貸経士と取得している故に、自分なりの勉強法はわかっているつもりでしたが、行政書士試験なかなか手こずりました。アガルートがなければ、また来年もだったかもしれません。これで試験勉強は完結。資格を活かし事業に励んでいきたいと思っています。

本当にありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

「法律の勉強はペンキ塗り」繰り返し学習も楽しく

菅野 浩さん

50代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：5 回目以上

行政書士試験を目指した理由・契機

コロナ禍になる2か月前に自分のスキルアップのために、ある研修機関が運営する相続・終活セミナー講師養成講座に参加しました。

その講座で知り合った方から相続と行政書士の関連性についてお話を聞き、一緒に行政書士を目指して勉強しないかと誘われました。自分としては安易に資格試験の勉強には手を出したくはなかったので、すぐに知人の誘いには乗れませんでした。しかし、直後コロナ禍となり、先行きの不透明さを感じ、今の仕事をずっと続けてやっていけるのか不安も感じたため、行政書士資格取得を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

4回目の試験結果は178点（択一146点、記述32点）で、合格まですぐ手の届くところまで来ました。今度こそラストチャレンジと決めて、各資格指導校の講座内容を調べました。そして目に留まったのが、アガルートの合格実績とYouTubeで目にする豊村先生と田島先生の講義、逐条ローラーインプット講義、記述対策の問題集、文章理解対策講座、そしてジャンプと呼ばれているオリジナル他資格試験セレクト問題集等といった手厚いサポート体制でした。最後にアガルートで決めるんだと藁にも縋る思いで講座を申し込みました。

合格体験記・学習上の工夫

私は5回目の行政書士試験で合格しました。1回目は112点（記述採点なし）でした。

1年目は市販のテキスト、問題集を使用した独学でした。2回目に受験にあたり、他校の入門講座を利用しました。学習形式としては肢別過去問を中心に回すやり方でした。講義はテキストの全てをするのではなく、A、Bランクのポイントのみでした。出題頻度の少ないところの講義はなく、「ここはやらなくて良いので、×にしてください」とのことだったので、私は、講師がやらなくて良いと言った箇所は、勉強しませんでした。今でも忘れませんが、2日目の行政書士試験の民法の択一問題の第1問で、講師がやらなくて良いと言った論点をテーマとしたものが出題されました。試験結果は134点（記述6点）で不合格でした。その後、私は資格指導校の講座に対して不信感を抱くようになり、3回目、4回目と市販のテキスト、過去問集、模擬試験を中心に回転するやり方でした。結果は3回目は170点、4回目は178点で不合格でした。4回目の試験が終わり、自己採点の結果を知り、自分はこの行政書士試験には絶対に受からない人間なんだと思い、5回目の受験に対して直ぐには気持ちを固めることができずにいましたが、アガルートの体験講義を受講して、豊村先生の講義の中で「法律の勉強はペンキ塗り、何度も何度も上塗りを重ね、完成させていくようなものです。」の言葉を耳にして、物凄く感動して、5回目はアガルートに賭けようと決め、学習を開始しました。講義は論点毎に細かく区切られており、講義時間は短く、以前受講した講座のように、「ここはやらなくて良い」などと言ったことはなく、全論点をカバーする構成となっています。自分の不得意なところ、理解が浅いところ等は選んで何度も聞きました。また、学習のすすめ方は、インプット・アウトプットを繰り返すジグザグ学習でした。条文、判例を基本とするスタイルであり、特に田島先生の逐条ローラインプット講義を受講した結果、条文知識の理解を深めることができました。法律の勉強はペンキ塗りのようなもので、上塗りを重ねて完成させるんだと思い、繰り返し学習を楽しく進めることができました。

総合講義のご感想・ご利用方法

先でも述べましたが、4回目の試験が終わり自己採点の結果、不合格を確信しましたので、本試験後の2週間後にアガルートに中上級講座の申込をしました。教材が届いたときは、この教材は何でこんなに分厚いのだと思いますが、最終的にはすごく自分にはあったと思います。1週間の学習計画を立て、講義を聞き、問題を解き、インプット、アウトプットを何度も繰り返しました。苦手な箇所が浮き上がるので、その箇所を徹底的に潰すことを目標に何度も繰り返しました。最終的には5周はしました。基礎知識はこの講座のおかげで10問正解することができました。仕事が営業職のため、自動車での移動時間中にも講義を、スマートフォンをBluetoothでカーオーディオに繋ぎ何度も聞きました。昼休みには間違えた問題を解く等して、ボリュームのある講座をやりきることができました。また豊村先生が講義でテキストを復習しやすくするための、とんがりかっこやマーカーでの色分けなど使い方を教えてください、見やすいテキストになりました。こうしたことが勉強することの楽しみとなったのだと思います。中上級講座はボリューム満点の内容だと思います。アガルートを選んで本当に良かったと思います。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

講義の中で豊村先生が、過去問集を読み物とおっしゃられていたので、過去問集は解くのではなく読みました。肢のひとつひとつを、特に×肢のどこが間違えているのか、言葉で説明できるようになることを目標として取り組みました。特に行政法と民法は記述対策として意識しながら読むことを繰り返しました。商法はこれまで対策が手薄だったために、本試験では2問以上正解することを目標に、過去問集を利用しました。また、短答過去問集はサイズがコンパクトで持運びしやすいため、主に昼休み等のスキマ時間に利用しました。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

1度しか回しませんでしたでしたが、とても役に立ちました。記述過去問集も演習するものではなく、読み物として利用しました。出題される問題は基本的な問題が多いことがわかりました。過去10年間でどのようなテーマが出題されていたのかをチェックするためのツールとしても活用しました。本試験の記述問題でも繰り返し出題されるテーマがありますので、過去問で1度出題されたからと言って、もう出されないことはないのです、過去問学習をおろそかにはできません。

総まとめり択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

このテキストは、コンパクトサイズの大きさに持運びが便利なものでしたので、スキマ時間の学習ツールとして利用しました。講義は聞きませんでした。知識の最終確認として利用しました。利用開始したのは本試験直前期の9月です。行政書士試験過去問と他資格試験の過去問の肢別過去問題集でしたので、単に○×だけでなく、特に×肢が何故×なのか言葉で説明することを意識しながら2周しました。各科目をざっと読むことで復習になったのだと思います。アガルートでは教材としてこの総まとめり1000肢攻略講座、短答過去問集、そして豊村先生がジャンプと呼んでいるオリジナルな他資格試験セレクト問題集もあり、本当に充分すぎるほどのボリューム感で、費用対効果もかなりのものだと思います。

総まとめり記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

この講座もコンパクトサイズの大きさに持運びが便利なものでしたので、スキマ時間の学習ツールとして利用しました。仕事しながらの受験勉強でしたので時間を捻出する意味で、この講座は自動車での移動時間にカーオーディオに動画と音声ミラーリングして利用しました。問題にして言葉で答えられるようにすることを意識しながら取り組みました。座学の場合には条文チェックは欠かしませんでした。アガルートの学習では条文学習に基本を置いていることが他校とは違うところだと思います。アガルートの約1年間の学習期間で条文を読むことの重要性に物凄く気づきました。結果的に市販模試、公開模試等受験して模範解答のとおり完璧に書くことはできませんでしたが、部分点を確保できるようになり常に30点は取れるようになりました。そして本試験では32点を取ることができました。

まさに「最短ルートのアガルート」であると思いました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

この講座はアガルートならではの講座であると思いました。田島先生が担当されており、講義もわかりやすく、また受験生を思いやる激励には涙しました。正直言って、この逐条ローラーインプット講座に出会うまで民法1条から1050条まで読むなどということはありませんでした。特に合格後のことを考えて、債券法、家族法については重点的に取り組みました。また、この講座に出会うまでは、地方自治法の条文素読をすることはありませんでした。逐条ローラーインプット講義では地方自治法の逐条講義がありましたので、理解をより一層深めることができましたと思います。行政書士は「町の法律家」と呼ばれますが、法律家として条文を読むことの重要性、条文で確認することの重要性に気づかされました。アガルートの講座は、単に試験合格のためのものだけでなく、実務直結な講座であると思いました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解問題は全問正解することを目指しました。全問正解できるかが合否をわけると言っても過言ではないと思います。講座では大学入試講座も担当される田島先生のわかりやすい講義で文章理解のテクニックを習得することができました。付属のテキストは1周しました。講義は1回聞きました。文章理解は日々の練習が必要だと思いましたので、テキスト以外に公務員試験過去問集を使用して1日1題をやりきりました。力を付けることができたと思います。本試験では3問正解することができました。ありがとうございました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模試は10月末に最後の模試として利用しました。それまでは7月から他校の模試10回と市販模試を利用しました。模試は本試験を意識して本試験と同じ時間帯で日曜日の13時から取り組みました。記述除きで180点越えることを意識して取り組みました。模試の間違えた問題はテキスト、条文に戻り復習しました。利用した模試の記述除き平均点は160点を越えることができました。最後に利用したアガルートの模試の難易度は本試験レベルに感じましたが、記述含めて180点を越えていましたので、自信を持って本試験に臨むことができました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

私は豊村ゼミ（通信クラス）を受講しました。学習のペースメーカーとなりました。総合講義とジャンプでゼミの予習をして、ゼミを視聴する。ゼミでは重要なところを深掘りしていただいたので理解を深めることができました。そしてゼミでの豊村先生の質問に答

えられるようになることを意識して数回視聴しました。模試の前のインプット復習ツールとして視聴しました。また、直前期の再復習のために再視聴することで知識を確認するうえでも役に立ちました。ゼミでは行政法と民法の総合講義テキストを使用しましたが、ゼミの最後にはいつも多肢選択の過去問と文章理解問題のトレーニングをして頂きました。文章理解問題は公務員試験の過去問を解くことでしたが、かなりの訓練となりました。補講での憲法の判例講義は理解を深めるうえで非常に役に立ちました。最後の模試が終わったあと、本試験直前最終確認として豊村ゼミ動画を再視聴しました。

令和6年 行政書士試験合格

受講相談で見た自分の弱み 相談して よかった

井藤 稜大さん

20代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：9か月

行政書士試験の受験回数：5回目以上

行政書士試験を目指した理由・契機

私は土地家屋調査士事務所に就職し、補助者として働き始めました。元々は高校の教員を目指していたのですが、自分の頑張りが報酬に直結する個人事業主の方がやりがいがあると考えました。いつかは独立すると目標を掲げ、土地家屋調査士の先生からおすすめされた行政書士を目指すことになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は6回目の受験でようやく合格することができました。独学や他の予備校も経験しましたが、モチベーションを保てなかったり、参考書だけでは知識が足りないと感じていました。そこで今年こそは本気で合格するぞ、と意気込みいくつかの予備校を比較し、とくにサンプル動画が聞きやすくやる気にさせてくれたのがアガルートでした。

合格体験記・学習上の工夫

私は受験前の時点で5年も勉強して基本はできていると思っていましたが、受講前に相談したところ、「基本が疎かになっているかもしれない」と言われ、上級ではなく、おすすめされた中・上級にしました。実際勉強を始めると知らないことがあり、とくに間違っていたりしたこと気づくことができました。自分で勝手に決めず相談してよかったです。

勉強する際にとくに気をつけていたことは2つだけです。一つ目は、六法を必ず見るこ

とです。独学や他の通信講座では六法を購入することはなく、気になった条文のみを調べたりする程度でした。しかし、今回からは六法を購入し、六法を見ることで他の人によってわかりやすく解説されていない原文を見て、自分で考えて読むことができました。また、前後の条文を見る機会も増え、結果、知識の定着がしっかりした気がします。法律をしっかり学んだことがなく、六法を読むことは不安でしたが、講義の中やYouTubeでの解説があり、全く心配はありませんでした。

2つ目は、テキストに間違えた問題のページ等を書き込むことです。間違えた問題のページ等を記入することでパッと見ただけで苦手な部分を知ることができました。とくに直前期に模試の間違えた問題と照らし合わせたときに、自分の本当の苦手な部分を知ることができ、今までの受験の中で一番充実した、迷いのない直前期を過ごせました。

テキストは基本的に1周しただけですが、他資格試験セレクト問題集で間違えた問題を繰り返し解き、多いものでは3回解き直しました。その際、理解が疎かになっていたり、再度確認したい部分についてのみテキストは2周しました。

総合講義のご感想・ご利用方法

私は、他の通信講座を受講していたため、いくつか比較してお話しします。

まず、講義時間の長さです。他の通信講座では見やすいように30分単位で見ることができていました。確かに少ない時間で勉強するにはよかったかもしれませんが、30分に収めるあまり、重要なことのみで知識の定着につながる具体例等がなかった気がします。それに対してアガルートでは、重要な部分については30分以上かけたり、具体例を使い講義されており、しっかりと勉強することができました。講義時間が長いことについては、結局わからないことは時間をかけて勉強しないと自分の知識にはならないため、必要な努力だったと思います。

もう一つは他資格試験セレクト問題集です。他の通信講座だと過去問やオリジナル問題が多く、正直見たことがあるから解ける状態になってしまいがちでした。しかし、他資格試験セレクト問題集は初見のものが多く、また、実際試験に出された内容ということで取り組む意欲が全く違いました。同じ分野でも資格試験によって聞かれ方が異なるのも行政書士の重箱の隅をつつくような聞かれ方の練習にもなったような気がします。

最後に講師の声です。人の好みにもよるとは思いますが、豊村先生の声はとても聞きやすく、不快感がありませんでした。他の通信講座だと、ぼそぼそと話していたり、逆にハキハキ話しすぎて不快だったり、そもそも話し方や声が私には合わない人が何人かいました。サンプル動画であらかじめ聞くことができたのは安心材料の一つでした。約1年もの長い間声を聞くことになるので、重要なことだと思います。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

市販されている過去問集は年度ごとのものが多く、模試の感覚で時間把握等のためには有効ですが、アウトプット教材として使うには不便でした。その点短答過去問集では分野ごとにまとめてあり、アウトプット教材として使いやすかったです。また、使っていく中

で頻繁に問われている分野も自ずと知ることができました。また、本になっているため、間違えた問題のページ番号等をテキストにメモしやすくなっており、テキストへの情報の集約化に一役買っていたと思います。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

記述過去問集も短答過去問集と同様で分野ごとになっているため、アウトプット教材として使いやすかったです。他の通信講座の過去問集と異なるのは、解説が丁寧なことでした。解答へのステップがしっかりと書かれており、苦手な記述もこのステップを踏むことで聞かれていること、それに対しての解答の仕方を知ることができました。過去の試験の際には全く関係のないことを書いていたことがあり、部分点も期待できない状況でした。今回記述で救われたと思うので、この勉強が生きた気がします。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

総まとめ択一1000肢攻略講座をメインで勉強することはありませんでしたが、私がよく使ったのはやる気が起きなかったときです。見開きで問題、解答を一気に見ることができ、アウトプットしながらインプットするという学習ができていました。やる気は出ないけど、勉強する習慣を無くしたくないときは重宝していました。

また、何気なく読んでいくなかで、短い解説では理解できない部分や自分が思っていたこととは違う解説がでてきて、ノートや六法を開いて確認したくなり、気づいたら勉強が始まっているという感じでした。勉強する際、どうしてもやる気が出ない時があり、どうやる気を出させるかが問題でしたが、使い方が合っているかはわかりませんが、初期の勉強にはとても役に立ちました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

総まとめ記述は総まとめ択一とは異なり、直前期によく使いました。この時期になるとだいたいの記述問題は見たことがある状態になってしまい、問題を読み込むことが疎かになったり、新鮮な記述問題に飢えていた時期でした。記述のみで80問も解くことができ、不安を払拭させるには十分な量でした。一周した後は、自分の知識が言葉として説明できるかという練習に使いました。択一だとなんとなくわかっただけで解けてしまうことが多く、言い回しや使う言葉は何回も使わないと自分のものにならない気がして、解答をほぼ記憶するほど10周近くはしました。本自体も薄く小さかったため、仕事に持って行き、空いた時間に確認することにも使うことができました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

学習上の工夫でもお話ししたように、私は六法に重点をおいて学習していました。その中でも逐条ローラーインプットは、民法と行政法に絞ってあるため、行政書士試験にとってのポケット六法の立ち位置でした。

講義の中で重要な条文にS、A～Cで区分してもらい、たくさん条文がある民法でも自分の中である程度の優先順位を作ることができ、効率よく条文を読むことができました。

テキストで条文を読むアプローチと逐条ローラーで条文を読むアプローチの多方向からのアプローチで知識の定着を図ることができました。

この講義は総合講義と合わせると膨大な時間がかかってしまうので、私は心配な行政訴訟法と民法の物権、債権に限って取り組みました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

今までの私にとって文章理解は一切勉強せずに、年度によって取れたり、取れなかったりするものというものでした。講座を受けることで、確実に取らなければならない問題に意識が変わりました。今まで対策をとってこなかったのが、文章理解の考え方、解き方を説明してもらい、私にとって画期的でした。

また、勉強を進めることで内容合致や要旨把握といった区分が存在していることを知ることができました。それにより、私自身とくに苦手なのが空欄補充であることに気づくことができました。一度読み、解答、解説を読んで文全体の枠組みや構成を知り、再度読む。この流れを繰り返すうちに文章の読み方を覚え、今年の試験では文章理解全問正解することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルトの模擬試験は試験1か月前の最終確認として使いました。他の通信講座とは異なり、指定日に模擬試験を受けなくてもいい点がよかったです。なので自分の勉強の進捗状況と仕事等との都合を合わせた日曜に本試験と同様の過ごし方で取り組めたのはいい準備になりました。また、解説講義もしっかりとボリュームがあり、他資格試験セレクト問題集と同様な本の構成となっており、学習しやすく、テキストへの情報の集約化もしやすかったです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

私が講座を受けたなかで一番衝撃を受けたのは、豊村先生が他の学校が出している模擬試験を受ければいいという発言です。普通は自社のものだけで十分と言うはずですし、過去にそう言われ信じて講座を受けていたときもありました。しかし、他の学校の模擬試験を受けることによって、メリットが2つありました。1つは、定期的に行われている点です。ほぼ2週間に1回ペースで模擬試験があり、常に目標を持ちながら取り組むことができ、予習→試験→復習のサイクルが上手くできました。もう1つは自分の現在地を知り、他の人との比較ができた点です。試験勉強の前半は1人で取り組むことがメインで、モチベーションを保つことが難しいですが、模擬試験を受け、他の人と理解の程度を比較することでもっと勉強に取り組もうと意欲を出すことができました。豊村先生の真意はわかりませんが、先生の一言で模擬試験の活用方法が変わり、この先生についていこうと思えた瞬間でした。

豊村先生、アガルトの方々のおかげでようやく試験に合格することができました。ありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

勉強時間よりも理解を重視

信川 晶人さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：2 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在の仕事にすごく不満があるわけではないのですが、40歳を過ぎたあたりから「このまま会社員でいて自分の人生は満足なのか」と考えるようになり、会社員であることにだんだんと不安をおぼえてきました。

「一生できる仕事を、自分で興したい」と考えるようになり、現在の仕事でも法律に触れる機会があるため、「士業」に興味を持つようになりました。

今の自分が人のためにしたい、できることを考えた結果、行政書士の仕事を目指すことを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

一年目は独学で学び不合格でした。

「来年こそは絶対合格する！」と思い、そのためにはスクールで学び直す必要があると考え、通信のスクールを探しました。

アガルートアカデミーを知ったのは、アガルートアカデミーを受講し、行政書士試験に合格し、現在行政書士として起業し活躍している友人に勧められたのが最初です。お試し講義を受けて、豊村先生の講義がわかりやすく面白く、続けられそうだと感じたため、アガルートアカデミーの講座を受講することにしました。

1. メインの勉強時間の捻出

夫婦とも会社員として働き、二人の子育て真っ只中ですので、一番先に考えたのが、勉強時間の捻出です。もともと朝型の生活が向いているので、メインの勉強時間は早朝。平日は朝4時から6時の2時間を勉強時間としました。土曜は子どもの習い事の送り迎えや家事などがありますが、朝は家族がゆっくりしているため、朝4時から7時までの3時間、日曜はさらに長く朝4時から8時までの4時間を確保しました。土日の日中は、家事や子どもとの時間、体調管理のためのリフレッシュにも時間を割きますが、二日間で7時間勉強時間に充てると決め、一週間で最低24時間を捻出しました。

2. スキマ時間の活用

通勤時間も活用しました。片道30分程度（電車内は約15分）で、「どうしたら今朝学んだことを頭に残せるか」を考え、主に以下のことをしました。

- ①朝の勉強時間でインプットした内容を、スマートフォンにインストールした行政書士過去問アプリを使用しアウトプットする。
- ②メインテキスト以外の短答過去問集など、持ち運びしやすく、短い時間でも解けるもので、朝にインプットした内容に関するものをかばんに入れておき、①と併用する。
- ③豊村先生のYouTube動画を見る。
- ④田島先生の逐条ローラーインプット講座の音声をダウンロードしておき、聞きながら六法をチェックする。

3. 節目でリスケジュールリングする

試験終了までのおおまかなスケジュールとは別に、1科目の講義視聴＋セレクト問題集終了ごとにリスケジュールリングをして、おおまかなスケジュールに遅れないよう意識しました。「スキマ時間の勉強に何をつかうか」「より効率的な勉強法はないか」なども考え、実践していきました。

4. 勉強時間よりも理解を重視

これまで主に勉強時間の工夫について述べましたが、重視したのは「理解」です。比較的余裕のある8月頃までは勉強時間や回数よりも、「勉強したことを理解し、それをイメージできるか」を重視しました。

曜日ごとに勉強科目を分け、5月下旬までは、月火は民法、水木は行政法、金は憲法、土日は民法行政法、5月下旬以降は月火は民法、水木は行政法、金は憲法、土日はその他の科目を勉強すると決め、日曜は時間もとりやすいので、理解が進まなかった箇所を重点的に見直して、「弱点ノート」を作り、スキマ時間の教材の一つとして活用しました。

総合講義のご感想・ご利用方法

朝のメイン勉強時間に講義を視聴しました。まず、すべてのチャプターの長さの一覧表があるので、「いつまでにここまで視聴する」という予定がとても立てやすく、リスケジューリングにとっても役立ちました。

講義の内容はさすが豊村先生です。とても理解しやすく説明してくださり、具体的な事例もとても面白い（「ドラ息子」の話などなど）！そして、熱い気持ちが伝わってきて、とても楽しく視聴させていただきました！時間の都合上、1.5倍速で視聴しましたが、本当は通常の速度で聞きたかったです！

講義視聴のあとにすぐセレクト問題集を解いて、その解説も視聴する。理解できていない肢にはふせんをつけておく。これを民法、行政法、憲法のメイン科目でまずは一周させる（問題集がふせんの束のようになる）。その後、商法会社法、諸法令、基礎知識も週末に取り入れる。メイン科目2周目以降は、セレクト問題集→テキストで「アウトプット→インプット」のくり返し。理解できた肢のふせんを外していく（外したふせんが山のようになる）。

上記は豊村先生がおっしゃっていた勉強法そのままですが、「豊村先生の講義を受けると決めた以上、まずは言われたとおりの方法で勉強するのが一番だ」と考え、実践しました。

また、なかなか理解がすすまない部分は、音声スマートフォンにダウンロードしてスキマ時間に視聴し、何度も聞いて理解が定着するよう努めました。

時間を作る工夫はしましたが、完全にスケジュール通り進行できたわけではありませんでした。すべての講義を視聴する余裕がなかったため、商法、会社法、一般知識は頻出部分のみを選んで視聴するなど、「捨てるところは捨てる」必要もありました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問集は科目別に冊子になっており、持ち運びやすい大きさなので、カバンに常に入れていました。その日の朝にインプットした科目の冊子を持ち歩き、スキマ時間の復習用として使用しました。各問題にランクがついているためAランクの問題を中心に解きました。解くといっても「正解すること」が目的ではなく、「読んで理解していない箇所を探す」という感じで読み物のように使用しました。過去問アプリも使用していましたが、スマートフォンの画面を見ることに疲れたとき、ゆっくり問題に向き合いたいときに、短答過去問集はとても重宝しました。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

記述対策は「民法、行政法の問題集を解くとき、テーマと事例を意識する」、「8月から『総まとめ記述80問攻略講座』をメイン教材とする」の二本柱でいくと決めていたので、記述過去問集は数回読む程度に終わってしまいました。（本当はもっとしっかり取り組みたかったのですが……）

記述過去問集は記述問題の解き方について、問題の類型、解答するまでのステップがしっ

かり解説されているので、記述問題の解き方に迷ったときはとても役に立つと思います。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

直前期～超直前期（10月～試験前日）は常にカバンに入っていました。多少厚いですが、大きさが持ち歩きに丁度よく、スキマ時間に解きました。見開きで左に問題、右に解答というレイアウトなので、A 4 の紙を半分に折って解答を隠して使用しました（紙はしおり代わりにもあります）。

本番の試験で解答するスピードを意識して、書き込みもどんどん入れて、間違えた箇所は帰宅後テキストで再度確認するようにしました。

外出先でまとまった時間ができてしまったときがありましたが、1000肢のボリュームがあるので、試験勉強をしない時間を作らずに済みました。

過去問アプリもありましたが、実際の試験はペーパーなので、書き込みの仕方も含めて、一つ一つの肢を判断するスピードアップの訓練にとっても役立った教材です。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

8月から勉強に取り入れました。まずは解いてみる。これまで、問題集でもテーマ→事例を意識して取り組んできたので解けるかと思いきや、いざ文章をアウトプットしようとするとなかなか書けません。豊村先生の解説を視聴して「あー、なるほど」となり、一巡目は終了。

二巡目は一巡目よりも書けるようになってきているものの、解答例と比較するとまだまだといった感じ。問題文の解釈、書くべきことはわかっているのですが、正確な言葉が出てこない。

三巡目にしようやくきちんと書けるようになりましたが、解答例を覚えてしまっているということもあり、直前期には模試の記述問題も取り入れました。

月火は民法、水木は行政法を勉強すると決めていたので、記述もそれに合わせて一日2～3問に取り組みました。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

メインの勉強時間で民法の講義が一巡した段階からスキマ時間の勉強に取り入れました。講座の音声すべてダウンロードして、移動時間に聞いて、手持ちの六法に書き込みをしていきました。最初はテキストとレジュメを持ち歩いていたのですが、テキストのサイズが大きく持ち歩きに不向きなため、しばらくしてコンパクトサイズの六法とレジュメを持ち歩くようになりました。

逐条なだけあって、メインの講義では触れていない条文も解説してくださり、また、同じ条文でもメインの豊村先生の講義と、逐条の田島先生の講義では説明の仕方が違って、それもまた条文の理解が深まる助けとなり、とても有意義な講座だと思います。

田島先生の講義の雑談、とても好きです。

行政書士を目指す励みとなり、勉強を続けることができました。

ありがとうございます。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解は、独学の時からなぜか解けるので、あまり対策を意識して行うことはありませんでした。過去の試験の正答率の傾向からみても、合格者は全問正解される方が多いと聞きました。

ただ、その分、本番の試験では時間をかけてられないと考え、テキストの演習問題部分を「いかに早く正答を導き出すか」を考えてトレーニング教材として使用しました。例えば「文章よりも先に設問を読み、答えに直結する箇所を文章から見つけ出す」といったものです。

「じっくり読めば正答できる」では合格するには足りないという意識をもって、取り組むのが大切だと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試は8月から10月に月に一度のペースで受けました。

アガルートの模試を8月に受けましたが、試験会場の雰囲気になじめるよう、自宅ではなく、レンタルスペースで、本番と同じ時間で行いました。確実に合格するために「記述式以外で180点」をアガルートでの勉強開始から目標にしており、一応その目標はクリアしていましたが、解く順番、スピード、時間配分など見直す必要があるとわかりました。

その後は、他社の模試を月に一度受け、前回の模試から改善した時間配分や解く順番を試しました。また、「次の模試までに民法、行政法の問題集をもう一巡させる」など、普段の勉強のペースメーカーとして使用しました。

独学時は、模試の問題の解けなかった部分をきちんと復習していましたが、本番で同じ問題が出るわけではありません。不正解だった箇所はテキストに書き込んでおき、普段の勉強の時に意識するに留めておく程度にしました。独学時も含めると、合計6回模試を受けましたが、本番さながらに受講し、合格するための作戦を立て、実践し、改善していくことが一番効果的だと思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生の講義（そしてTシャツ）、とても楽しく視聴させていただきました。早朝からの勉強が続けられたのも先生のおかげです。

ありがとうございます。

田島先生の講義、映像を見る時間が取れなかったのが心残りですが、条文をひとつひとつ丁寧に解説してくださり、とても役立ちました。

ありがとうございます。

令和6年 行政書士試験合格

短い期間で必要な点数を取ることができました

真境名 陸さん

20代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：9か月

行政書士試験の受験回数：3回目

行政書士試験を目指した理由・契機

私の父が行政書士事務所を営んでおり、それを継ぎたいと思ったことが試験を目指すきっかけでした。また、父の事務所に勤める従業員の雇用を安定させること、顧客に継続して同じ以上の質のサービスを提供すること、そして何より、自分自身の収入を増やすことができるという構想があったことも、試験に挑む大きな原動力でした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

きっかけは、いろいろなスクールのなかで実績・講師の雰囲気・SNSでの評判などが一番良いと感じたからです。受講を決める前は、地元のスクールを回ったり、ネットで見つけたスクールに資料請求をしたりして、10社ほどを比較して検討していました。

合格体験記・学習上の工夫

私の行政書士試験の受験回数は3回目となりますが、初回はおためし受験、2回目は社会保険労務士の試験対策と並行しての学習で、行政書士試験対策のための期間は3か月ほどしかなかったのですが、実質の総勉強時間は、今期の9か月と合わせて12か月ほどだと思います。

実は令和6年3月中旬まで社会保険労務士の試験対策をしておりましたが、その時期に家族の事情がきっかけで行政書士試験の受験に切り替えることになりました。そこから約9か月の学習で合格できたのは、アガルートの講義があったからだと確信しています。

基本的な学習の方法は、豊村講師がおっしゃったようにアウトプット・インプットを繰り返すというものでした。学習のスタートが遅れている分、アガルートが提示するスケジュール通りには行きませんでした。重要な科目や箇所を教えてくれたので、それを繰り返して学習できたことが合格の大きなきっかけになったと感じています。

特に商法・会社法・基礎知識などのように学習範囲は広いけど効率的な学習が難しい分野も、テキスト上でランクの割り振りをしていたり、講義で「ここは重要」ということをおっしゃってくれたりしたので、短い期間で必要な点数を取ることができました。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義でインプットを行って他資格セレクト問題集でアウトプットを行うのが私のルーティーンでした。

テキストはA4で書き込みやすいサイズ・材質でした。他スクールではサイズが小さすぎて開きにくかったり、材質がツヤツヤしすぎて鉛筆書きがしにくかったりなど不便を感じることがありましたが、そのような教材に対する不便は全くありませんでした。

またテキストの構成も、法令とそれに関連する判例まで掲載されていたので、頭の中で整理しやすいものでした。復習のときも、判例をテキストで見返すついでに、その基となる法令を見返すことができるので、自然と法令・判例どちらも身に付けられる構成だと感じました。

講義は豊村講師の話し方をとっても気に入っておりました。思わず聞きこんでしまう話方に、まるで知識が映画のように頭に入ってくるのを感じました。法令は何もないところから無機質に出来上がるのではなく、当時の状況を打開すべく様々な工夫がなされて誕生したものなのだと興味をもって学習することができました。

また短い時間で細切れになっていたり、速度を調整できたりするのは、復習の際にピンポイントでかつ早く行うことができました。

問題集は、例えば行政法は195問掲載されている他資格セレクト問題集のすべてに対し解説講義があることに驚きました。もちろん民法や憲法、商法、基礎知識もすべて広い範囲で出題があり、ひとつひとつ丁寧に解説講義が用意されていました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問集は法令順に掲載されていたので、分野ごとの学習に非常に役立ちました。前回独学で学習していた際の過去問の解き方は、ただただ過去問の全範囲を1年ずつ解いていくことでした。それだと何回か前に解いた過去問を見返す際に、「あの問題はどこにあったっけ」と探すのに手間がかかりました。それに比べて、短答過去問解説講座で行う分野ごとの学習はより学習効率の向上につながったと考えています。

また、基本的な知識の定着は他資格セレクト問題集で行いましたが、そこにおいては行政書士試験の過去問はあまり登場しません。行政書士試験対策をしようとする、やはり行政書士試験でよく出題される形式にも慣れる必要があると思いますが、この短答過去問解説講座はまさにそれに対応したものでした。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

行政書士試験といえば記述式問題の出題がやはり点数やメンタルの大きな障壁になると思います。記述過去問解説講座ではその解き方を手取り足取り教えてくれました。

前回の試験では記述式において2点しか獲得できませんでした。その大きな原因となったのが、「テーマのずれ」でした。問題文が問おうとしていることに対して全くあさっての方向の内容を書いていた。

書くべきテーマを意識するようになったのは記述過去問解説講座がきっかけでした。まずは書くべきテーマを考えて、それからキーワードを紡いで解答を作成していくという風に、自分の解答のクセを修正することができました。また、下書きの方法や字数の調整の仕方なども学習でき、本番で安心して記述式に挑むことができました。

総まくり択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

問題集を解いていたら、毎回間違えてしまう選択肢に出会うことがときどきあります。それがそこまで難しくないはずの問題であった場合、毎回自信を失くしたり悔しくなったりします。

例えば私の場合は行政法の各法における義務／努力義務の区別がそのひとつの例でした。3周くらい問題集を回しているはずなのにまだ間違える……となったときに役立ったのが総まくり択一1000肢攻略講座でした。

私は、とにかくそのよく間違える選択肢をピックアップして、それだけを定期的に解くという方法で総まくり択一1000肢攻略講座を活用していました。問題集を3周すれば、上に書いたように何度も間違える問題はそもそも少なくなっていくので、スパンをあげた定期的な復習と、試験直前におさらいをする程度でも効果があると私は思いました。

総まくり記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

私が独学時代からずっと不安だったのがまさに記述式への対策でした。まず独学時代に2点しか取れなかったことへの恐怖が先行していたとは思いますが……ある程度過去問を解いたとしても、試験本番ではどのような問題が出るかという不安がとても大きかったことを覚えています。

総まくり記述80問攻略講座では、予想問題が各分野から数問が出題されるので、「これだけ解けば大丈夫でしょう」というメンタル的な対策ができたことが私にとってプラスにはたらいたと感じています。

また、豊村講師がおっしゃった「まずテーマを考えること」を意識する習慣をつけるようになったことも、本試験を受けるうえでとても重要なものになりました。記述式対策はこれまでの知識をおさらいすることができるので、ある程度後半になって活用すると復習に役立てられるかなと感じました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

法律には単語が難しく、構造が分かりづらい条文があります。また、単に覚える勉強法

だと無味乾燥でつまらなく、定着しにくいことが多いと過去の勉強で感じていました。

私の独学時代の学習法では、教科書や問題集ででてきた条文をその都度チェックしてまた教科書や問題集に戻る…逆に言えばチェックするだけであって意味を理解することまではしていませんでした。単語や構造がわからない箇所があってもそれを放置し、そのまま試験に臨んでいました。

逐条ローラーインプット講座では理解中心の学習をしていくため、単に六法を読み込む作業とは全く異なる作業をすることになります。法律が色味を帯び、当初堅いと感じていた文字の羅列が手に取るようにわかるという感覚でした。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

私はあまり他の法律関連の試験を知りませんが、いわゆる「国語」の問題が出るのは行政書士試験のひとつの特徴なのではないでしょうか。このような問題は、私の感覚からすると昔からずっと本を読み続けてきたり、文章に触れる機会が多かったりする人がしか解けないものだと感じていました。

しかし、文章理解対策講座は試験を解くにあたって必要な解答方法を解説しているので、本講座を通せば十分な点を稼ぐのに必要十分だと感じました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

様々な問題集で学習を進めていって、やはり気になるのは現時点でどれくらい点数がとれるのかということでした。独学時代は「きちんと教科書・問題集を通した後に、ある程度問題が解けるようになったら模擬試験を解こう」と考えた結果、試験月である11月に入ってから一気に3回分の模擬試験を解いて定着できずに試験日がきたことを思い出します。

今回はそのように模擬試験を解くのを後回しにすることなく、たとえ知識が定着していない段階でも解くことにしました。その結果、自分が意外と苦手としていたテーマが見つかったりしたので、十分に活用できたと感じています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

素晴らしいテキストと素敵な講師のもとで勉強できたことを嬉しく思います。合格まで導いていただきありがとうございます。ありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

一度は他社で不合格。もっと深い知識武装が必要だった

渡邊 和宏さん

60代以上 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：2回目

行政書士試験を目指した理由・契機

金融機関で相続を専門とした職務に従事していて、民法を筆頭に法律の知識を高めることが顧客の利益に繋がると思ったから。2022年に宅建の資格取得のための勉強をしている中で法律を知ることが面白かったから。転職・独立などこれからの人生の選択肢を拓けるため。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

当初から通信教育受講を考えていて1年目にアガルートと他社の2社に資料請求しました。最後までどちらにするか迷いましたが、カラーや絵などを多く採用して分かりやすいようなテキストと受講料の安さが決め手となり、他社を選びました。しかし、不合格となったときに、もっと深い知識武装が必要であり、このまま他社を受講しては次も落ちると感じたことから、2年目は講師による解説とテキストの重量感に期待してアガルートを受講することとしました。

合格体験記・学習上の工夫

不合格した反省を踏まえ、以下の3点を重視しました。

1) 勉強時間を倍増する

平日は会社勤務があるため、朝4時起きで2時間、通勤時間の1時間の最低3時間、休日は最低5時間を目標に週20時間、月間100時間を目標に勉強時間を確保しました。自宅

ではアガルートのスケジュール通りに動画と問題集のジグザク学習をすべての科目で2周回しました。その以後は問題集を中心とした学習です。通勤時間は4月くらいまでは主に民法、行政法、憲法の動画を、5月～8月は逐条ローラーインプット講座をスマホで見て、9月以降は総まくり記述80問攻略講座のテキストをひたすら繰り返し読みました。

2) 模擬試験の受験を増やす

他社の教材には基礎レベル、本試験レベルで30問しかないハーフサイズを含めて9回分くらいの模試がありました。そのすべてで合格基準点を上回り、不合格時に受講料が全額返還される試験にも通っていたため、合格できるといった変な自信と安心感ができたのではないかと思います。今回他校の模試を受講した結果、基礎知識で足切りにかかるケースもあったりして、最後まで緊張感を持つことができました。

3) 受験日にピークを合わせる

1回目は受験日の1か月前には他社の受講スケジュールが終了し、そこからは惰性で勉強していたように思います。今回は受験日の2か月前から前週まで休日は他校および市販の模試を受け続け、受験日まで高いモチベーションを維持できたと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

初挑戦はテキストの内容よりも見易さ重視で他社を選択した経緯があったので、文字がびっしり詰まったアガルートのテキストを初めて見たときは「こんなにボリュームのある内容を理解することができるのか？」といった不安がありました。しかし、動画を見ながらテキストを利用すると面白いほど理解が深まり、それまであやふやだった知識が理屈や理由を伴って定着していくのが楽しく思えました。特に憲法の判例を読む力がついたのが実感できたことが一番うれしいことでした。というのも他社のテキストでは判例を読み解く作業よりも結果を暗記することが中心となっていて違う角度から質問されると全く解答できなかったからです。前回の試験で憲法の択一問題が全滅したときにこのままでは同じ結果になると思いました。その不安な気持ちを払拭してくれたのが、アガルートの総合講座でした。豊村先生は重要なキーワードは徹底的に教えてくださいました。そして憲法は5問中4問正答することができました。学習方法はアガルートが作成したカリキュラム通りにテキスト講義を視聴し、他資格問題集を解いて解説動画を視聴する、いわゆるジグザグ学習を2周しました。会社に通いながらですので時間節約のため視聴は1.5倍速でした。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

前回の受験勉強ですでに過去問を解いていたため、見知った問題も多かったことから1周まわしてできなかった問題に付箋を貼って、2周目以降はできなかった問題だけ取り組みました。ただし、行政法だけは豊村先生のアドバイスに従って、問題の出来不出来にかかわらず、問題文に正解を書き込んでテキストを補完するサブテキスト的な読み物として時間の合間を縫って2～3周読み込みました。民法と憲法は他の科目よりも1周多く解きました。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

1回目の受験勉強でかなりの時間を割いたこともあり、この問題集への取り組みは1周だけでした。しかしながら、STEP 1～3によって下書きを通じて解答の作成を導き出すプロセスをしっかりと身に付けることを心掛けました。また、配点の目安が掲載されていたので部分点を狙う際のポイントも自分なりに理解することができました。このテキストは後の総まとめ記述80問攻略講座でも参考になりましたし、本番の試験でも活かすことができたと思います。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

試験日1か月前の平日に取り組みました。問題を解いて解説動画を視聴して間違えたり、正解しても知識があやふやな場合は付箋を貼っていったら2周目以降は付箋を貼った問題のみ繰り返しました。1問1答なので機械的に問題を解いていきましたが、テーマによってはそれまで見たことがない問題がでてきてさっぱり分からない場合もありましたが、そういった問題についてはあまり重要な問題ではないケースも多く、試験日も近くなっているため深入りしないよう注意して学習しました。はっきり言って最終的なチェック程度にとどめ新しい知識を取り込むというよりもイメージミスをしないように心掛けました。ただし、情報が少なかった行政書士法や戸籍法は問題集も少ないことから丁寧に理解するように努めました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

試験日まで残り3か月くらいになったころから始めました。1周目は机上で問題を解いて解説動画を視聴しましたが、2周目以降は通勤の行き帰りの時間にテキストを使って反復学習しました。理解できている問題は青、ある程度は黄、なかなか解答できない問題には赤の付箋をそれぞれ貼って何度も何度も（何周したか覚えていません）電車の中や歩きながら「小さな声」で知識の定着に努めました。記述問題は文章で解答するので、択一問題の肢に同じような問題が出てきた場合の正誤判断もしっかりできることが増え、相乗効果があったと思います。あと、講義で豊村先生がマル記マークとして挙げられた文章も関連問題としてテキストに記入して合わせて覚えるようにしました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

テキストは使わず、5か月くらいから往復1時間の通勤時間中に、田島先生の動画を1.5倍速で繰り返し聞き流しました。電車はあえて時間のかかる各駅停車に乗って往復40分に加え、大きな声では言えませんが、自宅から駅までの徒歩10分間、駅から会社までの徒歩10分の時間も歩きながらスマホで視聴しました。本来ならテキストで暗記ペンを使って知識を定着するための講義であることは分かっていたし、暗記ペンも購入して最初こそテキストにマークしながら視聴していたのですが途中からこのままでは時間が足りず終了まで学習することができなと感じ、その代わりとにかくしっかり聞くことに徹しました。それでも田島先生の雑談を飛ばしながら民法、行政法それぞれ5周は聞き流したと思いま

す。豊村先生の講義とはちょっと違ったあたたかい話し方に癒されました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

最初はテキスト問題を解いて、動画視聴しながら学習しました。田島先生が自信を持っていらしゃったので最後まで受講したかったのですが、試験日が近づくにつれ行政法や民法に割かれる時間が増えてきて手が回らなくなってきたため、半分以上は未受講となってしまいました。しかし、文章理解は前回の試験や模試などでも全問正解か、それに近い成績を上げることができていたためそれほど不安になることはありませんでした。結果的に本試験でも全問正解することができたので問題なかったと感じています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

他社の模試が主要な問題のみフォーカスして解説していたのに対して、アガルートではすべての問題解説を動画で解説してもらえたので全問十分に理解できました。初めて拝見する問題も多かったのですが、総仕上げとして知識習得状況の最終チェックをするのに申し分ありませんでした。しかし、1回分だけでは物足りず、せめて後1回分あれば良かったかなあ、というのが感想です。まあ、そのおかげ(?)で他校や市販の模試をたくさん受けることになり、さらに知識の浸透を図れたかも知れません。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今回は模試を有効に利用して、モチベーションを維持できたことが良かったと思います。豊村先生が技術的な方法として最初に行政法から試験問題を始めることをお勧めされていたので、それに従ってみたら気持ちと時間に余裕を持つことができるようになりました。前回、結果的に全滅した憲法で時間を喰ってしまい、残り時間15分で記述問題を解かなければならない事態になるという最悪の展開から大きく変わることができたのです。そういったアドバイスも大変助かりました。

令和6年 行政書士試験合格

講義を最後まで聞き、ジグザグ学習を徹底

矢野 愛さん

40代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6か月

行政書士試験の受験回数：2回目

行政書士試験を目指した理由・契機

企業法務の仕事を長年してきたことを活かし、身に付けてきた法律の知識を体系化して整理したいと考えたためです。リモートワークで通勤時間がなくなり、自己成長に充てる時間が増えたことも行政書士を目指す契機となりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートの行政書士講座を選んだのは、インターネットで検索して豊村先生の授業が分かりやすいと評判だったことがきっかけです。YouTubeやサンプル講義等を受講して実際にとても分かりやすいことが実感できたため、受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

アガルートの行政書士講座を受講し合格をした経験を振り返ると、講座の内容が短期合格に向けて非常に効率的に作られていたおかげで合格できたように思います。

フルタイムワークと育児・家事の隙間時間を使って勉強をしたため、勉強のための可処分時間は多くとれない状況であり、アガルートの講座内容以外には手を広げず受験しましたが、必要な内容がすべてパッケージとしてまとまっていたと思います。

また、豊村先生をはじめ講師の方々の説明が非常にわかりやすくまた面白く、単純な暗記に走らず、各科目への理解を深める学習ができたと思います。

法律系科目のみならず、一般教養の講座内容もなるほどと興味をひかれる説明が多く、

楽しみながら学習をすることができました。

私自身が行った学習上の工夫としては、スマホを使って2倍速を利用しとにかく講義を最後まで聞ききること、フォーカスしたこと、講義中に指示されたジグザグ学習(インプット・アウトプットをセットで繰り返すこと)を徹底することを意識しました。

また、試験前に一元化された資料を見返して復習することを想定して、総合講義のテキストにどんどん書き込みをいれました。

全体を通して非常に良い講座でした。ありがとうございました。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義は、講義内容が非常に体系的で分かりやすく、理解しやすい構成となっていました。テーマごとに重要なポイントが整理されていて、全体像を把握しやすかったのが特徴です。このような講義形式は、試験範囲が広く、複雑な法律知識が求められる行政書士試験において非常に有用でした。

利用方法としては、私の可処分時間が限られていたため、効率的に学習を進めるために、講義を2倍速で視聴することを選びました。倍速で視聴することで、時間を節約しつつ、内容をスピーディに理解することができました。ただし、単に倍速で聞き流すのではなく、講義に集中しながら、重要なポイントをしっかりとメモに取ることを意識しました。こうすることで、知識の定着が進み、後で復習する際にも効率よく見返すことができました。また、倍速で視聴することによって、時間に追われる中でもスムーズに学習を進めることができ、モチベーションを維持しやすかったです。

さらに、総合講義で学んだ内容に関しては、講義後に必ず短答問題を解くようにしました。講義内で指示された通り、学習した後すぐに問題を解くことで、その知識がどのように出題されるかをイメージしやすくなりました。この方法は、知識を実践的に使える形にするための重要なステップであり、試験本番に向けた実力アップに繋がりました。また、問題を解いた後には、間違えた部分や不安な点について再度講義を見返し、理解を深めることを繰り返しました。このように、講義と問題演習を組み合わせることで、効果的に知識を定着させることができました。

総合講義のテキストも非常に優れており、簡潔でありながら必要な情報が漏れなくまとめられているため、受講後にこれを再度読み返すことにより、復習が非常に効率的行えました。テキストの構成も非常に分かりやすく、講義の内容を補完し、学習した知識を整理するのに役立ちました。講義中に学んだ内容をテキストで確認することで、理解が深まり、知識がより確実に定着しました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問集は、総合講義で一単元を終えるごとに、該当する問題を解くことを心掛けました。解いた後、答えが間違っていた問題には×、正解でも理由に自信がなかった問題には△、自信を持って正解できた問題には○をつけて分類しました。この方法により、どの部分に弱点があるか一目で分かり、×や△のついた問題だけを繰り返し解くことで、徐々

に苦手分野を克服できました。特に、理解が不十分な部分を重点的に復習することで、知識が定着し、試験に向けてしっかりと準備できたと感じています。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

記述過去問集は、解説が充実していたため、総合講義の復習を兼ねて早い段階から目を通しました。勉強のために割くことができる時間が限られていたため、実際に書いて練習することは難しかったものの、問題文を読んだ後、答えを頭で想起し、解説を確認するという方法で進めました。この作業を2～3回繰り返すことで、記述式問題に慣れることができました。解けなかった問題には印をつけ、繰り返し解くことで、苦手分野を克服しました。

総まとめ択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

行政書士総まとめ択一1000肢攻略講座は、択一对策として非常に実践的で効果的な内容だったと思います。短答過去問集と行政書士総まとめ択一1000肢攻略講座に掲載されている問題だけで、本番の試験にでる範囲は網羅されていると感じました。

講座の利用方法としては、まず1周目を通してざっと問題を解き、間違えた問題や理解があやふやな問題については詳しい解説を読んだり、該当する箇所の総合講義のテキストを読み直すなどして理解を深めました。

また、選択肢ごとの解説が非常に分かりやすく、なぜその選択肢が正しいのか、また他の選択肢がなぜ誤りなのかを丁寧に説明しているため、自信をもって選択肢を切ることができるようになりました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

行政書士総まとめ記述80問攻略講座と記述式過去問を解くことで、記述式問題を自信をもって解けるようになりました。解答の構成やポイントとなる論点を丁寧に解説してくれるため、記述問題を解く際のアプローチや解答の具体的な書き方などが明確になりました。試験準備にあてることができる時間が限られていたため、実際に書いて練習することは難しかったものの、問題文を読んだ後、まず答えを頭で想起し、ついで解説を確認するという方法で進めました。この作業を2～3回繰り返すことで、記述式問題に慣れることができました。記述80問攻略講座の問題に該当する部分について総合講義のテキストを読み直すことで、基礎知識の定着をはかることもできました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

アガルートの行政書士逐条ローラーインプット講座は、法律学習において、いかに条文学習が大事であるかということを実感させてくれた講座だと思っています。逐条方式で法律を解説する講座は予備校でも珍しいのではないかと思います。この講座は知識の定着に非常に役に立ちました。まず、総合講義で、科目ごとに大きな流れのイメージをつかみ、逐条ローラーインプット講義で条文ごとに確認していくという作業は、理解を深めることに大変役に立ちました。また、試験によくでる条文とそうではない条文にめりはりをつけて

講義がなされるので、非常に効率的でした。

利用方法としては、講義を2倍速で視聴しテキストに書き込みを入れ、その後テキストを何度か読み返すことで、知識の定着をはかりました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解対策講座は、必要十分な内容がコンパクトにまとまっていました。一般知識の中でも、文章理解は比較的得点がつりやすい分野であるといわれているため、確実におさえたいと考えておりましたが、この講座を受講することで、自信をもって試験にのぞむことができました。

文章理解の出題は、出題される型やパターンが決まっているので、この講座で型ごとの解法やコツを習得することで、得点を安定させることができますと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験については、自宅で実際に時間をはかりながら行いました。実際の試験で配られる冊子や解答用紙と同じであり、本番試験をシュミレーションすることができたことや、本番試験と同じ時間集中して問題を解くことで、本番慣れをするという意味でもよかったと思います。

模試についても間違えた問題については、総合講義のテキストに戻って復習をするなど、本番前に理解できていない箇所がないかなどの確認にも役に立ったと思います。

令和6年 行政書士試験合格

講座を通じて鬼門だった記述式問題を克服

松田 直樹さん

20代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 中上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

行政書士試験の受験回数：2回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在の勤務先で法務課に配属されていましたが、知識の質と量の両面で司法試験経験者との圧倒的な差を感じる毎日でした。そこで、自分自身の法務知識のブラッシュアップと棚卸しのためにまずは行政書士試験を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

講師の豊村先生の評判がネット上だけでなく、リアルな知り合い同士の間でも極めて良かったことが一番大きな決め手でした。また受講時間数も他のスクールの講座よりもひとまわり多く、圧倒的なボリュームがあったこともメリットに感じました。

合格体験記・学習上の工夫

豊村先生の授業をしっかりと受講してインプットを行った後は、ひたすら問題集を解き、アウトプットに勤しんでいました。またアウトプットは、過去問題集だけでなく他資格試験過去問ベストセクションも徹底的にやり込んだことが合格への基礎力に着実に繋がったと思っています。

具体的な問題の解き方は、

- ①まず普通に問題を解く
- ②丸付けを行い解説を聞く
- ③解説を聞いて知らなかった選択肢には赤丸、そもそも正誤の判断を誤った選択肢には

赤バツをつけておく

- ④さらにその問題を解いた日を、その問題に一発で正解した場合には緑ボールペンで、その問題について赤丸または赤バツがつく選択肢があった場合には赤ボールペンで、記載する
- ⑤さらに間違えた問題については、付箋をページの一番下に横向きにして貼っておく
- ⑥次に解く際には、赤で日付が書かれた問題は解説を必ず読み、付箋の貼られた問題（=間違えた問題）はもう一度全ての選択肢に目を通して解き直す
- ⑦再度間違えた問題は、今まで付箋を貼っていた位置から、付箋ひとつ分上にずらした位置に貼り直す
- ⑧ ⑥～⑦をひたすら繰り返す

という手順で、徹底的に知識の抜け漏れを潰していきました。またメンタル面では自分の間違いを許す心も重要だと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

豊村先生による、ラインマーカーや複数色のボールペンを使ったテキストへの記載方法は、単にわかりやすいだけでなく、後でテキストを見返した時も分かりやすく情報が整理されることになり、大変役に立ちました。

特に赤ボールペンで正しい情報にマークをつけ、青ボールペンで誤ったまたはネガティブな情報にマークをつける手法は今でも実践しています。

総合講義の動画は、概ね知っている分野については2倍速で、知らない分野については1.6倍速（ただし難易度が高い部分や自分に合わない科目で負担感を感じたときには1.4倍速）で視聴していました。また音声データをダウンロードできることから、スマートフォンアプリに音声データを読み込んで、通勤中に聞き流すことで、記憶の定着を促進していました。このような聞き流しは、新しい情報のインプットにはあまり向いておらず、まだ受けていない授業のデータではさしたる効果が実感できませんでしたが、逆に既に受講した授業のデータで行った際には、かなり記憶が残りやすくなった印象があります。なお聞き流しを行う際には、あまりにはやい再生速度だと記憶に残りづらいため、私はおおむね1.6倍速で聞き流していました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

選択肢ごとに論点がわかりやすくまとまっていて、非常に使いやすいものでした。サイズもコンパクトでしたので、電車の中で読み返すことで単なるアウトプットに留まらず、インプットまで含めた教材として利用することができました。

また学習方法のところであげた問題の解き方を使って付箋や印をつけていくことで、しっかりと自分だけの問題集になるよう運用していくことができ、直前期の勉強では心強い相棒となってくれました。

記述過去問集のご感想・ご利用方法

以前行政書士試験を他の資格スクールにて受けていたときに、鬼門となっていたのが記述の問題でした。記述式はどうしても正誤を判定するだけの問題よりも、求められる知識の質と量のハードルが高くなります。

そんな中で記述過去問集は、まとまった量の記述式の問題を、やはり論点を分かりやすくまとめて作って下さっており、とても役に立つ教材だった印象があります。最終的には重要部分にラインマーカーなども引き、完全に使い潰していました。

総まくり択一 1000 肢攻略講座のご感想・ご利用方法

総まくり択一1000肢攻略講座は、過去問題集や他資格試験セレクト問題集だけでは、どうしても〇がつくと安心してしまい、おろそかになりがちな選択肢の存在を、再確認させてくれる良い機会となっていました。

個々に正誤を判断していく分、予断を許さず、緊張感をもって取り組むことができる教材であるとともに、その後の見直しや再インプットも一問一問に正誤がはっきりする分、かなりやりやすく、学習が捗った印象があります。

直前期にはこれを徹底的に何度も解き直し、アウトプットを繰り返していくことで、知識の完成度を高めていくことができました。最終的には、問題冊子がボロボロになる程、見直しや解き直しを重ねて、自分用の教材に昇華させられたと思います。

総まくり記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

記述の問題について、まとめて論点や注意点を洗い出して解説してくれる講座は、他の資格スクールや通信講座でもなかなかお目にかかれないもので、非常に心強い教材でした。

また記述問題の計80問というボリュームも垂れすぎず、さりとて少なくもなく、絶妙な塩梅でした。

私自身の活用方法としては、学習方法の欄に書いた解き方と大枠は同じですが、記述式問題という性格上、一問一問時間を測ることで自分自身にプレッシャーをかけつつ取り組んだのが自分なりに工夫できたところだと思っています。

実際、時間を測りながら問題を解くことで、自分が意図せず悩んでいた問題や論点を明らかにし、後から自分の知識があやふやな点を振り返る際にも役立ちました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

記述式や正誤判定の問題を解くだけでは、条文全体の構造や前後関係についての立体的な把握がおざなりになってしまう中で、豊村先生が逐条で解説して下さるこの講座はかなり心強かった印象があります。

また月並みな方法とはなってしまいますが、この講座で条文の具体的な構造をインプットした後は、家族や友人にそれを自分の言葉で説明してみることで復習を行っていました。豊村先生が体系的に条文を説明してくださっている分、そのフレーズを覚えて口に出すだけで、より深い理解に腹落ちさせてくれたように思います。

なお六法には自分がその条文を引いた日付を記載して、それを逐条ローラーインプット講座で履修した日付と付き合わせることで、学習の進捗も確認していました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解はかなり苦手な分野で、前回の不合格に終わった行政書士試験でも、3問中2問を落とす結果となってしまっていました。

しかし、文章理解対策講座で文章の繋がりや接続詞などについてわかりやすく、かつ理論的に解説して下さったので、徐々に解法が判るようになりました。

結果としては、今回の行政書士試験では3問中3問とも正解することができました。試験中に一つ一つ、講座で習った原則を思い出して落ち着いて解くことができたため、本当に良かったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は冊子形式でしっかりした製本で来たのには正直驚きました。

いつも自宅にて実戦さながらの形式で、時間を測って解き進めたのち答え合わせをして、解説を確認し、必要な箇所にはラインマーカーなどを使って印をつけて学習していました。

問題のクオリティもさることながら、解説も、論点や解答する上で気をつけるべき点がよくまとまっておりました。他の資格スクールの模擬試験もいくつも受講しましたが、クオリティでは一番だと思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

本当にありがとうございました。

上級総合カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 行政書士試験

令和6年 行政書士試験合格

入門総合から上級へとレベルアップして 掴んだ合格

天野 千夏夫さん

50代 主夫/主婦

2024/ 行政書士試験 / 上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

私は勤めていた会社を早期退職し、時間ができたこと、そして以前、国際業務を専門とする行政書士の先生が運営する技能実習生の監理団体に勤務していた経験がきっかけで行政書士試験を目指しました。この経験を通じて、日本に来る外国人をサポートする行政書士の仕事に魅力を感じ、自分もその一員として貢献したいと考えました。また、新たな挑戦としてキャリアを再構築するため、資格取得を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は今回、3 回目（3 年連続）の挑戦で合格しました。最初の試験対策として2021年12 月から「入門総合カリキュラム（フル・豊村クラス）」を受講し、3 回目の試験対策として2023年12 月から「上級総合カリキュラム（フル）」を受講しました。それぞれの受講理由は以下の通りです。

入門総合カリキュラムの受講

法律の知識が全くなかったため、基礎からしっかり学べる講座が必要でした。YouTube で豊村先生の講義を視聴し、その分かりやすさと親しみやすさに惹かれ、受講を決意しました。

上級総合カリキュラムの受講

2 回目（2 年目）の試験結果が振るわず、さらなるレベルアップが必要だと感じました。入門総合カリキュラムの充実した内容と講義に満足していたため、上級コースもアガル

トを選択しました。また、中上級総合カリキュラムは入門コースと内容が重複する可能性があると考え、より実力向上を狙える上級総合カリキュラムを選びました。

合格体験記・学習上の工夫

4年前に会社を早期退職したため、学習時間には比較的余裕がありました。1日の学習時間は午前2時間、午後2時間の計4時間。土日や祝日は家族との時間を優先し、気分が乗らないときは無理せず休むことで、メリハリをつけました。

また、複数年にわたり勉強を続ける再チャレンジ組は、会社法や商法を重点的に学習し、得点源を増やすのが一般的だと思います。しかし、私は会社法や商法の基礎知識については2年目までの学習で勝負することを決め、3年目は配点の大きい憲法、民法、行政法の知識を固めることに集中しました。

学習方法の工夫としては、整理しにくい知識を一覧にして部屋の壁に貼り、常に目に入るようにしました。たとえば、「重大な」過失が要件となる場合の要件と効果」「善意のみ」で無過失が問われない場合の要件と効果」「行政手続法と行政事件訴訟法の相違点」などを視覚的に整理することで、理解を深めました。

また、問題集の解説に出てくる判例からテキストの該当箇所を探すのに時間がかかっていたため、効率よく見つけられるよう、自分で「判例→テキストのページ」が索引できる一覧を作成しました。

図表まとめ講座のご感想・ご利用方法

入門総合カリキュラムの受講から1年以上が経過しており、全体の復習をする良い機会になりました。特に、本講座では重要なポイントが図表を用いて整理されており、視覚的に把握できました。文章だけで学ぶよりも、情報をコンパクトにまとめた図表を活用することで、効率的に知識を再確認でき、理解が深まるのを実感しました。また、以前学んだ内容を思い出しながら受講することで、自分の理解が進んでいるかを確認することができ、復習の重要性を再認識しました。

「START UP 判例」解説講座のご感想・ご利用方法

指定されたテキストをすべて購入し、受講しました。入門総合カリキュラムのテキストには含まれていない判例の詳細について学べたことは非常に有益でした。特に、今回の本試験の記述で出題された『東京12チャンネル事件』についても、本講座でしっかりと取り上げられており、その記憶が頭の片隅に残っていたおかげで、本試験ではある程度記述できたと感じています。判例を深く掘り下げて学ぶことで、実際の試験問題に対する準備が整い、知識の定着度が高まりました。判例の細部にわたる理解が試験での応用力にもつながり、実際の問題に柔軟に対応できるようになったと思います。

非常にボリュームのある講座なので途中で挫折しそうになりましたが、一通り受講してよかったと思います。

行政書士試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

令和2年までの過去問題集は入門総合カリキュラムのものを使用し、基本的な知識を固めました。その後、令和3年・4年の過去問題は新たに本問題集で学習し、直近の試験傾向を把握しました。過去問は厳選された問題であり、試験に出やすいテーマや重要ポイントが凝縮されているため、効率的に学習を進めることができました。繰り返し解くことで理解が深まり、試験の解答スピードや正確性が向上。自信を持って本試験に臨むことができました。

他資格試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

行政書士試験の過去問題を15回以上解いていたため、徐々にマンネリ化していましたが、新たな問題に触れることで新鮮な気持ちで学習を進めることができました。過去問を解く際には、○×の正誤だけでなく、その理由までしっかり理解することを意識し、深い学びを目指しました。本試験の半年くらい前からは、間違えやすい選択肢や○×の理由が曖昧な選択肢のみに焦点を当て、繰り返し学習を行いました。この方法で、理解が不十分な部分を確実に克服し、試験に向けた準備を着実に進めました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

数回繰り返して学習を進める中で、単に解答例を覚えるのではなく、周辺知識の理解を深めながら取り組みました。特に、覚えにくい単語やフレーズに赤線を引き、強調することで、視覚的にも記憶に残りやすくなり、効率的に覚えることができました。この方法を取り入れることで、知識の定着度が向上しました。本試験の1か月くらい前からは、記述対策を中心に取り組み、本講座のテキストと豊村先生、田島先生が講座内で記述試験に出る可能性があると言った箇所を自分でまとめたものを繰り返し学習しました。本記述問題の学習を重ねることで、記述の文言の暗記、理解のみならず、その周辺の知識も復習することができ、この記述問題の繰り返し学習が成果につながったと感じています。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

入門総合カリキュラムの受講から1年以上経過していたため、条文全体の復習を行い、さらに条文の理解を深めるために非常に役立ちました。特に、条文の細かい改正点を確認することができ、最新の法改正についても十分に把握できました。法律の条文に対する理解が深まり、正確な知識を身につけることができました。また、田島先生の雑談がうまく挟まれており、リラックスしながら学習を続けられたことも大きなポイントでした。気分転換ができることで、長時間の学習も苦にならず、集中力を保ちながら取り組むことができました。繰り返し学習を行い、条文の構造や内容を確実に記憶に定着させることができ、試験に自信を持って臨む準備が整いました。この講座は、法知識をしっかりと身につけるために非常に有効だったと感じています。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解は過去の本試験や模試で正解率が高かったため、本講座を1回視聴するだけで、

それ以上の対策は行いませんでした。しかし、文章理解が苦手な方にとって、この講座は非常に有効だと感じます。講座では、文書の読み方や論理的な構造を理解するための基本的なアプローチを学べ、文章の要点を素早く掴む力が養われるため、難しい問題にも自信を持って取り組めるようになるでしょう。この講座を受けることで、文章理解に対する苦手意識が克服でき、試験対策を効率的に進めることができると考えています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

提供されたオリジナル問題の模試は、実際の試験に近い形式で問題を解く貴重な機会となりました。詳細な解説が付いており、間違えた部分について深く理解を進めることができ、特に自分の弱点をしっかりと把握することができました。模試を受けることで、試験の時間配分や問題の傾向をつかみ、実践的な対策を進めることができました。また、解説が非常にわかりやすく、間違えた理由を明確に理解できたため、その後の学習に生かすことができました。この模試を通じて、試験への自信が深まり、本番の試験に向けた準備が着実に整ったと感じています。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

豊村先生の講座には入門総合カリキュラムと上級総合カリキュラムの両方でお世話になり、どちらも非常に有益で長い講座でしたが完走できました。解説がとても分かりやすく、専門的な内容も噛み砕いて教えてくださるため、難しいテーマも理解しやすかったです。特に、専門的な理論や難解な箇所を視覚的な例や実際の事例を交えて説明してくださるので、理解が深まりました。また、先生自身が親しみやすく、堅苦しさがない風貌が、リラックスして学べる環境を作り出して良かったです。豊村先生の講座は、知識を得るだけでなく、学習意欲も高めてくれる魅力的な内容でした。試験に向けた自信を養う手助けにもなり、学習に対するモチベーションを高めてくれました。

令和6年 行政書士試験合格

過去問の類似の問題はたくさん出題されています

田中 茂年さん

50代 会社役員

2024/ 行政書士試験 / 上級総合カリキュラム / フル 豊村ゼミ受講

カリキュラムの学習期間：10 か月

行政書士試験の受験回数：2 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

私は会社経営者です。不動産関連の新規事業開拓のため、2年前に宅地建物取引士を取得しました。勉強をするという日々の生活リズムがついたため、ほかにも取得できるものはないかと考えました。自社の主な事業は環境に関する事業です。環境マネジメントシステムのエコアクション21認証を取得しています。そのため、環境コンサルタントの方とよく接する機会があり、コンサルティングに興味があったので、環境経営に特化した行政書士を目指そうと考えました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

前項に申し上げた通り、2年前に宅地建物取引士を取得しました。その試験勉強の際にもアガルートの講習を受講しました。その後引き続き、管理業務主任士も取得しました。行政書士の受講もおのずとアガルートアカデミーの講座を申し込みました。

合格体験記・学習上の工夫

学習方法としては、一科目ごとにテキスト、動画視聴で知識のインプット、問題演習でアウトプットの繰り返しです。記述の問題では自分に合った書きやすいペンを準備し、ノートはたくさん使いました。過去問を解き、間違えた箇所や重要なポイントは付箋に書き、机にたくさん貼り付け、常に目に付くようにしました。私の業務上、待ちの時間やアポイントとアポイントの間など、隙間時間というものがありました。その隙間時間を見つけて

は、車両の中でテキストを読むことやスマホを使って動画を見ることをしていました。先ほども申し上げましたが、会社経営をしており、会社は自宅と離れております。そのため、終業後は毎晩、会社の事務所で机に向かい、講座の受講や問題を解くことを繰り返していました。土曜日、日曜日、祝日も平日と同様に、通常通り出勤し、事務所で学習をしていました。試験時間は3時間です。その3時間、椅子に座り続けるというのは、身体にも負担が大きいものです。日ごろから座り続ける癖をつけておくのもよかったのではないかと思います。家では家族が部屋を出入りすることで集中力に欠けますので、事務所で集中して勉強する環境は大変整ってありました。今回の行政書士試験は2度目で、1度目は176点と、もう少しのところ合格を逃しました。1度目の試験勉強はとてもつらかったもので、あと少しだからもう1年やってみようとは素直に思えませんでした。しかし、家族から「来年は合格できるね」と何気ない一言で、もうひと踏ん張りしようと、2度目のチャレンジを始めました。2度目も同じ学習方法、雰囲気、生活リズムで勉強をしました。1度目、不合格ですと普通なら環境や学習方法を変えと思いますが、同じような環境で変わらないスタイルを貫きました。私は登山を趣味にしておりますが、試験勉強を始めてから試験日まで登山を控え、ひたすらテキスト、ノート、スマホ、パソコンに向き合って毎日欠かさず勉強を続けていました。可否にかかわらず試験が終わったら趣味を再開することを楽しみに頑張りました。楽しみを我慢するのではなく、楽しみを目標に頑張った2年間でした。

図表まとめ講座のご感想・ご利用方法

1度目の試験が終わってから合格発表、その後、もう一度チャレンジしようと奮起するまで、行政書士の勉強は一切しませんでした。テキストを広げることもしませんでした。正直なところ、どこかで合格を予感していたのかもしれませんが。そのため、テキストの片づけまでしていたと思います。しかし、不合格となり、いざ勉強を再開しようとしたときには1度目の試験日からおよそ3か月はたっていました。そんな時に受けた図表まとめ講座は、一気に復習ができ、今まで覚えてきたことを思い出させてくれた講座でした。まだなんとなく勉強を再開し、気が抜けている私には、効果的だったように思います。そのようなことで、使用したのはほんの少しではありました。

「START UP 判例」解説講座のご感想・ご利用方法

私は、判例の問題が苦手な分野です。法律の知識がなく、一般の人ならば、結果に全く理解できない判例があります。私自身も、何度読み返しても納得がいけない場合があり、憲法や行政法をしっかりと理解していなければ、本当に解けないと実感する分野です。また、結果をテキストだけではなかなか想像できず、学習方法に悩んだ分野でした。この講座では、いくつかの判例問題をわかりやすく解説していただきました。問題となる判例をしっかりと叩き込み、ポイントとなる箇所を解説してもらい、最終的な判断や結果を導き出すという流れで、頭の中で少しずつ想像できるようになりました。この分野は何度も学習しました。この講座は、私にとって大変重要であり、貴重な講座でした。

行政書士試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

過去問は、あくまでも過去に出題された問題ですので、まったく同じ問題は出題されないことは承知しています。しかし、1度目の試験勉強で、予想模試をたくさん受けてきましたが、過去問の類似の問題はたくさん出題されています。問われ方や組み合わせを変えて出題されたりしますので、やはり過去問をたくさんすることで、問われるポイントが見えてくるような気がします。私の場合、同じ問題を解いても、初めて解く問題であるようなことがよくありました。それでも、何度も解きました。いつも間違えてしまう弱点も見つけることができますので、過去問ベストセクションはたくさん利用しました。

他資格試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

前項でも申し上げた通り、行政書士の過去問題はたくさん解いてきました。しかし、いざ本番の試験では、思い通りにいかない予想もつかない問題が出るものだと考えると、不安になります。そこで、他資格の問題はどのようなものなのか、何か発見ができればいいと思い、他資格試験問題もしっかりと取り組みました。やはり、司法試験の問題は難易度が高かったです。しかし、新しい問題に組み組めたことは大変良かったですし、自信にもつながったように思います。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

私にとって2度目の試験で最重要ポイントとなるのがこの記述式問題でした。300点満点中60点あるのは、とても大きいです。自己採点するにも難しい問題です。問題の解説、キーワードの確立、文字数の対策とたくさんの課題があります。この講義はその不安を取り除いてくれるよう、解き方をしっかり講義していただきました。前項に書いた「START UP 判例」を重要視したのも、この記述式の問題で、高得点を取りたかったので、必死で繰り返しやりました。ノート、ペンはいくつも準備し、使い終わったノート、ペンが増えるごとに、自分の知識も上がっていくように感じていました。しかし、試験直前まで、一番苦手問題であることは変わりませんでしたし、今も変わりません。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

行政書士資格を取得するには行政法と民法を理解することが必須なので、この講座とテキストは、しっかりやるべきだと考えております。私は、問題を解く上で、間違いや理解ができなければ、かわりのある条文だけを読み返すのではなく、条文の前後（例えば8条であれば、6条、7条、9条、10条）、もしくは章中のすべての条文を何度もゆっくり読みました。逐条ローラーインプット講座のテキストは、何度も利用し、見返しました。手すきの時間にはこのテキストを読むことが多かったです。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解も私の苦手分野です。作者の気持ちや考えについていけず、ただただ難しいの一言に尽きます。記述の配点も大きいのですが、5肢択一は問題数も多く、1問4点です。やはり落としたいくない問題です。この講座で使用するテキストは難易度が高く、最後まで

利用しませんでした。文章理解の学習は、過去問題を繰り返し解きました。過去問題のほうが簡単だったように思います。結果、本番の試験では全問正解を成し遂げました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、過去問題をたくさん解き、自分に自信がついたところに取り組みました。自分の実力がどれくらいに達したのかを測るため、重要科目の理解度を事前に把握するために重要なツールです。環境を整えて模擬試験を行いました。時間配分や自分の不得意分野にどう対応できるのかを知ることができました。問題はリアルでとてもよかったと思います。しかし、会場受験ではないので、緊張感やモチベーションは低いと思います。試験直近で他社の会場受験にもチャレンジしました。自宅受験よりはほかの受験生の様子も見られ、緊張感がありました。自宅受験で自分の弱点を理解していたので、より本番に近い状態で受験できました。自宅受験のあとに会場受験をすることは良かったと思います。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

私は2回目の挑戦ということもあり、ある程度の知識がある状態での再受講でした。最初は豊村先生の合格率の高さを聞いて受講を決めました。講義はスピード感があり、歯切れの良さもあって受講していて飽きが来ないですし、どんどん吸収していく感じがしました。講義の途中で囁むこともなかったので、大変聞きやすかったです。間に質問を投げかけていただけたことも、大変良かったです。講義の内容では、過去の事例や判例などの関連した話をたくさんしていただきました。関連付けて教えていただけると、頭に入りやすく、楽しく講義を受けることができました。利用方法としては、まずひととおり講義を受けましたが、その後、過去問題や模擬試験で間違ったところの講義を見返して復習に利用していました。

令和6年 行政書士試験合格

独学からアガルートへ 知識を深め確実に合格を狙う

山崎 志苑さん

30代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

行政書士試験を目指したきっかけは、父の一言でした。何気ない会話の中で資格の話になったとき、「手に職をつけるなら、行政書士試験を受けてみたらどうだ？」と言われたのが始まりです。父は美容関係の仕事をしており、補助金や開業の際に行政書士のお世話になることがあったため、行政書士が身近な存在だったようです。当時の私は、行政書士の仕事についてほとんど知らず、「書類を作成する仕事かな？ 一生ものの資格なら取ってみてもいいかも」と軽い気持ちで返事をしました。

まさか、それが2年半に渡る決して短くない受験生活につながるとは、その時はまったく想像していませんでした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートは、2度目の試験不合格になった日に申し込みをしました。きっかけはズバリ、合格特典です。予備校の料金というと、10万越えは当たり前という世界です。もちろん行政書士試験に合格した後のことを考えると、十分投資するに値する額なのですが、お世辞にも裕福な生活を送っているとは言えない私でしたので、合格してしかもお金も返ってくるというのは、私にとってとても魅力的なところでした。

2年目までは独学で勉強をしていましたが、2年目で176点だったこともあり、3年目は必ず合格する、知識をもっと深く掘り下げて確実に合格したいと思ったことも理由の一つです。

合格体験記・学習上の工夫

今回は3年目の受験となったわけですが、1、2年目の敗因は、インプットに時間をかけすぎたことと、アウトプットを多少おざなりにしてしまったことにあったと考えました。また、過去問中心で勉強をしていたため、昨今の現場思考的な問題や、問われ方を変えられと途端に解けなくなる、といったことも不合格の原因の一つと分析しました。

よって3年目は、1、2年目で集中的に時間をつかっていたインプットの割合を減らしアウトプットの時間を増やすこと、過去問をただ漫然と解くのではなく、その問題が何を聞きたいのかや、関連する条文について調べることを意識しようと思いました。とはいえ私も社会人ですので、まとまった時間はなかなか取れません。そこで、通勤時間や昼休みを利用してアガルトの講義動画を視聴したり、スマホアプリを使って問題を解いたりしていました。出勤前は脳がリフレッシュされていますので、新しい用語や論点を覚え、退勤後はそれに関連する問題を解く、なども行っていました。休日は図書館に籠りっきりで勉強をしていたので、平日は3～5時間、休日は8時間ほど勉強していたと思います。私自身のやる気につなげるために、スマホアプリで勉強時間の測定をして、今日は何時間やったからあしたはもっと頑張ろう、というふうに気持ちを盛り上げたりもしていました。

図表まとめ講座のご感想・ご利用方法

図表まとめ講座は、2年目の不合格が分かった後、2、3月で主に受講していました。1、2年目である程度のインプットは終わらせていたので、この講座はざっと目を通すくらいにしようと思っていました。しかし、豊村先生の講義中何度も「え、それ知らなかった」ということが多々あったので、だいたい1か月ほどこの講座に要してしまいました。

内容に関しては、図や表がカラーで掲載されており、非常にわかりやすかったです。アウトプット中に疑問点が出てきた時も、パッと出せてすぐ確認できたこともとてもよかったと思います。ただ、この講座に時間をかけすぎていると、後に控えている講座を十分に受けられなくなる可能性があるので、この講座にはサッと終わらせられるのがベストだと思います。

「START UP 判例」解説講座のご感想・ご利用方法

この講座は、知識の深掘りをする上でたいへん有意義な講座でした。「START UP 判例」の書籍自体は別で購入しなければならないのですが、その手間も全く問題にならないくらいいい講座だと思います。まず、有名判例1つ1つをここまで詳細に解説している書籍というだけでも価値があるのですが、それに肉付けする講座の詳細な解説にもとても価値がありました。普段問題で何気なく見ている判例も、どういう経緯でその裁判が起こったのか、それによってどういう理由でどういう判決が下されたのかなど、この講座と書籍を見なければわからなかったことが詰まっているように感じました。

私は、よく判例が問われる憲法と行政法を、アウトプット期間中に受講したのですが、その後の問題の理解度が段違いになったのを覚えています。自分に足りなかったものを認

識し習得できた講座でした。

行政書士試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

こちらアウトプット期間中に使用していました。今までは、こういった過去問集はただ解いては次、解いては次だったのですが、その問題に関連する条文や判例を確認するということを重視しました。

2周目以降は、1周目で間違っていた問題、あっているが理解が足りないと感じる問題を重点的に解き、知識をより詳細に理解するように心がけました。そのうちに、何度も間違えてしまう問題の傾向が分析でき、知識の穴をなくすことができました。

他資格試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

このカリキュラムの中で一番驚き、そして感動した講座です。アガルートを受講する前は、他資格の問題を解いたことはありませんでした。他資格の中には、行政書士より難易度の高い資格もあり、試験科目も被っていたりもしていますが、難易度の異なる他資格の試験問題を解くことが、はたして行政書士試験の力になるのだろうかとか懐疑的だったからです。そして、自力で他資格の問題を集める労力があるなら、その時間を別なことに向けたいというもありました。

この過去問集は、その悩みや不信感を払拭してくれました。アガルート選りすぐりの講師たちが、他資格の問題を分析して掲載してくれているので、質のいい良問がそろっていました。そしてそれらを解いていると、たしかに難易度の高い問題もありますが、行政書士試験レベルであれば解けなくてはならないと感じました。私はこちらも4周以上回して、知識を自分のものにしていきました。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

私が苦手な記述の講座ということもあり、8月以降大変お世話になりました。最近の行政書士試験の記述は、現場で考えさせられる問題や問題文に解答の指示がある問題が多いと見受けられます。この講座はそれらをかなりカバーしていると感じました。実際令和6年度の試験でも、現場で考えさせられる問題が出題されたため、その力はこの講座で身についたのかなと思っています。かなりコアなところを聞いている問題もありましたが、私はそれが同時に択一の勉強にもなったと思ったのと、その場で問題を考えるという練習にもなったため、意味が薄いとは思いませんでした。

市販のテキストはたくさんありますが、この講座とテキストを購入して実施していればそれだけで十分だと思います。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私が一番おざなりだったといっても過言ではない講座内容でした。そして、私が一番、アガルートでよかったと思った講座でもあります。2年目までの私は、六法は購入しましたが、問題の解説で関連条文を引くくらいで、あまり見てはいませんでした。というか、意識的に避けていた面もあると思っています。行政書士試験を受験する前は、条文などは

とんど読んだことがなかったため、読むのに非常に抵抗があったのです。小さい文字、長い文章、その条文に準用があるとその条文も引かなければ理解できない……などで、正直嫌いでした。この講座を見るのも気が重かったのですが、試験合格には条文はやはり必須だろうと視聴し始めました。

だいたい4月くらいの時期から見始めたと思います。まず、条文をチェックペンやマーカーで色分けすることで、視覚的に条文の内容が頭に入ってくるのがよかったです。冊子の文字も、条文にしては大きかった（通常のテキスト程度）ので、抵抗なく進められ、余白も書き込むのに便利でした。そして、田島先生の詳細で丁寧な説明で、今まで抵抗があった条文の全体像が見えて、講義が終わるころには、条文がおもしろいということと、やはり試験には条文が必要不可欠であることが再認識できました。たまにある雑談も私はとてもはまり、民法・行政法ともに最後まで楽しく視聴できました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

文章理解は、模試や1、2年目の試験でもほぼ満点だったため受講しませんでした。しかし、本試験では文章理解は得点源で、絶対に落としてはならない部分ですので、この対策が少しでも不十分と感じる人は必ず受講したほうが良いと思います。ですが、文章理解自体はそこまでがっつり対策ができなくても、例年9割くらい正解率がありますので、苦手意識のある方がその意識払拭のために受講する、などでもいいかと思いますが。

模擬試験のご感想・ご利用方法

9月ごろに受講しました。他ではあまりみないような冊子タイプの模擬試験で驚いたのを覚えています。正直本試験タイプの出題形式のほうが、本番！という感じで性に合っている気はしましたが、模試の内容は本試験並みの難易度だったため、1問1問を細かく見ていくときには冊子タイプのほうがとても便利でした。

9月に受けて記述ざっくり配点で170点だったため、かなり焦ったのを覚えています。しかしここで合格点をとれていたなら、私の性格上慢心してしまったかもしれないので、合格点未満でよかったとも思いました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生、田島先生のおかげで本試験では190点といういままでにない点数を取ることができました。

最初は合格特典がきっかけでしたが、今ではアガルートの講座を受けて本当に良かったと思います。これから開業してバリバリこの資格を生かしていきたいと思います。ありがとうございました！

令和6年 行政書士試験合格

合格のための正しい努力は正しい理解を すること

工藤 孝寛さん

40代 自営業

2024/ 行政書士試験 / 上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

私は現在、土地家屋調査士として働いておりますが、関連する業務に農地法の申請等、行政書士の資格がなければいけないものがありました。それまでは知人の行政書士に申請を行ってもらっていましたが、私のためにも、また依頼をいただくお客様のためにも私自身が資格を取得し関連業務を私が全て行う方が良いと判断し受験することになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士を受験する時に答練の受講をさせていただいたのですが、その際に使用した教材の質が高く、大いに力をつけさせていただき、試験に合格しました。その時にアガルートは信頼できる予備校だなと思いましたので、今回の行政書士試験の際も受講させていただきました。

合格体験記・学習上の工夫

今回の行政書士試験は3回目の受験でした。正直言って1回目も2回目も単純に勉強時間も少なく、また独学だったので受からない要素しかありませんでした。なので、今回は初めからアガルートにお世話になろうと決め、また合格するための勉強時間の目安とされている1000時間を達成しようと考えました。

学習の工夫としては、私の業務では車で移動している時間が多いので動画学習はラジオ感覚でこまめに車で流しながら勉強時間を確保しました。運転しながらなので、基本的に

そこまで集中はできないはずなのですが、豊村先生も田島先生も話し方が大変お上手なので運転の集中を損ねずともスッと頭に入ってきました。

仕事が終わって帰ってきてからは主にテキスト、過去問を同時進行で行いました。どの科目も何周も周回しないと理解できないと考えていましたし、また覚えたものもしばらく時間が経つと忘れてしまうので、一つの科目を完全に覚えてから次、ではなくその時わからなくてもひとまず先に進んでまた周回をする、というスタンスで進めていきました。不思議と1周目ではわからなかったものが3周、4周と周回するたびにスッと頭に入ってきて理解をすることができました。

図表まとめ講座のご感想・ご利用方法

シンプルな構成で、配色も落ち着いていて、大変見やすかったです。覚えなければいけないことが端的にまとめられているので、周回はもちろんですが最後の仕上げのインプットにも大変有効でした。集中して読めばすぐに全部読めてしまうので何回周回したかわかりません。動画に関しても豊村先生の話し方が巧みで1、2回目の受験の時には理解してなかったことが「なんだ、そういうことなのか！」と理解ができました。全くの初学ではなかったわけですが、穴だらけの知識、到底合格ラインに届かなかった基本的な力の底上げに大いに役立ちました。動画は運転中のラジオ感覚での使用のほか、入浴中など主に隙間時間を活用し、テキストは夕食を食べた後の時間から就寝まで活用していました。

「START UP 判例」解説講座のご感想・ご利用方法

1、2回目の受験の時は市販されている判例集を使用し、判例学習をしていましたがやはり独学で学ぶ者には要旨も噛み砕けず、一つの判例に対する膨大な文字数に嫌気がさし理解が進みませんでした。

豊村先生の「START UP 判例」の解説講座はそんな判例学習の進まない人間には本当に救いだと感じました。この判例はこういう判決だった。で終わってしまったりしていたモノがなぜそうなったか？ どういう考え方に拠り結論を導き出したか？ というところがしっかりと解説されていて、その実、人間としてどう考えるのか？ が根本に必要なんだなと理解しました。実際の本試験で見たことがない判例からの問題もありましたが、そのように人間としてその事件にどう向き合うか？ という部分から答えを導き出し正解した問題もありました。

行政書士試験過去問ベストセレクションのご感想・ご利用方法

問題も簡潔にまとめられていて大変読みやすかったです。読みやすいと集中して取り組めるので周回も多くできました。基本的には自宅での勉強で利用していましたが、夏以降、試験が近くなってきた時には職場での休憩中や車移動している際、コンビニ等により、少し休憩している時などにも活用し、とにかく周回することを心掛けていました。問題のまとめ方もその問題の主旨が簡潔にわかりやすくなっているので、知識をしっかりと定着させることができました。

他資格試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

過去問に慣れてきた頃に手をつけましたが、最初は見たことがない問題だらけ、難問だらけでショックを受けたのを覚えています。ただ、周回していくうちに過去問で身につけた知識を補強するものも多いと気づき、過去問とは違う形での基礎力の向上に大いに役立ちました。過去問をやっていると、今度は新たに、見たことがない問題をやらなければならないのでは？ と感じ市販の模試等も活用しましたが、やはり他資格試験過去問ベストセクションよりも知識を補強できるものはなかったと感じています。

総まくり記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

記述は 1、2 回目の受験時もまるで菌が立たなく跳ね返された高い壁でしたが、今回、総まくり記述80問攻略講座で腰を据えて、動画講座、テキストで記述と向き合いしっかり力をつけることができました。80問というボリューム感もすごくちょうどいいバランスだったと思います。今回、市販の記述対策講座を使用したりもしましたが問題数を稼ぐためか、あまり重要ではなさそうな条文からの問題だったりもあり、これをやっていて本当に大丈夫なのか？ と感じたりもしましたがアガルートの記述講座は試験対策として無駄なく基礎力向上に直結したと感じています。動画講座の方も、再三になりますが豊村先生の講義が巧みで文字だけだとわかりづらいことも立体となって頭に入ってきました。

逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

動画講座はかなり長丁場でしっかり腰を据えて取り組まないといけないものでしたし、実際に時間としても多く割きましたが、田島先生の解説は、味気ない条文を彩り、大変飲み込みやすくしてくれました。ときに、身の上のお話や業務のお話などもしていただき、ただ単に条文を理解する以上にさまざまなことを学ばせていただきました。テキストの方は主に過去問や他資格試験過去問ベストセクションを勉強している際、答え合わせ時の条文検索に活用しました。問題でアウトプットをし、条文を確認する。基礎力向上の基本ですが、やはりやるとやらないでは大きな違いがあると、自ら体感しました。ただ条文を読むだけではなかなか頭に入らないので、アウトプットと一緒に条文インプットを行う、やはりそれが基本なんだと感じました。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

1、2 回目の受験の際、正直言ってそこまで対策をせず、「なんとなく」で問題を解いていたのを覚えています。模試でも問題文の仕組み等の理解などもせずこれなんじゃないか？ で選んでそれなりに正解できていたのではおさら対策することに気が進みませんでした。ですが今回、田島先生の講座を受講し、「なんとなく」が全て論理的に解明され目から鱗が落ちたようでした。と同時に文章理解の3問に「なんとなく」で挑んでいた自分が恥ずかしいとすら思えましたし、また無謀なことをしていたなと思いました。問題文の構造をしっかり読んで理解して、答えを導く。文章理解の3問の大切さを改めて教えていただきました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

図表まとめ、過去問、ベストセクション、記述、文章理解全て周回し力をつけ、その総まとめとして模擬試験を受ける。基本的な流れではありますが自分の立ち位置、力の確認には重要なものでした。1、2回目の受験の際は市販の模試を使っていましたが試験日が近くなっても180点に届かず不安なまま試験を迎えていました。今回、アガルートの講座でしっかり力をつけてから最後に模試を受け、180点を超えて本番を迎えることができました。合格点を超えるために正しい努力を正しい量、こなしただからこそだと思います。そしてその正しい努力の中身は正しい理解をすることであり、豊村先生、田島先生の導きによって正しい理解に辿り着き、合格をすることができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

3回目の受験でアガルートの講座を受講し、合格に至りました。正直言って1回目から受けるべきだったと心から思いました。社会人は限られた時間を有効活用しなければいけません、その有効活用はやはりプロフェッショナルな方々に任せるべきだと、そう心から思います。

何度も繰り返しますが豊村先生、田島先生ともに本当に講義が巧みで、どんどん引き込まれていくような感覚になりました。限られた時間であるならばその時間を預けるのは信頼することができる人に任せるのが一番だと思いますし、これから行政書士試験を受験する方には豊村先生、田島先生はその信頼に値する方々だと声を大にして言えます。ありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

逐条学習の重要性とその威力を実感

竹内 利文さん

30代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 上級総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

行政書士試験の受験回数：3 回目

行政書士試験を目指した理由・契機

元々営業職に従事しておりましたが、2020年度の社労士試験に合格後、社労士としてキャリアチェンジを果たしました。今後の業務の幅を広げ、さらなるキャリアアップを目指す中で、ダブルライセンスの取得を検討していました。その中で、行政書士は社労士との親和性が高く、憲法や民法などの法律分野を深く学ぶことができる資格であることを知り、受験を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

令和4年度が1回目の受験でしたが、その際は他社の講座を受講しており、アガルートについては単科講座である一般知識・時事テーマ対策講座を受講していました。担当講師の豊村先生の講義が非常に分かりやすく、一般知識では14問中10問を正解することができました。

令和5年度も他社の講座を受講していましたが、170点で不合格となり、別の予備校に切り替える決断をしました。各予備校の講義をホームページやYouTubeで比較検討した結果、豊村先生と田島先生の講義が自分には非常に分かりやすく、また合格特典として全額返金があることを知り、アガルートでの受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私は第1回目の受験（令和4年度試験）で156点、第2回目の受験（令和5年度試験）で170点となり、いずれも不合格でした。当時受講していた他社のカリキュラムはすべて履修し、何度も繰り返して学習していましたが、第1回目の受験からわずか14点しか伸び

ませんでした。

今振り返ると、行政書士試験を少し甘く見ていたのかもしれませんが。一般的に社労士試験よりも難易度が低いと言われることが多いため、カリキュラムを一通り学習すれば合格できると考えていました。しかし、実際には法律用語や判例の理解・解釈が難解であり、行政書士試験が単なる暗記では通用しないことを痛感しました。

不合格の原因を分析した結果、条文や判例の読み込みを避けていたことが大きな要因だったと気づきました。法律学習では条文と判例の理解が土台になりますが、それを疎かにし、テキストと問題演習を繰り返すだけの学習方法を取っていたため、応用問題や新出問題に対応できませんでした。その反省を踏まえ、3年目の受験では以下の学習方法を意識しました。

①条文を意識した学習

過去問や問題集、模試の解説には根拠条文が記載されていますが、必ず六法で該当条文を確認し、前後の条文も読むようにしました。また、「逐条ローラーインプット講座」を活用することで、条文ごとの理解が深まり、択一式の正答率が大幅に向上しました。

②判例の事案・テーマを意識した学習

過去2年間は、判例を体系的に学習せず、テキストに載っている判例をそのまま暗記する方法を取っていました。その結果、判例ごとの事案やテーマを理解できておらず、結論だけを覚えていたため、本試験では応用が利きませんでした。

そこで、「START UP 判例」解説講座を活用し、判例の事案・テーマ・結論を体系的に整理しました。過去問や模試で出題された判例については、必ずこのテキストを参照し、事案とテーマ、結論を意識して学習することで、判例問題への対応力が向上しました。

③記述式は暗記ではなく理解する

記述式に対して強い苦手意識を持っており、第1回目の受験ではわずか4点しか取れませんでした。これまでの学習では事案やテーマを意識せずに暗記するだけだったため、いざ問題を解くと何を問われているのか把握できず、的外れな解答を書いてしまっていました。そこで、問題を解く際は以下のポイントを意識しました。

- ・事案とテーマを正確に理解する
- ・どの知識を当てはめるべきかを検討する
- ・問いに沿った解答を作成する

また、択一式を解く際もテーマから具体的な事案をイメージすることを意識して解くようにしました。

これらの方法を徹底したことで記述式の点数が徐々に向上し、法律学習においては単なる暗記ではなく、理解と思考法が重要であることを改めて認識しました。

④問題演習量を大幅に増加

過去問演習はすでに2年間で十分にこなしており、解答を暗記してしまっていたため、新しい問題に取り組むことを重視しました。そこで、他資格問題を解くことや模試の受験回数を大幅に増やし、合計11回の模試を受験しました。アガルトの模試に加えて他社の

模試も積極的に活用し、過去問にはない論点や異なる角度からの出題に慣れることで、得点を強化しました。

⑤基礎知識対策

政治・経済・社会時事問題は範囲が広く、出題予測が難しいため、文章理解＋行政書士法・住民基本台帳法・戸籍法・個人情報保護法に重点を置くことにしました。

また、「ニュース検定講座」や田島先生の「時事テーマ出題予想・文章理解対策講座」、模試の出題論点を中心に時事関連を浅く広くカバーする意識で学習しました。その結果、一般知識では10問正解することができ、得点源とすることができました。

これらの学習法を徹底することで、法律学習の本質を理解し、行政書士試験の合格に向けた確かな手応えを得ることができました。

図表まとめ講座のご感想・ご利用方法

通常のテキストは分厚くボリュームが多いため、要点を押さえて素早く復習するのが難しいですが、図表まとめ講座のテキストはコンパクトでありながら、異なる項目が横断的に図表化されているため、頭の中で整理しやすく、一通りの範囲をインプットするのに最適な教材だと感じました。

基本的には自宅やカフェなど、じっくり勉強できる環境で、テキストを開きながら講義を視聴しました。豊村先生の講義では、原則は赤文字、例外は青文字で記載されるスタイルが採用されており、視覚的にも記憶に残りやすかったです。図表の情報と相まって知識を体系的に整理できたため、問題演習や条文・判例学習へスムーズに移行することができました。

また、模試の受験日から逆算し、重点的に覚えたいテーマをテキストで確認するようにしました。本試験前の最終確認用としても活用し、効果的に学習を進めることができました。

「START UP 判例」解説講座のご感想・ご利用方法

「START UP 判例」解説講座は、判例問題を得点源にできる非常に優れた講座だと感じました。講座は1判例につき1ユニット（約15分）で構成されており、通勤時間などのスキマ時間を活用しながら、1日2～3判例ずつ学習するペースで進めました。条文学習に多くの時間を割いていたため、全体で2周ほどの学習にとどまりましたが、本講座を通じて判例への苦手意識が完全になくなり、むしろ武器となったことで、本試験では自信をもって解答することができました。

過去2年間の学習では、判例を体系的に学習せず、テキストの結論部分を暗記する方法を取っていました。その結果、前提となる事案や争点の理解が曖昧で、判例の本質を深く理解できていない状態でした。

本講座では、使用テキストに沿って事案・読み解きポイント・判決文・判決が示したことの4つのステップで解説され、さらに、周辺知識や背景情報も丁寧に解説されるため、単なる暗記ではなく、当時の時代背景や状況などの前提知識を踏まえて判例を深く理解す

ることができました。

行政書士試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

過去問についてはやり尽くしていたこともあり、全体では1周しか解いておりませんが、ベストセクションとあるだけあって、最新の試験傾向に沿ったチョイスがされているのと、解説も非常に分かりやすいです。苦手な分野や間違った問題については解説に記載のある条文や判例は必ずチェックを行うように心がけ、2、3回ほど繰り返し解くようにしました。過去に解いたことがある過去問でも学習方法を工夫することにより、暗記ではない理解が可能となり、模試や本試験で出題の類似問題への対応ができました。

他資格試験過去問ベストセクションのご感想・ご利用方法

こちらの問題集は全体で3周ほど解きました。一般的に行政書士試験よりも難易度が高い司法試験・司法書士試験・国家公務員総合職試験等の過去問から厳選されているため、行政書士試験の過去問と比べて難易度が高く、より高度な思考力が求められると感じました。

また、行政書士試験とは異なる角度からの出題や、未出題の論点が多く含まれているため、単なる過去問演習ではカバーしきれない範囲の学習が可能でした。その結果、過去問や条文・判例学習で培った知識がどこまで定着しているかを確認するのに非常に効果的な教材だったと感じます。

総まとめ記述 80 問攻略講座のご感想・ご利用方法

総まとめ記述80問攻略講座は、民法53問・行政法27問の計80問から構成されたオリジナル問題を使用し、問題を解いた後に解説講義を視聴する形式の講座でした。

これまでの記述式対策は、市販の記述式問題集や模試の出題問題をひたすら解いて暗記する方法を取っていましたが、本試験では通用せず、なかなか得点が伸びませんでした。記述式試験では、事案とテーマの正確な設定が不可欠であり、ここがズレると見当違いの解答になり得点につながらないことを、豊村先生の講義を通じて学びました。そのため、問題を解く際には、「この問題の事案は何か」「テーマは何か」を意識して解くようにしました。また、自分の解答と模範解答に乖離があった場合は、

- ・なぜ乖離が生じたのか
- ・どこが検討違いだったのか

を振り返り、根拠となる条文を必ず六法で確認し、必要に応じて書き込みを行うようにしました。

この学習方法を繰り返すことで、記述式を解く際に必要な思考力や条文知識の理解が深まり、得点力が向上したと実感しました。

逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

個人的に最も効果を実感した講義であり、特に択一式の得点が飛躍的に向上しました。

逐条ローラーインプット講座では、田島先生が民法・行政法の条文を1条ずつ丁寧に解

説し、周辺知識についても補足があるため、条文を体系的に理解することができます。

また、超頻出はS、頻出はA、重要はB、それ以外はマークなしといったランク分けがされており、どの条文を優先的に覚えるべきかが明確になっています。さらに、語句は青チェックペン、数値は赤チェックペンでマークするスタイルのため、直前期の暗記教材としても非常に有用でした。

一度学習したことのある条文についても、条文の趣旨やたとえ話を交えた解説があることで、単なる暗記ではなく深い理解へとつなげることが可能になりました。田島先生が「逐条学習を徹底的にやり込めば、見える世界が変わる」と何度も熱く語られていましたが、3周目を終えたあたりから、点が線でつながる感覚を覚え、特に択一式の得点が大幅に向上しました。

逐条学習の重要性和その威力を実感できる、素晴らしい講義でした。

文章理解対策講座のご感想・ご利用方法

行政書士試験の文章理解は毎年3問出題され、基礎知識分野の中では比較的対策がしやすい分野です。一方で、政治・経済・社会の時事問題は範囲が広く、出題予測が難しいため、確実に得点を積み上げるためにも、文章理解で全問正解を目指したいと考えていました。

本講座では、文章理解で頻出の4つの問題形式（内容合致、要旨把握、空欄補充、文章整序）を実際に解き、担当の田島先生がそれぞれの解法を丁寧に解説するスタイルとなっています。

これまでの学習では、4つの型を意識せず、ただ漫然と問題を解いているだけでした。しかし、本講座を受講したことで、各問題形式に応じた適切なアプローチと解法を理解でき、模試や本試験においても常に3問全問正解することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模試は1回分のみだったため、他校の模試も含めて合計11回受験しました。今回はすべて自宅受験とし、試験環境に慣れることを意識して取り組みました。

アガルートの模試は、他校の模試と比較して難易度がやや高めに設定されていると感じましたが、これまでに「START UP 判例」解説講座や逐条ローラーインプット講座、さらに他資格試験の過去問ベストセクションを繰り返し学習していたこともあり、合格点の180点以上を取ることができました。

模試を多く受験したことで、時間配分や解答のシミュレーションを徹底的に行うことができ、本試験でも想定通りのペースで落ち着いて解答を進めることができました。また、模試で間違えた問題については徹底的に分析し、テキストや該当条文、判例を復習することで、知識の補強にも効果的に活用しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

行政書士試験に2回落ちてしまい、どうすれば合格できるのか全く分からず、自分を見

失いそうになる瞬間もありました。それでも、豊村先生と田島先生の分かりやすく、そして熱意に満ちた講義が、常に私を支えてくれました。おかげで、勉強が楽しく、何よりも自分を信じて続ける力を与えてもらい、無事に合格をつかむことができました。

3回目の挑戦で合格を果たせたのは、豊村先生、田島先生、そしてアガルートのスタッフの皆様の支えがあったからこそです。アガルートを選んで本当に良かったと心から思っています。本当にありがとうございました。

速習カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 行政書士試験

令和6年 行政書士試験合格

3か月半での合格を目指して

大城 理さん

50代 自営業

2024/ 行政書士試験 / 速習カリキュラム 豊村ゼミ受講

カリキュラム 豊村ゼミ受講の学習期間：3か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

工作上、必要となり資格取得することを決意した。

以前より、行政書士資格があると便利ではあると考えてはおり、必須とまでは思えず試験を受けずにいましたが、仕事の依頼者からの要望等もあり受験することを決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

試験までの期間が短いため、独学よりも学習指導校を利用しようと考えました。

ゼミの選定の優先順位として、第一に短期間のカリキュラム 豊村ゼミ受講があること、第二に教材が充実していること、第三に費用負担が少ないことを考慮しアガルートアカデミーに決定しました。

合格体験記・学習上の工夫

とにかく試験までの時間が短く（3か月半）、要領よく学んでいかないといけないと考えました。

だからといって受講できる講座などを飛ばしてしまうのは勿体ないので、申し込みをした速習講義はすべて受講しました。

憲法は、結構重要と考え、有名な判例は、しっかりと結論に至るまでの判旨についても確認していました。過去問も大事ですし、講義のなかで重要とされた判例は数回確認したと思います。

民法・会社法は、ある程度の自信もあったため、講義は2倍速で再生して近年の法改正部分を意識して受講しました。あとは過去問と予備校の模試で十分でした。

行政法は、少しつらいですが、やはり条文と過去問です。条文の読み込みについてはYouTubeなどで条文の読み上げを公開している予備校もあるようなので六法を片手にYouTubeを聞いていました。

基礎法学は、「どうにかなるだろう」と考えていたので講義を受講するだけで特に対策などはしていません。試験は2問中1問当たりました。

一般知識ですが、対策が難しく講義を受講しても全く自信がありませんでしたが、たまなの5問中3問正解しました。

行政書士法と住民基本台帳法、文章理解は簡単でした。令和7年もこのレベルなら、受験生は楽でいいです。逆に基礎知識の足切りが心配だったので勉強時間を割り当てすぎてしまいました。

3か月半の間、1日平均4時間程度は勉強したと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

どちらの講義を受講しようが、結局のところ自助努力です。あとは、通信なのか通学なのか、費用はどのくらいなのか、自分の確保できる勉強時間はどのくらいなのか、だと思います。要領よく勉強することも大事ですが、資格を取得した後、その資格や勉強した経験をどのように利用していくかを具合的にイメージできると勉強のモチベーションも維持でき集中できる時間が多くなると思います。

もちろん、アガルートの講義も大変いいものですが、基本的には自助努力です。講座のテキストも理解するのに大変役に立ちます。特にWeb上でテキストの文言を検索できるのが時間短縮に役に立ちます。過去問や演習問題を解いた際にテキストの対応ページを検索するのに大変有用です。判例の日付や特定の文言で検索をかけ、該当ページが確認できたら間違えた内容を紙のテキストに記載するなど利用していました。

講義自体も、わかりやすくていいのですが、疑問が残らなかったわけではありません。うまく質問を利用できる方であれば、解決できるかもしれません。私は、質問の制度をあまり利用うまく利用できなかったように思います（上手に質問できていなかった）。

私の場合、その他のフォローアップ制度については、時間もなかったことから利用しませんでした。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述の過去問解説講座は、早い段階から利用するべきだと思います。私の場合、講座を順番に見ていったため3か月半の学習期間の残り1か月ごろから記述の勉強を始め、記述過去問講座のみ受講しましたが、民法や行政法の理解のためにも記述は早い段階から取り組み、解説講座も早い段階から受講することをお勧めします。

アガルートには、記述の過去問講座だけでなく、ほかの記述の講座もあると思いますので、時間があれば他の記述講座も受講するのもいいと思います（私は時間がなく受講しませんでした）。時間があれば広く記述を学習できると、民法や行政法の理解が深まり他の講義の学習効果が上がると思いますので択一対策のためにも早めに学習するとい

と思います。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問題集は使いやすく、とてもよかったです。ほかの学習校の過去問は紙質が薄くマーカーが裏映りするなど使いづらい書籍もありましたが、アガルートの短答過去問題集はそのようなこともなく、便利に利用できました。

正直なところアガルートの過去問題集の説明では、どうしても理解できない問題もありましたが、その際は他の学習校の過去問題集の解説と見比べてみるなどしました。質問制度もありますので、うまく利用できる方は、そのような必要はないと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

一度しか模擬試験がなく、また難易度もそれなりに高かったと思います。私は外の学習校の模試も利用しました。やはり、直前の模試はモチベーションの維持に役に立ちますし、自分の弱点の洗い出しには必須であると思います。時間のある方は、他の学習校の模試でも多くの模試を受けるといいのかなと思います。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

豊村講師の講義は明るく、メリハリのある進行なので個人的にはとても良かったと思います。私見での不平や不満を言うような講師やメリハリもなく淡々と進行する講師もいますので、豊村講師は明るく進行していて良かったと思います。

令和6年 行政書士試験合格

必要十分なボリュームによく練り込んで 作られている

森園 正英さん

50代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 速習カリキュラム 豊村ゼミ受講

カリキュラム 豊村ゼミ受講の学習期間：6か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

当初司法書士を取得後に行政書士も取得する計画でした。2024年5月に司法書士を断念し行政書士にターゲットを変更しました。人材紹介の仕事をしている関係で外国人材の就労ビザ取得業務等で、今の仕事との関連性があることにも魅力を感じました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

合格者を多数輩出していることをネット情報で知ったことがきっかけです。事前に豊村先生のYouTubeをいくつも視聴し、体験講義を受講してみて先生との相性も良いと感じたのが決め手でした。あと、オンラインで自分のペースで学習を進められることにも魅力を感じました。

合格体験記・学習上の工夫

受験を開始したのは、2024年の5月11日です。豊村先生のガイダンスでは速習者の場合9月までに学習四天王を整備し、10月から直前期でオッケーとのお話がありましたが、私は1か月前倒しで8月中には直前期前の準備を完了させる計画で学習を進めました。民法は司法書士受験でやっていたので割とスムーズにいきしましたが、行政法は一通り講義を聞いただけではその場ではわかったつもりでも全く頭に残っていない状態でした。職場が自宅近くだったため、職場近くに自習室を借り、平日は毎日出勤前に2時間、仕事の後3時間勉強時間を確保しました。土日は10時間以上を確保。約半年間このサイクルを守りました。

た。教材はテキスト、六法、過去問以外は手を広げないよう意識しました。最後の模試を受け終えたのが、10月13日でしたが、ここから本格的に直前期に入った気がします。そこからは、テキスト、過去問、条文の素読、模試の復習をガムシヤラに回しました。過去問は講座の過去問集を4～6回、回しました。その他にも、5年分の本試験を本番と同じ時間帯に解く練習を重ねました。直前1週間は仕事を休み、毎日10時間以上ギリギリまで追い込みました。振り返ってみますと特別のことは何もやっていません。先生の仰ることを信じ、学習四天王をひたすら回すことに専念したことが良かったと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

講義時間を15分～20分で区切ってあるので、集中して取り組むことができました。講義を聴きながら、テキストの該当箇所に講義ナンバーをメモしていたので、後でテキストを復習する際に、解らない箇所を効率良く確認することができ理解を深めることができました。ポイントを色を分けて解説してくださるので、テキストを何回か回す際に、色のついている箇所を重点的に読み返せば良いので効率的でした。講義はオンデマンドですが、リアルタイムで講義をされているみたいに毎回新鮮味を感じ、楽しく学習することができました。講義のテンポや先生のお話の間の取り方等が自分のペースに合っていたので、取り組みやすかったと思います。先生との相性はとても良かったと思います。書店で行政書士コーナーを覗くと、心惹かれそうになる参考書籍が山ほどあります。然し私は先生の仰ることを信じ、愚直に学習四天王に拘りました。講義にセットになっているテキストと過去問しかやりませんでした。テキスト、過去問が100パーセント自分のものになることは最後までなかったと思います。それだけ内容濃く、必要十分なボリュームによく研究され練り込んで作られているのが、アガルートの講座だと思います。他には一切手を出さないことがとても大事だと思います。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

まずは一通り解説講義を聴きながら解法パターンを習得するという観点で受講しました。記述式は一度出た論点は出ないと仰っていたからです。事例を図表に落とし込むことを推奨されていたので、模試受験時にトライしてみたのですが、時間が足りず余裕もなかったので、本番まで教わった解法を身につけることはできなかったように思います。記述式の講座自体は1回だけ回したのみです。他は記述式対策として特別なことはやっていません。豊村先生が講義中に仰る『マル記マーク』箇所を何度も読み返し、論点ごとにキーワードが頭に浮かぶようにすることに主眼を置きました。自己採点では記述は30～40点は取れていると思いましたが、22点しか取れていませんでした。結果だけから見ると、記述対策は不足していたことは否めないと思います。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

1周目は前から順番に解いていきました。肢ごとに丁寧に解説されているので、理解が進みました。苦手な箇所や何回やっても間違える問題には、テキストの該当ページをメモ

するようにしていました。豊村先生が仰っていたリンク付けをするように心がけました。テーマ毎に問題がまとめてあるので、学習内容に偏りが生じると思い、2周目からは年度ごとに問題を拾いながら回すようにしていました。本番で解く順番を決めていましたので、その順番で解くようにしていました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

速習カリキュラム 豊村ゼミ受講にセットされている模擬試験の他に、他の予備校のも含め、5回受験しました。9月に講座分も含め3回受験しましたが、全て140点そこそこしか取れませんでした。他の予備校と違い先生が全ての問題について解説してくださったので有り難かったです。10月の模試も160点そこそこしか取れず、一度も180点はクリアできませんでした。然しながら、各模試の解説講義はとても勉強になったと思います。あやふやだった知識の確認や整理に有効で、残り一か月を突っ走れる原動力になりました。

豊村ゼミ受講有無

受講あり

豊村ゼミのご感想・ご利用方法

まずは先生のご教導に感謝申し上げます。先生との相性はバッチリでした。畏まった雰囲気ではなく、ざっくばらんな空気感を醸し出されるスタイルが大変良かったです。随所に、ああ～この方はプロだなあ～と感じさせてもらうことが多かったように思います。何よりも解りやすかったです。声の調子や間の取り方、硬くなりそうなテーマでも、柔らかいジョークを織り交ぜながら楽しませてくださる。プロフェッショナルならではのテクニックなのでしょう。

そんな豊村先生の講義なので、次に進むのが楽しみでした。辛いはずの受験勉強も先生について行くことでどれほど救われたか分かりません。独学では到底無理でした。素晴らしい先生に出会えた幸運に感謝したいです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

試験当日は大学受験時以上に緊張しました。これほど緊張したことはここ30年以上なかったと思います。試験開始後暫くは過呼吸気味で苦しく、吐きそうになっていました。記述記入時は手が攣って思うように字が書けない事態に陥りました。それだけ真剣だったのだと思います。我ながらよく頑張ったと思います。自分を誉めてあげたいです。自分の力だけでは達成できませんでした。支えてくれた妻に感謝したいです。そしてスマホの画面越しにエールを送ってくださった豊村先生、本当にありがとうございました。先生に出会えたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和6年 行政書士試験合格

速習できる講座を調べた。2か月で一通りの学習

山本 匠悟さん

30代 自営業

2024/ 行政書士試験 / 速習カリキュラム

カリキュラムの学習期間：4か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在関わっている事業の業務プロセスの中に、在留資格の申請があり、行政書士の先生に毎回依頼をしながら仕事を進めていました。その業務をする中で「自分で出来たらもっと早くなるな」と感じ、行政書士試験の合格を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

行政書士を目指そうと決めたのが6月中旬で、勉強を開始できるのが7月頃の見込みでした。そうした中で「速習できる講座」でいろいろと調べた結果、評判がよく、YouTubeの動画を見て「これなら合格できそうだ」と一番確信できたのがアガルートアカデミーでした。

合格体験記・学習上の工夫

私の場合は、法律を学んだ経験も仕事として法律を扱ったこともない状態で短期合格を掲げました。具体的には勉強開始が7月初旬からで、一日に使える時間が3時間～4時間と限られていました。そこで「まずはテキストを読んで、わからなかったところや覚えにくかったところを動画で確認しよう」と決めました。すべての動画を視聴する時間は無いと判断したためです。具体的な学習の流れとしては、平日の時間を使ってテキストを読み込み、「動画を見なくてはいけないところ」をリスト化しました。そのうえで、土日などまとまった時間が取れるタイミングで一気に動画を視聴し、理解を深めていきました。そ

のような流れで一通りの学習を8月末には終え、9月からはテキストを周回しつつ、短答過去問集を並行して進めました。短答過去問集のうち、AランクとBランクを9月末までに終え、最新の過去問では合格点（198点）を取ることができていたので、10月からは記述対策を進めました。豊村先生は総合講義の動画の中で「ここは記述対策として覚えておいてね」と明確に示していただけなので、比較的スムーズに記述対策に入ることができました。それでも記述対策にはかなり苦戦し、苦手な分野は記述過去問解説講座を何度も視聴し、六法全書も行政法と民法は3周ほど回していました。11月からはアガルートの模擬問題や、市販の模擬問題に取り組み、具体的な試験3時間の使い方を確認していきました。合格点を下回することは一度もなかったのですが不安はありませんでしたが、試験当日は思った以上に問題が難しく感じ、自己採点するまでは本当にドキドキでした。今回短期間でもしっかり合格できたのは、アガルートの良質なテキストとわかりにくいところをクリアにしてくださった豊村先生のおかげです。

総合講義のご感想・ご利用方法

私の場合は7月からの短期合格を目指してのスタートだったため、速習講座であっても時間的にすべての動画を見る時間がなさそうでした。そのため、まずはテキストを読んでみて、わからないところを総合講義動画で確認するよう進めていきました。まずテキストについては、必要な情報が網羅されていて、かつ読み進めやすい構成になっていたように感じました。実際、テキストを読んでいて「全然わからないな」と感じる箇所は限りなく少なかったですし、單元ごとのランク分けもあるので試験本番まで時間がない人にも優しい作りになっていたと思います。そのうえで、テキストを読んだだけでは「ちょっと難しい」や「ちゃんと理解できているか不安だな」と感じたところは豊村先生の動画を視聴し、理解を深めていきました。豊村先生の素晴らしい点はたくさんありますが、私が最も感謝しているのは「ここは普通に考えればわかるから、頑張って覚えようとしなくていい」というところと、「ここは意識的に覚えないと間違えちゃうから、気合入れて暗記しよう」というところを明確にしていただけたことです。短期合格を目指す中で「全部を頑張って覚えなきゃいけないのか……」と感じていたところ、「ここは普通に考えれば答えだせるから大丈夫よ」という説明には本当に救われました。テキストを含め総合講義にはとても感謝しています。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述過去問解説講座については、私は記述過去問解説集の解説を読んで「これはちょっとわからないな」と感じた問題から優先して動画を見進めていきました。また苦手な分野については動画で確認をした方が定着度が高くなるように感じたので、試験直前期は苦手な部分に絞って動画で最終確認をしました。また、それぞれの問題の解説に加えて、そもそもの「どうやって記述式問題に取り組むか」という全体戦略の部分がとても参考になりました。具体的には「問題文から必要な情報をどう読み取るのか」「言及しなければならない要素をどう整理するか」「問題文を読んだうえで、既知の知識をどう活用して答案を

まとめるか」の大きく3点で大いに参考になりました。試験本番では記述問題が難しくあまり書けなかったのですが、苦しい中でも講座の中で学んだ「部分点をどう取るのか」を発揮することができ、それが合格に繋がったと感じています。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問集については、問題が分野別に並び替えられているので総合講義からの接続がしやすかったこと、また問題それぞれにランクがつけられていたことが良かったです。私の場合は総合講義のすべての動画を見る時間を取れなかったため、テキストを自分なりに読んで、短答過去問集を解いて理解度を確認する、という流れで進めました。自分の理解度は問題演習を通じて把握するべきだと思っていたので、その意味で学習ベースをつかんでいく上で短答過去問集は最も役に立ちました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験に関しては、アガルートの模試に加えて、市販の模試を2冊ほど活用しました。アガルートの模試を含め3つの模試を解いていた感覚と、試験本番で味わった感覚を比較した時に、私はアガルートの模試が最も本番に近かったと感じています。具体的には「2択までは絞れるんだけど、そこから1つに決めるのが大変だな…」という感覚が、まさに本番と同じでした。アガルートの模試をやっていたことで、うまく本番でのメンタルコントロールができたと思っています。

令和6年 行政書士試験合格

基本重点3科目は繰り返し学習

安部 竜介さん

50代 会社員

2024/ 行政書士試験 / 速習カリキュラム

カリキュラムの学習期間：8か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

50代になり、会社リタイア後の人生設計を考えた時、土業で開業しようとした際、数年前に取得したマンション管理士との親和性が高そうな行政書士に興味を持ち、働きながらも何とか取得できるのではないかと思い立ち、目指すことにした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

数年前に取得したマンション管理士もアガルートを利用して効率的に勉強できたため、今回もアガルートでの受講を考えた。YouTubeの動画で、豊村先生の語り方であったり学習法を拝見し、信じてやってみようと思い、申し込んだ。もちろん合格後の返金制度も魅力的だった。

合格体験記・学習上の工夫

スタートが3月下旬からと7か月半という学習期間だったこともあり、本番試験まで逆算して、どれくらい学習時間が確保できるのかをカレンダーを作成し、プロットした。仕事をしながらの学習になるため、まずは仕事に行く前の朝を有効活用することとし、出社前に2時間勉強する、帰宅後も30分くらいはやれるだろうと計画した。休日は最低5時間はやると決めた。それをもとにどの科目をどのように進めたらいつまでにどこまで終了できるかのおおよその目安を書き込んだ。科目については民法と行政法の2トップと、憲法を重点科目とし、5月下旬までに3科目を1周終わらせた。過去問として市販の肢別問題集と携帯六法の組み合わせで、まずは後で参照しやすいように相互にページ数等を書き入れてジグザグ学習をした。1周終了後も基本重点3科目を繰り返しやるようにし、試験本

番までに行政法は8周、民法は7周、憲法は4周した。商法・会社法、一般知識や諸法令は重点科目の合間で2周し、後は模試で出た分野だけをテキストで見直す程度とした。模試は7月～8月はあえて受験せず、9月下旬からアガルトの模試含めて4回受けた。何周か学習し、おおよその理解ができた後で、復習メモを作るターンを入れた。このメモが本番直前の最終見直しの際には役立った。

総合講義のご感想・ご利用方法

まずは豊村先生の語り口調が聞きやすく、また解説が丁寧で分かりやすかった。判例はわかりやすく説明いただき、とても興味を持って聞けたので、憲法や行政法の判例学習はやっていて楽しかった。民法においても「ドラ息子」であったり、「六本木のあけみちゃん」だったり、くだけた例で解説されていて、記憶に残りやすい工夫がされていると感じた。テキスト自体も丁寧に作られていて、質・量ともに合格に十分な内容であると感じた。実際の利用方法としては、先生のアドバイスや合格体験動画で話されていたやり方を参考にし、最初は先生の板書等のテキストへの書き込みや先生の指示に従ってのマーカー入れを丁寧に行い、テキスト学習に時間を割いて、その復習で過去問（肢別問題集）を使って理解度定着を図った。周を重ねるにつれ、テキスト（講義）は1.5倍～2.0倍で聞くようにし、過去問で理解度が足りないと思った際にテキストに帰って見直す学習にシフトした。最初は講義と過去問だと5:1くらいの学習時間だったのが、最終的には逆になるようなイメージだと思う。模試を受けるようになってからも、できなかった分野や理解が怪しいと思った分野については、改めて倍速ながら講義を聞き、知識の確認を行った。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

テキストに大変わかりやすい解説が掲載されていて、また講義でも実際の解答を作成していく手順を説明いただいていたので、テキストの過去問を演習していくことで記述式の解答方法に慣れたと思う。問題文に書いてある内容を図にしていっていったん理解をした上で、解答文書の作成をする、要素を文書化し、後から文字調整するやり方は、本番でも役に立った。自分の活用方法としては、ある程度知識が定着してからやろうと考えていたため、記述は9月になってから手をつけた。最初は全く書けず、もっと早く着手すればよかったと後悔したが、腐らずに1日何問ずつかやっていく中で一定程度コツがつかめたと思う。ただやはりもう少し早めにやっておくほうがよいと感じる。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

過去問は肢別問題集中心でやっていたので、8月までは学習に組み入れておらず、使用するようになったのは9月以降だった。実際に使い始めてみると、本番同様の5肢択一や多肢選択で聞かれると、一問一答では答えられたことも答えられなかったり、逆に他の肢を見ることで選択肢を絞り込むことができたりと、一問一答だけでは足りない本番慣れであったり、また解説もある程度丁寧に書かれているので、違った角度での知識定着に役立った。

模擬試験のご感想・ご利用方法

他予備校実施の模擬試験を3回受験し、最後の確認としてアガルートの模擬試験を受験する模試受験計画とした。問題のレベル的には他予備校の模試よりも少し難しく感じられ、直前期に受験した中で合格点に達さなかったため、正直焦り心も折れそうになったが、丁寧な解説動画がついていたので、しっかりと復習した。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

大変お世話になりました。わかりやすく、振り返ればあっという間の7か月半だったと思います。

令和6年 行政書士試験合格

講義動画を繰り返し見て確かな基礎知識を築く

富岡 未羽さん

30代 主夫 / 主婦

2024/ 行政書士試験 / 速習カリキュラム

カリキュラムの学習期間：7か月

行政書士試験の受験回数：1回目

行政書士試験を目指した理由・契機

現在2児の母でパート職員であり、夫がインドに単身赴任をしております。なので実質ワンオペの状態です。本格的に社会に出るためには何か資格が欲しいと思い、その資格はある程度努力をしないと取れないものの方がいいなと思い、行政書士を選びました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

まず、他の通信教育に比べて合格実績が抜群に良いなと思いました。また、お試して無料の講座を拝見した際、豊村先生の力強い言葉と指導方法が、私をやる気にさせてくれそうだなと感じアガルートを選択しました。

合格体験記・学習上の工夫

まずスタートの時期が4月ということもあって、本心としては初学者だし入門総合カリキュラムを受けたいと思いましたが、最速で学べる方がいいと考え速習カリキュラムを選びました。昨年宅建を取ったので民法ならば楽に勉強を進められるだろうと思い講義を聞き始めましたが、難しく感じたので、とりあえずまずは1回全部分からないところがあったとしても通して講義を聞こうと思い、7月中旬に全科目の講義を聞き終わりました。付属されていたテーマ別過去問は、講義を聞きながら少し飽きてきたところでそれまでのをやるというような形で進めていきました。講義を一通り聞き終えたところで、市販のテーマ別過去問問題集を一冊買い、2周ほどやり、苦手なテーマを箇条書きにし、その講義をも

う一度聞きました。8月の中旬ごろから、市販の予想模試本を買い、とりあえず一周やってみてその模試ごとに分からなかったところはテキストを再度読み込んでみて、もう一周してみると、思ったより点数が伸びなかったもので、時間がある時は聞き流しても良いので講義を聞きつつ、まとまった時間があれば模試をやってみるといった形式を取りました。今思えば、ルーブリーフを買って科目ごとに何度も間違えていたところを書き出したものをファイルに挟んで1冊の自分よりのノートを作ればよかったと思いました。試験1週間前は、苦手だった憲法の判例の読み込み、会社法の間違えたところやその周囲の知識補強に努めました。

総合講義のご感想・ご利用方法

一つの動画が20分くらい、長くても40分くらいなので、飽きずに聞き進めることができました。テキストもカラフルだし、図解も多いので、わかりにくそうだなと思っていたところも頭に入りやすいなと思いました。豊村先生は、例もよく使われていたので、難解な事柄も身近に感じられて勉強しやすかったです。初学者だったので、兎に角テキストを開きながら講義動画を見る時間が多かったように思います。当初は市販の各社予想模試本をやりこんで、問題数をこなせば点数も伸びていくだろうと思っていたのですが、ある程度点数が伸びたところで頭打ちとなり、問題をこなしていくだけではどの予想模試がきても合格点を取ることはできないなと思いました。そこで基本に立ち返り、よく間違える分野は再度テキストと講義動画を読みこみ、時間がない時や移動時間中は所謂耳勉強でもいいから基礎知識をしっかりと築いていこうと思いました。私は速習カリキュラムだったので、会社法の講義が大分削られていたのですが、スタートの時期が遅かったので、予想模試等で出てきた問題のテーマをテキストに立ち返って読み込んでいくという方法を取りました。最初は半ば会社法は捨てる気持ちでいたのですが、最後まで諦めずに知識を詰め込んで行ったので、結果会社法の分野が思ったより取れていました。

記述過去問解説講座のご感想・ご利用方法

記述が最後まで苦手分野でありました。記述過去問は、とりあえず一周してみたところで、全然書けなかったもので、過去問で出たテーマをテキストに立ち返ってみて、再度もう一周してみましたが、あまり手応えを感じられませんでした。講義動画はとてもわかりやすかったです。問題を読みながら、自分で図を書いていくことの大切さ、問題のキーワードにどうやって辿り着くかを解説されていて、上から目線な言い方かもしれませんが、見事だなと感じていました。ただ自分がいざ問題を解いてみようと思い取り組むと、やっぱりあまり書けなかったもので、市販の記述問題集を購入し3周し、問題の数をやりこんでいこうと思いました。結果的に、記述の自分なりの勉強方法はあまり確立されていないように思いました。

短答過去問集のご感想・ご利用方法

短答過去問題集については、4月から学習を始め講義動画やテキスト学習の合間に、自

分の記憶に知識がどれだけ定着しているか確認するために使っていました。結果的に科目ごとに3周していたと思います。そして7月末までには過去問集を終わらせて、次の段階に行きたいと予定して、学習を進めていきました。各科目の中に、テーマごとに十分な問題数が収録されていて、初学者にとってはどのように問題が聞かれてくるか、問題に慣れるといったことがよく定着できたと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、8月中旬ごろ受けたと記憶します。市販の予想模試集を1周してから臨んだのですが、難易度的にはやや簡単に作られているのかな？と思いました。逆に言うと、模擬試験に出た問題やその周辺知識は完璧に近い形で知識の定着をしなくてはいけないなと思い、復習には時間をかけたと思います。行政法は特に条文知識はマストだと思ったので、何度も六法を読み込みました。そして、ただ六法を読み込むだけでなく、テキストを使って知識の補強をしていきました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

豊村先生、他の先生方、アガルートのスタッフの皆さま、良質な講義やテキスト、問題集をご用意いただきありがとうございました！ 自分が学習初年度で合格するとは思ってなくて、試験を受けた直後は絶対に落ちたと思っていました。ですが、7か月間、各教材や自分の勉強方法を信じやり続けたからこそ合格に手が届いたと思います。自分だけでは絶対に成し得なかったと思います。本当にありがとうございました！